



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

Toyo University supports the Sustainable Development Goals



2021年度 東洋大学 社会貢献センター一年報

TOYO University Center for Social Contribution 2021 Annual Report



東洋大学

目次

刊行にあたって

東洋大学社会貢献センター長	1
---------------	---

社会貢献センターについて

東洋大学社会貢献センター規程	3
社会貢献センター組織図	5
2021年度 社会貢献センター運営委員会名簿	5
社会貢献センター運営委員会活動記録	6

生涯学習部門

生涯学習部門の歴史的背景	11
2021年度 公開講座と講師派遣事業の概要	14
公開講座	
2021年度 公開講座実績一覧	18
公開講座アンケート結果	21
過去5年間の受講者数	44
PICK UP	52
資格講座	
2021年度 資格講座	55
講師派遣	
2021年度 「東洋大学の講義を全国各地にお届けします」実施報告	56
2021年度 講師派遣事業 派遣先実績一覧	59
PICK UP	63

社会貢献部門

社会貢献情報収集	
社会貢献情報収集の概要	68
2021年度調査 社会貢献活動一覧	70
PICK UP	82
地域活性化活動支援事業	
地域活性化活動支援事業の概要	88
2021年度 地域活性化活動支援事業一覧・活動報告	89
社会貢献活動助成・表彰制度	
社会貢献活動助成・表彰制度	99
2021年度 社会貢献活動助成 表彰式・報告会	102

社会貢献センター 外部評価

社会貢献センター 外部評価	105
---------------	-----

刊行にあたって



東洋大学社会貢献センター長
森田 明美

東洋大学社会貢献センターは、本学の創立125周年を記念した事業の一環として構想され、2013年4月より本学が目指す「哲学・国際化・キャリア」という3つの柱に加えて社会貢献という第4の柱を構成するための拠点として位置づけ、開設されたものです。

大学は、次代の社会の中核を担う人たちの養成という重要な役割を担う非営利の組織であり、その役割をこれまでも担ってきました。また、なにより本学は創立者井上円了による「大学の教育を広く民衆に届ける」という思想を有しています。そうしたことから、その具体化を大学生に対してのみならず、広く社会に押し広げるといことは、今後の大学の在り方を探る重要な改革です。

その志をどのように具体化するのかということについては、学生と教職員のたゆまない挑戦と法人の理解と協力がなければ、こうした手探りの改革は発展しません。

当センターは、それまで生涯学習センターが担当してきた公開講座や講師派遣事業等のいわゆる生涯学習部門を一つの軸とし、社会貢献事業の掌握とその促進に関わる情報収集・提供等の役割をもう一つの軸として、関係教学部局と全学部からの参加による運営委員会方式で事業を推進してきました。

近年、こうした活動に社会貢献活動を直接応援する事業として、2015年度に急ぎよ実施したネパール地震支援に加えて、2016年度は熊本地震応援活動を実施しました。また、2016年度には、地域活性化に関して、学生と教員が一緒になって活動する企画への支援事業を始めました。

そうした活動を踏まえて、2017年度はボランティア支援室を開設する運びになりました。念願であった学生のボランティア活動を大学全体として応援する仕組みをつくることができました。ボランティアコーディネータとして配置された専門家の力を借りながら、専門性を持たれる先生と学生の協力で大きな活動が生まれました。事務局は、エクステンション課の職員が担っています。2年目の2018年度には学生主体のボランティア活動を進めるために、災害時の故郷の復興を学生が応援する際の助成金制度、東洋大学学生課外活動育成会の支援を受けて学生たちが主体になって企画実施をするボランティア活動も始まりました。

そうした意味では、これまでの事業を継承しながら、事務局と教学に加えて学生も一体となって、大学における社会貢献の在り方を探る新たな段階を迎えたといえます。

この年次報告書は、当センター8年目の事業について、生涯学習部門の事業の概要と、社会貢献活動についての情報収集結果を中心にまとめています。2020年度からはコロナ禍の中で、移動や三密を避けるという、厳しい制限の中での取り組みとなりました。社会貢献やボランティア活動には、移動や人とのふれあいが求められるだけに、この制限の下での取り組みの実現には相当な工夫が求められることになりました。2021年度は、コロナ禍は一層厳しくなりましたが、新たにSDGsの取り組みを柱に加えました。学生と教職員が一丸となって対面や非対面の活動を工夫し、またHands to Handsという学生への食料支援活動では、多くの卒業生の協力が始まりました。学生、教職員、法人に加えて、卒業生の方々や企業・団体がセンターの活動に参加していただき、厚みが増しています。

今年度の経験は、今後の取り組みに大きな影響を与えていると思います。どうぞ、皆様の忌憚ないご感想とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

社会貢献センターについて

改正 平成27年6月1日 平成28年6月1日

平成29年4月1日

東洋大学生涯学習センター規則（平成8年規則第131号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 東洋大学学則第8条第1項に基づき、東洋大学（以下「本学」という。）に「東洋大学社会貢献センター」（以下「社会貢献センター」という。）を置く。

（目的）

第2条 社会貢献センターは、生涯教育に関する諸事業を積極的に推進するとともに、社会貢献活動に関する支援策の策定、情報収集、発信及び提供することを通じて、本学の社会貢献の発展に寄与し、もって社会に開かれた大学としての本学の発展に資することを目的とする。

（構成）

第3条 社会貢献センターに、生涯学習部門と社会貢献部門を置く。

（事業）

第4条 社会貢献センターは、第2条の目的を達成するため、必要な事業を行う。

2 生涯学習部門は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習プログラムの開発
- (2) 公開講座等の開催
- (3) 生涯学習に関する広報活動及び案内
- (4) 生涯学習に関する資料の収集
- (5) その他社会貢献センターの目的達成に必要な事業

3 社会貢献部門は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 社会貢献プログラムの開発
- (2) 本学各部署で実施されている社会貢献活動に関する情報の収集、連携促進及び発信
- (3) ボランティア活動その他社会貢献に係る支援策に関する事項
- (4) その他社会貢献センターの目的達成に必要な事業

4 前項第3号に規定するボランティア活動を推進するために東洋大学ボランティア支援室を置き、その運営等必要な事項については、別に定める。

（センター長）

第5条 社会貢献センターに、センター長を置く

2 センター長は、社会貢献センターの事業を統括し、社会貢献センターを代表する。

3 センター長は、本学の専任教授のうちから、学長の推薦により、理事長が任命する。

4 センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

（副センター長）

第6条 社会貢献センターに、副センター長を置くことができる。

2 副センター長は、本学の専任教授のうちから、センター長及び学長の推薦により、理事長が任命する。

3 副センター長は、センター長を補佐するとともに、センター長に事故があるとき又はセンター長が欠けたときは、センター長の職務を代理し、又は代行する。

4 副センター長の任期は2年以内とし、センター長の任期満了とともに終了する。ただし、再任を妨げない。

(社会貢献センター運営委員会)

第7条 社会貢献センターに、社会貢献センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。
(運営委員会の組織)

第8条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) センター長及び副センター長
- (2) 各学部及び大学院が推薦する専任教員 各1名
- (3) 学長が推薦する者 若干名
- (4) 通信教育部長
- (5) 学生部長
- (6) 教務部長

(委員の任期)

第9条 前条第2号及び第3号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、任期の途中で委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(審議事項)

第10条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 生涯学習プログラムの基本方針
- (2) 社会貢献プログラムの基本方針
- (3) 社会貢献センターの事業計画に関する事項
- (4) 学長から諮問された事項
- (5) その他社会貢献センターに関する重要事項

(議長)

第11条 運営委員会は、センター長が招集し、その議長となる。

(委員以外の出席)

第12条 議長は、必要に応じ、委員以外の者を運営委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第13条 運営委員会は、専門的な事項その他特に必要な事項について調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会について必要な事項は、運営委員会の意見を聴いて学長が定める。

(事業計画)

第14条 センター長は、当該年度の10月末日までに次年度の事業計画を定め、学長の承認を受けなければならない。

2 センター長は、各年度の事業の実施結果について、当該年度終了後1カ月以内に、学長に報告しなければならない。

3 事業計画を変更する場合は、学長の承認を受けなければならない。

(事務の所管)

第15条 社会貢献センターの事務は、エクステンション課が所管する。

(細則)

第16条 この規程の実施について必要な事項は、運営委員会の意見を聴いて学長が定める。

(改正)

第17条 この規程の改正は、学長が運営委員会の意見を聴いて行う。

附 則

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、東洋大学生涯学習センター規則(平成9年4月1日施行)は、廃止する。

附 則(平成27年規程第153号)

この規程は、平成27年6月1日から施行する。

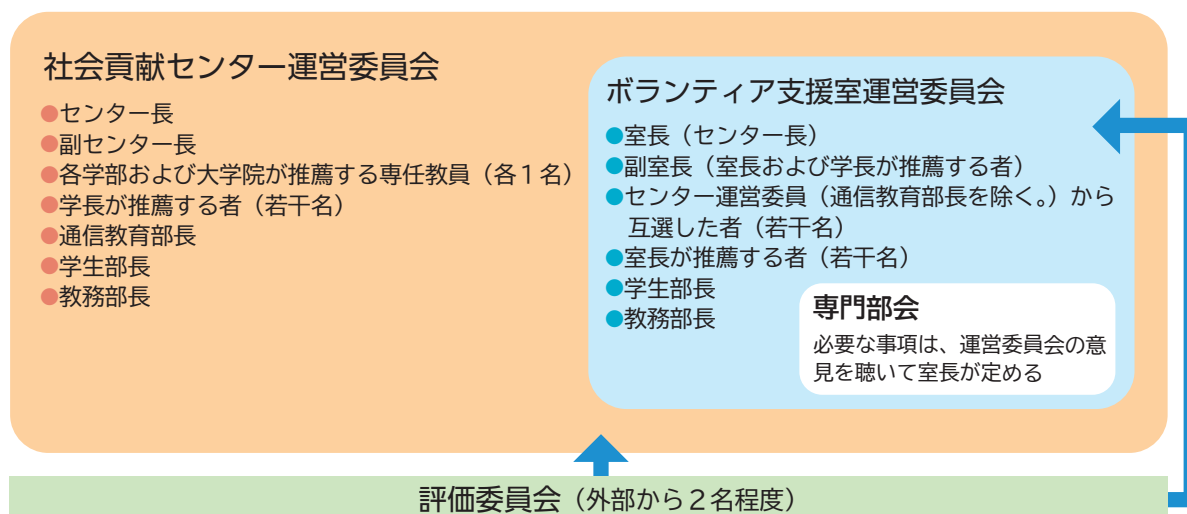
附 則(平成28年規程第90号)

この規程は、平成28年6月1日から施行する。

附 則(平成29年規程第2号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

社会貢献センター組織図



2021年度 社会貢献センター運営委員会名簿

2022年3月31日現在

No.	役職	学部等	氏名	規程
1	センター長	社会学部	森田 明美	第5条、第8条第1号
2	運営委員	文学部	金子 有子	第8条第1項第2号 (各学部及び大学院推薦)
3		経済学部	澁澤 健太郎	
4		経営学部	増子 敦仁	
5		法学部	ジェイムズ ダニエル ショート	
6		社会学部	中村 功	
7		ライフデザイン学部	神野 宏司	
8		理工学部	及川 康	
9		総合情報学部	小瀬 博之	
10		生命科学部	藤村 真	
11		食環境科学部	佐藤 順	
12		国際学部	沼尾 波子	
13		国際観光学部	古屋 秀樹	
14		情報連携学部	浅野 泰仁	
15		大学院	松永 光雄	
16		文学部	堀本 麻由子	
		社会学部	高山 直樹	
	生命科学部	川口 英夫		
17	法学部	宮原 均	第8条第1項第4号(通信教育部長)	
18	法学部	早川 和宏	第8条第1項第5号(学生部長)	
19	国際観光学部	東海林 克彦	第8条第1項第6号(教務部長)	

※規程は「東洋大学社会貢献センター規程」を指す。

社会貢献センター運営委員会活動記録

第1回：2021年4月3日(土)【書面会議】

検討依頼事項：

- ① ボランティア支援室運営委員の立候補について

報告事項：

- ① 2021年度 社会貢献センター運営委員および各種助成事業等選考分担について
- ② 2021年度 地域活性化活動支援事業 追加募集
- ③ 東洋大学学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成 追加募集について
- ④ 2021年度 春期公開講座
- ⑤ 2021年度 春期資格取得講座
- ⑥ 2021年度 講師派遣

第2回：2021年4月27日(火)【書面会議】

報告事項：

- ① 2021年度春期公開講座について
- ② ボランティア支援室報
 - ・SDGs 認知度調査について SDGs 推進連絡会、社会貢献センター（ボランティア支援室）連名
 - ・TOYO SDGs 学生アンバサダー制度について
 - ・SDGs 活動計画について
 - ・東洋大学生がワークショップで考える SDGs
 - ・「Hands to Hands -みんなで乗り越える、コロナ禍-2021」について
 - ・ボランティア支援室 ガイダンス申し込み状況

第3回：2021年5月14日(金)【書面会議】

報告事項：

- ① 2020年度の自己点検・評価結果に関する提言に対する改善計画等に係る見解について
- ② 地域活性化活動支援事業(追加募集) について
- ③ 学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト(追加募集) について
- ④ ボランティア支援室報告
 - ・2021年度 ボランティア支援室活動予定
 - ・ボランティア支援室2020年度、2021年4月利用状況
 - ・Hands to Hands 2021～みんなで乗り越えるコロナ禍～について
 - ・SDGs 認知度調査について SDGs 推進連絡会、社会貢献センター（ボランティア支援室）連名
 - ・TOYO SDGs 学生アンバサダー制度について
 - ・2021 ボランティア活動に関する意識調査
 - ・2021年度 学生課外活動育成会企画計画一覧
 - ・社会教育実習生(文学部) の受け入れについて

第4回：2021年6月10日(木)【書面会議】

審議依頼事項：

- ① 【活動団体等アンケート】地域活性化事業 /2021年について

報告事項：

- ① 社会貢献活動(学外での活動等)の実施について
 - ・地域活性化活動支援事業の実施について
 - ・東洋大学学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクトに対する助成事業の実施について
- ② その他
 - ・大学内でのコンタクトの空ケース回収活動について

第5回：2021年7月13日(火)【書面会議】

報告事項：

- ① 敷島製パン(株) パスコイーストカンパニーからの食の支援について
- ② 東洋大学・中野区連携事業「少年・少女野球教室」開催について
- ③ 2021年度 秋期公開講座について
- ④ リカレント教育講座を実施する上での事前調査について
- ⑤ TOYO SDGs アンバサダー要項について(ボランティア支援室報告)
- ⑥ Hands to Hands 2021～みんなで乗り越えるコロナ禍～について

第5回(追加および修正報告)：2021年7月15日(木)【書面会議】

報告事項：

- ① 2021年度 資格取得講座等について
- ② TOYO SDGs アンバサダー要領について(ボランティア支援室報告)

第6回：2021年7月29日(木)

審議依頼事項：

- ① 2022年度 公開講座開講方針について
- ② 2022年度 講師派遣方針について
- ③ 2022年度 予算要求編成方針について

報告事項：

- ① 2021年度 春期公開講座開講状況
- ② 2021年度 講師派遣申込状況
- ③ 「リカレント講座」事前調査状況
- ④ 「あなたのSDGs」認知度調査
- ⑤ SDGs アンバサダー 申し込み集計およびスタートアップセミナー実施アンケート
- ⑥ ボランティア支援室各種事業報告

第7回：2021年9月17日(金)【書面会議】

審議依頼事項：

- ① 予算要求について

報告事項：

- ① ボランティア支援室報告
 - ・Hands to Hands
 - ・デイキャンプで遊ぼう
 - ・東洋大学 SDGs アンバサダー制定に関する要項
 - ・SDGs Weeks
 - ・各種実施報告

第8回：2021年10月11日(月) 【書面会議】

報告事項：

- ① 「東洋大学地域・連携、社会貢献推進に関する基本方針」の策定について

第9回：2021年10月14日(木) 【書面会議】

審議依頼事項：

- ① 2022年度 地域活性化活動支援事業について(教員と学生が一緒に活動)
- ② 2022年度 東洋大学学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクトに対する助成及び2021年度社会貢献活動に対する表彰について(学生のみ活動)

報告事項：

- ① 地域活性化活動支援事業実施
- ② ボランティア支援室報告
 - ・東洋大学 SDGs アンバサダーについて
 - ・ボランティア支援室 Twitter、Instagram の新規開設について
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック 学生ボランティア報告会について
 - ・外部団体からのボランティア申し込みについて
 - ・課外活動育成会企画について
 - ・Hands to Hands 2021 (秋)、敷島製パン(株) パスコからの食の支援について

第10回：2021年11月22日(月) 【書面会議】

報告事項(ボランティア支援室報告)：

- ① 【仮称】コロナ禍における学生への「昼食(夕食)の支援」について(案)
- ② SDGs Weeks 実施企画【各種実施報告】
 - ・Hands to Hands 「敷島製パン(株)からのご支援！学生の皆さんにパンをお配りします」
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック 学生ボランティア報告会(オンデマンド用収録)
 - ・デイキャンプで遊ぼう会(千葉県の子と大学の共同デイキャンプ)
 - ・「SDGsに関わる環境教育(Environmental Education toward SDGs)ーユネスコエコパークとジオパーク」(担当：伊藤先生)
 - ・「『好き』を通じてフクシを変える、社会を変える～動画の力で福祉のみらいをデザインする～」(担当：川原先生)
 - ・「食品ロス削減と保存料～SDGs 目標12の推進～」(担当：佐藤先生)
 - ・「子どもの貧困への挑戦ー社会的養護の現場での取り組みから考える」(担当：森田先生)
 - ・「知的障害特別支援学校における ICT の利活用：読む、聞く、話す、書くへの支援」(担当：高野先生他)
 - ・「企業と人権」(担当：小瀬先生)
- ③ 今後の実施企画
 - ・海を守るのは君だ～家から参加できる SDG s ボランティア～
 - ・福島県の子どもに寄り添うプログラム
- ④ 学生団体学園祭 SDGs 企画(Team Value Creation)

第11回：2021年12月8日(水)【書面会議】

審議依頼事項：

- ① 東洋大学社会貢献活動表彰のうち助成を受けない学生団体及び個人への表彰運用内規(案)制定について

報告事項：

- ① 公開講座 受講料の返金について
- ② 2022年度 SDGs 活動計画の策定について【ボランティア支援室報告】

第12回：2021年12月18日(土)【書面会議】

審議依頼事項：

- ① SDGs に関する全学総合科目の開設について

報告事項：

- ① 社会貢献事業実施状況調査について
- ② 学生課外活動育成会企画(6/4開催の新型コロナ対策委員会に一覧で報告済み)
- ③ 各種計画および報告【ボランティア支援室】
 - ・ コロナ禍における大学の地域交流活動の展開の可能性
 - ・ 東洋大学 SDG s コンテスト
 - ・ コロナ禍における学生支援「100円弁当」プロジェクト
 - ・ 東洋大学生がワークショップで考える SDGs【オンライン】「大学生こそ知っておくべき 雇用と労働の経済(初級編)」
 - ・ 東洋大学ボランティアカフェ「防災知識をアップデート！～日常からできる防災～」

生涯學習部門

- 公開講座
- 資格講座
- 講師派遣

生涯学習部門の歴史的背景

1. 公開講座の歴史的背景

本学の前身である哲学館では、創立直後に日曜講義として一般に向けて仏教哲学を中心に講じる機会を設けたとの記録がある。これは、創立者井上円了が、新しい情報として入手していたアメリカ等で行われていた「サマースクール」とその日本版とも呼ぶべき通信講学会でその実施を経験していた夏期学校等に影響を受けつつ実施されたものであると思われる。日本でも非常に早い時期の実施であり、創立以来、本学が一貫して教育を広く民衆に提供する役割を果そうとしてきたことの証でもある。

第2次世界大戦後、多くの国立大学で周辺住民や一般社会人を対象にした公開講座が開かれ、その伝統は現在に引き継がれている。本学でも、特に教員の免許法認定講習は1949（昭和24）年という早い時期から実施され、1986（昭和61）年度までに330回も開講したという歴史を有する。また、1979（昭和54）年には「市民大学講座」の企画が学長により提起され、地域のひとびとに、大学の持つ知的な資源を提供する社会貢献事業は一貫して重視されてきたものであった。

高度経済成長を遂げた日本の新しい社会にあって、人々の生涯にわたる学習への要求はますます高いものとなり、その期待を受けて、1975（昭和50）年代後半になるといくつかの国立大学に公開講座のためのセンターが設けられ、組織的な公開講座事業が始まった。

明治期の設立当初から高等教育の拡張を自らの使命としてきた私立大学の伝統校は、公開講座を独自のスタイルで発展させてきた歴史があった。生涯教育の制度化が世界的な課題となり始めた時期、私立大学はそれぞれのミッションに沿った公開講座の組織化を進めた。

政府は、1990（平成2）年、生涯学習の基盤整備に関わる新しい法律を制定した。それまでの社会教育法と並立する形となり、人々は多様な学習機会を享受することになった。この時期、特に高等教育機関に対する期待は高いものであったため、生涯学習に関する包括的な法律の制定よりも、生涯学習に資する公開講座の設置においては大学自身の方が早く対応していたことになる。

本学に生涯学習センターが設置されたのは、1997（平成9）年であった。創立期以来の理念を守ろうとする伝統を引き継ぎ、多様な公開講座実施の経験を踏まえ、一層組織的に大学の知を地域社会に還元していこうとする動きであった。その後、キャンパス拡張に伴って新たに発生した近隣自治体との連携の必要等から、公開講座は継続的な改変・拡充を経ながら発展して現在に至る。また、2020年度は、コロナウイルス「COVID-19」の影響により、春期は全て中止となったが、秋期に本学公開講座としては初めてのWebを利用したオンライン講座を行なった。

2021年度もオンラインが中心とした実施となったが、感染拡大防止に努めつつもオンラインと対面を併用する「ハイフレックス型」を設置し、様々な状況に応じた講座を展開した。

2. 講師派遣事業の歴史的背景

現在の本学の講師派遣事業は、創立者である井上円了による全国巡回講演に由来する記念事

業として、没後80年を経た1999（平成11）年に開始されたものである。

哲学館創立直後の1888（明治21）年、井上円了は1年間の欧米視察に出かけたがそのことを通じて、「日本と日本人の改良」が必要であるとの認識に至る。その後、円了は哲学館の財政危機を脱し大学設立のための開設資金を得るために、全国を巡回し講演をすると共にその後募金をお願いするという計画を立てる。既に卒業生を輩出していたことや講義録の配信による通信教育を進めていたこともあり、全国各地に円了を招聘しようとする人物が存在していた。そして、いよいよ1890（明治23）年11月より、円了は自らが全国各地に赴いて講演をする教育活動に着手したのである。欧米への視察により、ケンブリッジ大学を起点としてイギリス各地及びアメリカにおいて急速に発展していた大学の構外講義、いわゆるユニバーシティ・エクステンション事業をつぶさに見聞して来た円了にとって、これは日本における大学拡張への着手であったと言えよう。

その後、1898（明治31）年～1902（明治35）年、1906（明治39）年～1919（大正8）年と講演旅行を続け、全国で実施された巡回講演は合計で5,129回を数えた。講演は、村や町の小学校の講堂やお寺等で開催され、延べ130万人を超える人々がその講演を聴いたとされる。この偉業は、今日まで、誰も手の届かない回数の講演である。受け入れた地域の人々は、「井上円了博士」が直接出向いての講演ということで、地域を挙げて歓迎したとされる。当時こうした講演を聞く機会を持たなかった民衆が多数聴講した様子が、円了による記録のみならず、全国各地で記録され今日まで保存されている。こうした講演をきっかけとして、ご寄付を頂くこととなり、本学はまさに日本各地の人々の貴重な志によって支えられ、その基礎が築かれたと言っても過言ではない。

1997（平成9）年に設立110年を迎えていたこともあり、「110年目の御礼」と題するプロジェクトが企画され、1999（平成11）年度には創立者井上円了の没後80周年を記念した事業が構想された。そのひとつが、創立時に社会から受けた支援（寄付金）への御礼と、創立者の精神を活かした社会貢献としての講師派遣事業であった。同年度から始まった講師派遣回数は、22年間で2325回に達した。それでもなお、創立者の講演回数には遠く及ばず、この事業は今後も継続し続けなければならないものである。

1999（平成11）年に開始された講師派遣事業は、23年間で全国各地に2374件の実績を残すことができた。本事業は、長く高校生を対象とした内容と、一般成人を対象とした派遣とに区分されてきた。高校では2000（平成12）年度より情報化や国際化などに対応した現代的な課題を扱う「総合的な学習の時間」が本格的に導入された。文部科学省によると、「総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとする」（文部科学省HPより引用）とされており、現代社会の課題を専門的な立場から研究している大学教員による講演は、そうした思考の材料を提供する意味で大いに貢献するものであった。講師派遣事業の存在が知られると、2001（平成13）年度には100件もの依頼が殺到した。ただし、いわゆる学力低下論がマスコミ等で喧伝されるにつれて、総合的な学習の時間への評価は二分されるようになり、2011（平成23）年度より実施された新しい学習指導要領では、実質的にその時間数が減る。さ

らに、教育目標のねらいが明確に示され、全体計画や単元計画を綿密に立てて指導することとなり、教科横断的な領域において体験的な学習活動がより重視されるようになった。そうした動きに連動するかのように、高校の総合的な学習の時間に対応した講師派遣の申し込みは2012（平成24）年度より激減した。

一般成人を対象とした講師派遣は、公民館などの社会教育施設及び関連施設において開催される住民対象の講座、教育委員会主催の家庭教育学級や高齢者学級、市民大学等、そして社会教育関係団体による事業等、派遣を求める主催団体は多様であった。

2015（平成27）年度には、グローバル教育の深化の一環として、本学が有する他国文化の知識を企業の海外活動に資するよう「企業研修支援プログラム」をスタートさせた。本プログラムは、2016（平成28）年度より有料とし、2018（平成30）年度からは「研修支援プログラム」と名称を改め、企業のみならず各種団体でのスキルアップ研修に対応した。2016（平成28）年から2019年度においては、小中高等学校や特別支援学校に向けて、五輪をはじめスポーツに関する講義を行う「オリンピック・パラリンピック学習支援講座」を設けた。

2020年度では、新型コロナウイルス「COVID-19」の影響により、Web オンラインを利用した講師派遣を初めて実施した。また、本学のSDGs達成に向けた取り組みの1つとして、小中高等学校や特別支援学校を対象とした「SDGs達成学習支援プログラム」を開始し、今年度は9件が実施に至った。

生涯学習部門

2021年度 公開講座と講師派遣事業の概要

1. 公開講座

「オープン講座」、「エクステンション講座 A・C」、「リカレント講座 R・V」「文化公演」、「その他(文京アカデミア講座、川越小・中学生サマースクール等)」、「資格講座」という5区分で実施をしている。2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に配慮をしつつ対面形式、及び Web 形式で講座を開講した。

対面式については、感染防止対策(定員の削減、座席間距離の確保、検温、机等の消毒など)を行いながらの実施となった。それぞれの概要は次の通りである。

2021年度より「公開講座ポイント制度」を開始。有料講座(エクステンション講座 A/B/C)を受講すると、講義の時間および回数で計算された「公開講座ポイント」が発行し、学期末に「修了証[賞状]」を贈呈することにした。受講者のモチベーションを上げることを目的にしている。2021年度は、学生9名、一般62名、合計71名の方々に「修了証[賞状]」を授与した。

1) オープン講座(無料)

2015(平成27)年度まで「市民大学講座」「学術講演会」として開講されていた無料講座を2016(平成28)年度より合わせて「オープン講座」と名称変更し、各キャンパスを会場として実施している。当該年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため春期中止となった講座を秋に行うなど、工夫を行った。

春期は「SDGs と子どもの人権ー平和・開発・人権と子どもの参加ー」をテーマに開講し、受講者は対面62名、Web59名 計121名となった。

また、井上円了哲学センター開設記念講座を共催で実施した。「井上円了ー哲学の展開・妖怪文化の変遷ー」、「井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー」の2講座を開講し、受講者総数は76名(対面)となった。「井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー」では実際に哲学堂公園を巡り、円了の思想と行動を体験的に学んでもらう講座内容とした。

2) エクステンション講座(有料)

教養や最新研究や事例まで幅広いテーマの講座を取り扱う A 講座、地域と連携した C 講座を設けており、その中でもさらに「歴史コース」「文学コース」「哲学・宗教コース」「人生100年コース」に分類して講座を展開している。

2021年度はパンデミックの影響により対面形式から Web 形式に切り替えて実施したりと変則的な対応を余儀なくされたが、感染症対策を行い、講座を開講することができた。

春期は、A 講座13コース(うち1コースは新型コロナウイルスの影響により中止)、C 講座1コースの計14講座を開講した。受講者数は A 講座283名(対面160名・Web123名)、C 講座29名(対面19名・Web10名)となった。

A 講座では、仏教心理学、三国志、村上春樹、スティーブ・ジョブズの演説、介護など、

多種多様なテーマを取り上げて講座を開講した。その他にも「人生100年コース」からは、「アートと社会～教養が身につく美術鑑賞入門～」や、子供を対象とした「化石レプリカで学ぶ地球生命史」等の講座を開講し、いずれの講座も受講者より好評であった。

C 講座では京都府舞鶴と連携し、「引き揚げから東京2020へ～京都府舞鶴市とウズベキスタンの「希望」のかけはし～」というテーマで講座を開講した。

秋期は、A 講座を13コース(うち2コースは講師の事情により中止)開講した。受講者数は計282名(対面159名・Web123名)となった。

A 講座では、仏教、源氏物語、幕末維新の古文書、江戸幕府、語学(ドイツ語)等をテーマとした講座を開講した。源氏物語や幕末維新の古文書、江戸幕府をテーマとした講座は春期に引き続き開講しており、受講者より定評のある講座である。その他、「映像と音楽の融合2」では各界の著名な外部講師を招聘し、オムニバス形式で開催した。

いずれの講座も総合大学ならではのテーマ設定で多様な講座を提供することができた。

3) リカレント講座

人生100年時代の到来において「誰もがいくつになっても学び直し活躍することができる社会」の実現に向けて、「リカレント講座」を2021年度秋期よりプレスタートした。主に社会人を対象とした「企業を診る眼を養う～決算書分析事始め～(計4回)」を開講し、Web型11名、対面4名の計15名が受講した。今後、より多様な講座を展開していく予定である。

4) 文化公演

文化公演は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度は「中止」となった。

5) 資格講座

2016年度より始まった当講座は、学生の就職活動時または就職後、及び社会人の学び直しによるキャリアアップまたは再雇用に必要な資格の取得を目的としている。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を取りながら、Webでの開講も並行して実施をした。春期に2講座、秋期は3講座実施した。2022年度も新型コロナウイルス感染拡大防止策を行いながら、学内外での周知を徹底するとともに、本学に求められる資格講座のニーズに応えられる仕組みづくりを引き続き行っていく予定である。

2. 講師派遣事業

今年度は、3つのプログラム全体で69件の申込みがあったが、コロナ禍により中止を余儀なくされ、派遣に至ったのは49件(このうち研修支援プログラムは2件、SDGsプログラムは9件)であり、前年度に比べ18件ほど増加した。

地域的な分布については、下記の図1に示すように、関東地方が約71%を占めており、昨年度よりも偏りのある結果となった。

また、実施団体は前年度に比べ大幅に減ってはいるが、団体の種別は昨年度とほぼ変わらない比率であった。

実際に派遣に応じた講師は、専任教員が20件と多数を占めており、東洋大学専任教員にとっても重要な役割として認識されている。さらに、名誉教授・元教授8名による11件という数字も明記しておきたい。講演の内容については、全区分において要請があり、地域社会からの期待に応えるようなテーマが準備されていたと思われる。

東洋大学講師派遣事業件数一覧(1999年度～2021年度)

地域	1999年度			2000年度			2001年度			2002年度			2003年度			2004年度			2005年度		
	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計
北海道	0	12	12	1	3	4	3	3	6	1	5	6	3	2	5	1	4	5	0	4	4
東北	6	21	27	0	11	11	9	2	11	15	5	20	9	2	11	6	3	9	2	6	8
関東	6	90	96	4	20	24	41	11	52	34	16	50	51	20	71	27	29	56	18	25	43
甲信越/中部	0	30	30	0	13	13	0	19	19	0	22	22	0	8	8	0	7	7	2	4	6
北陸	0	10	10	0	8	8	0	9	9	0	13	13	0	5	5	0	4	4	0	1	1
近畿	0	20	20	2	2	4	8	4	12	8	2	10	0	8	8	0	7	7	0	4	4
中国	2	13	15	0	3	3	11	0	11	8	3	11	0	4	4	0	3	3	0	1	1
四国	0	6	6	0	3	3	4	0	4	2	0	2	0	2	2	0	2	2	0	1	1
九州・沖縄	2	13	15	0	8	8	6	5	11	8	5	13	0	5	5	3	3	6	0	1	1
合計	16	215	231	7	71	78	82	53	135	76	71	147	63	56	119	34	62	96	22	47	69

地域	2006年度			2007年度			2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計
北海道	2	2	4	0	1	1	2	2	4	0	5	5	0	2	2	0	5	5	0	5	5
東北	2	3	5	2	7	9	2	6	8	1	8	9	3	5	8	1	7	8	0	5	5
関東	18	39	57	16	40	56	19	42	61	13	31	44	10	39	49	17	37	54	5	45	50
甲信越/中部	2	3	5	5	2	7	3	4	7	0	7	7	1	7	8	1	10	11	0	9	9
北陸	2	1	3	2	2	4	1	1	2	1	3	4	0	2	2	2	4	6	0	0	0
近畿	2	5	7	1	4	5	0	6	6	0	6	6	1	6	7	0	8	8	0	9	9
中国	2	0	2	1	0	1	2	0	2	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	2	2
四国	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
九州・沖縄	1	3	4	0	2	2	0	6	6	1	3	4	0	4	4	0	6	6	0	8	8
合計	31	57	88	28	58	86	29	67	96	16	64	80	15	70	85	21	79	100	5	85	90

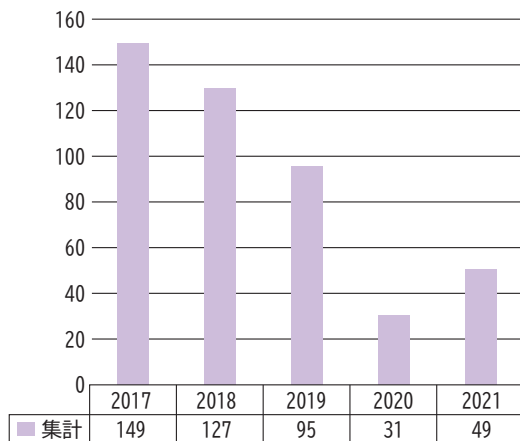
地域	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度					
	高校	一般	計	生涯	計	企業	生涯	計	企業	オリパラ	生涯	計	企業	オリパラ	生涯	計	研修	オリパラ	生涯	計	
北海道	0	6	6	-	7	7	0	7	7	0	0	5	5	0	0	9	9	0	0	10	10
東北	0	7	7	-	11	11	0	14	14	0	0	16	16	0	0	14	14	2	0	11	13
関東	3	42	45	-	49	49	6	53	59	0	9	61	70	5	8	60	73	6	7	50	63
甲信越/中部	1	4	5	-	11	11	0	4	4	0	0	12	12	1	2	12	15	0	1	10	11
北陸	0	1	1	-	6	6	0	8	8	0	0	5	5	0	0	6	6	1	0	7	8
近畿	0	4	4	-	7	7	0	5	5	0	0	9	9	2	0	9	11	0	0	9	9
中国	0	7	7	-	4	4	0	5	5	0	0	5	5	0	0	7	7	0	0	4	4
四国	0	1	1	-	1	1	0	3	3	0	0	3	3	0	0	2	2	0	0	3	3
九州・沖縄	0	7	7	-	3	3	0	6	6	0	0	5	5	0	0	12	12	0	0	6	6
合計	4	79	83	-	99	99	6	105	111	0	9	121	130	8	10	131	149	9	8	110	127

地域	2019年度				2020年度				2021年度				合計					
	研修	オリパラ	生涯	計	研修	SDGs	生涯	計	研修	SDGs	生涯	計	高校	企業	オリパラ	SDGs	一般(生涯)	計
北海道	0	0	5	5	0	0	2	2	0	0	2	2	13	0	0	0	108	121
東北	0	0	10	10	0	0	2	2	0	0	3	3	58	2	0	0	179	239
関東	2	10	41	53	2	7	11	20	1	9	25	35	282	22	34	16	876	1230
甲信越/中部	0	1	8	9	0	0	1	1	1	0	3	4	15	2	4	0	210	231
北陸	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	2	2	8	1	0	0	102	111
近畿	0	0	6	6	0	0	1	1	0	0	1	1	22	2	0	0	142	166
中国	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	71	97
四国	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	0	0	0	34	41
九州・沖縄	0	0	7	7	0	0	1	1	0	0	1	1	18	0	0	0	120	138
合計	2	11	82	95	2	7	22	31	2	9	38	49	449	29	38	16	1842	2374

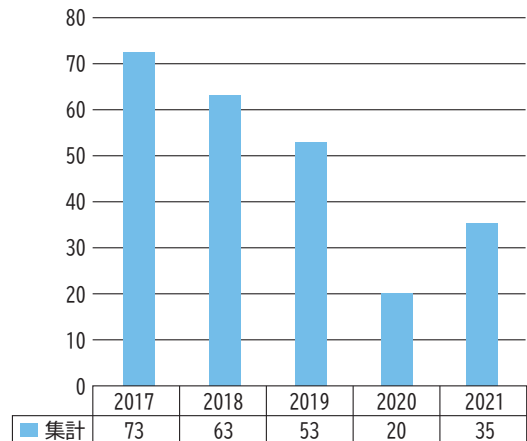
※2014年度より一般(社会人)と高校を一本化し、「生涯学習」支援プログラムとして実施。
 ※2015年度より新規に「企業研修」支援プログラムを開始。
 ※2016年度より新規に「オリンピック・パラリンピック教育」支援プログラムを開始。
 ※2018年度より「企業研修」支援プログラムより「研修」支援プログラムに名称変更。
 ※2020年度より新規にSDGs(持続可能な開発目標)達成学習支援プログラムを開始。

年度	地方	生涯	研修	SDGs	オリパラ	計	年度	地方	生涯	研修	SDGs	オリパラ	計
2018	北海道	10	-	-	-	10	2020	北海道	2	-	-	-	2
	東北	11	2	-	-	13		東北	2	-	-	-	2
	関東	50	6	-	7	63		関東	11	2	7	-	20
	中部	10	-	-	1	11		中部	1	-	-	-	1
	北陸	7	1	-	-	8		北陸	3	-	-	-	3
	近畿	9	-	-	-	9		近畿	1	-	-	-	1
	中国	4	-	-	-	4		中国	-	-	-	-	-
	四国	3	-	-	-	3		四国	1	-	-	-	1
	九州	6	-	-	-	6		九州	1	-	-	-	1
	年度計	110	9	-	8	127		年度計	22	2	7	-	31
2019	北海道	5	-	-	-	5	2021	北海道	2	-	-	-	2
	東北	10	-	-	-	10		東北	3	-	-	-	3
	関東	41	2	-	10	53		関東	25	1	9	-	35
	中部	8	-	-	1	9		中部	3	1	-	-	4
	北陸	1	-	-	-	1		北陸	2	-	-	-	2
	近畿	6	-	-	-	6		近畿	1	-	-	-	1
	中国	4	-	-	-	4		中国	-	-	-	-	-
	四国	-	-	-	-	-		四国	1	-	-	-	1
	九州	7	-	-	-	7		九州	1	-	-	-	1
	年度計	82	2	-	11	95		年度計	38	2	9	-	49

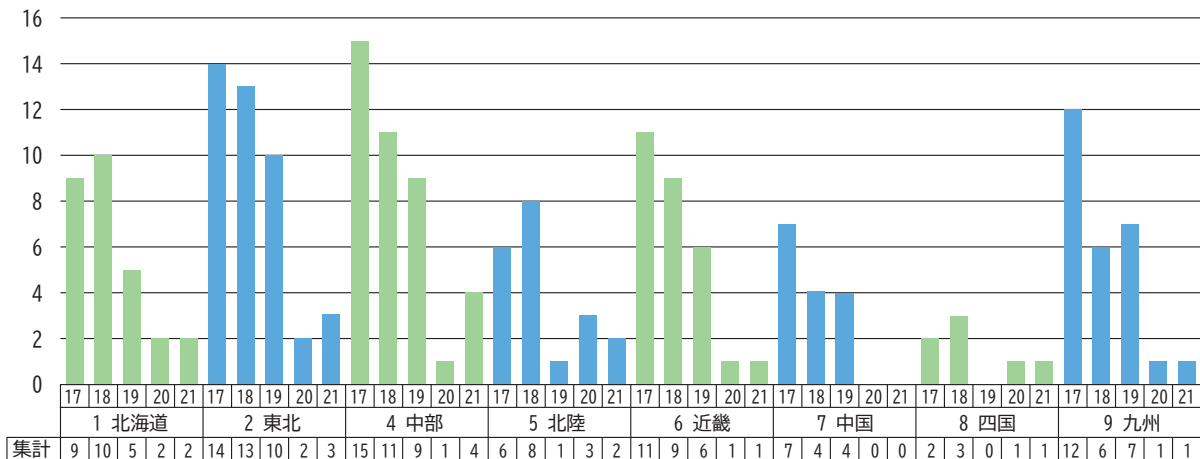
過去5年の派遣数



過去5年間の派遣数(地方毎／関東地方)



過去5年間の派遣数(地方毎／除く関東)



公開講座

2021年度 公開講座実績一覧

①春期：エクステンション講座(A・B・C)

期	場所	コード	形式	メインテーマ	講師 コーディネーター	期間	回数	総時間 数/分	受講料				申込者数				
									一般		学生		一般		学生		合計
									対面	Web	対面	Web	対面	Web	対面	Web	
春	白山	A1	ハイブリッド	江戸幕府の将軍たち	白川部達夫	2021年5月8日 ～7月10日	4	360	6,600	4,400	2,200	2,200	13	10	-	-	23名
		A2	ハイブリッド	幕末維新の古文書を読み解く	岩下 哲典	2021年7月2日・ 16日・30日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	11	13	-	2	26名
		A3	ハイブリッド	巴蜀からみる『三国志』	白井 順	2021年7月17日・ 31日	2	180	3,300	2,200	1,100	1,100	10	8	1	-	19名
		A4	対面	万葉集講座 ー万葉の歌・生活・文化ー	菊地 義裕	2021年6月3日 ～7月8日	6	540	9,900	-	3,300	3,300	-	-	-	-	-
		A5	ハイブリッド	『源氏物語』全巻を読む「東屋」巻 ー「浮舟物語」の始発～破談、匂宮との出会い、そして、浮舟は薫と結ばれた～	河地 修	2021年5月17日 ～7月5日	8	960	13,200	8,800	4,400	4,400	17	8	2	2	29名
		A6	Web	村上春樹の小説を味わうー初期3部作の世界ー	石田 仁志	2021年5月29日 ～7月3日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	-	8	-	1	9名
		A7	ハイブリッド	心とは何か ー井上円了『仏教心理学』に学ぶ	竹村 牧男	2021年5月15日 ～7月10日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	29	24	-	1	54名
		A8	ハイブリッド	ポストコロナ時代の死生観のために	朝倉 輝一	2021年7月2日・ 9日・16日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	5	6	-	2	13名
		A9	対面	化石レプリカで学ぶ地球生命史	寺木 秀一	2021年7月17日	1	90	1,650	-	550	-	20	-	-	-	20名
		A10	Web	アートと社会 ー教養が身につく美術鑑賞入門	増子 美穂	2021年6月5日 ～7月3日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	-	14	-	-	14名
		A11	ハイブリッド	運動習慣が身体に及ぼす効果について考える	小河 繁彦	2021年7月24日	2	180	3,300	2,200	1,100	1,100	9	7	1	-	17名
		A12	ハイブリッド	英語演説を読み解く ～ステーブ・ジョブズから受け取る想い～	竹野谷みゆき	2021年5月14日	1	90	1,650	1,100	550	550	7	7	1	-	15名
		A13	ハイブリッド	介護する覚悟、介護される覚悟	八木 裕子	2021年6月5日・ 19日	2	180	3,300	2,200	1,100	1,100	14	9	-	1	24名
C1	ハイブリッド	引き揚げから東京2020へ～京都府舞鶴市とウズベキスタンの「希望」のかけはし～	須賀 忠芳	2021年6月12日	1	90	550	550	550	550	19	10	-	-	29名		

秋期：エクステンション講座(A・B・C・R・V)

秋	白山	A1	ハイブリッド	空海の思想に学ぶ	竹村 牧男	2021年10月9日・ 11月13日・ 12月11日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	27	18	1	1	47名
		A2	ハイブリッド	葬制儀礼と死者祈禱 ー日本の諸宗教とキリスト教ー	中里 巧	2021年10月9日・ 16日・23日	3	360	4,950	3,300	1,650	1,650	8	7	-	-	15名

期	場所	コード	形式	メインテーマ	講師 コーディネーター	期間	回数	総時間数 /分	受講料				申込者数				
									一般		学生		一般		学生		合計
									対面	Web	対面	Web	対面	Web	対面	Web	
秋	白山	A3	ハイブリッド	自分の人生を哲学する	三浦 節夫	2022年1月8日・22日・29日	3	360	4,950	3,300	1,650	1,650	-	-	-	-	-
		A4	ハイブリッド	初期仏教入門～ブツダのさとりとその教え～	渡辺 章悟	2022年1月8日・22日・29日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	17	9	-	2	28名
		A5	ハイブリッド	江戸幕府の将軍たち	白川部達夫	2021年10月9日・11月13日・12月11日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	6	4	-	2	12名
		A6	ハイブリッド	幕末維新の古文書を読み解く	岩下 哲典	2021年11月26日・12月17日・2022年1月28日	3	270	4,950	3,300	1,650	1,650	19	15	-	1	35名
		A7	Web	戦後家族小説を読む～文学から見る家族の姿～	石田 仁志	2021年10月14日・11月18日・12月16日	3	270	-	3,300	-	1,650	-	-	-	-	-
		A8	ハイブリッド	『源氏物語』全巻を読む「浮舟」巻～運命に翻弄される浮舟～	河地 修	2021年10月18日～12月13日	8	960	13,200	8,800	4,400	4,400	9	10	1	4	24名
		A9	対面	ミャンマーのクーデター：社会・経済の現状と展望	岡本 郁子	2021年10月2日	1	90	1,650	-	550	-	13	-	-	-	13名
		A10	ハイブリッド	思いやりを科学するⅢ～「思いやり」と「思いあやまり」～	浅間 正通	2021年11月6日	1	90	1,650	1,100	550	550	8	8	1	1	18名
		A11	Web	がんになっても働くことをあきらめない～就労継続のために知っておきたいこと～	榑原 圭子	2021年11月12日	1	90	-	1,100	-	550	17	-	-	-	17名
		A12	ハイブリッド	映像と音楽の融合2～CM音楽、映画音楽、ゲーム音楽の制作現場～	安藤 和宏	2021年11月27日・12月4日	5	450	8,250	5,500	2,750	2,750	22	20	19	4	65名
		A13	対面	ゼロからのドイツ語	田中 雅敏	2021年12月1日・8日・15日	3	270	4,950	-	1,650	-	5	-	2	-	7名
		R1	Web	知的財産管理技能検定 2級対策講座	安藤 和宏	2021年9月27日～10月25日	15	1,350	-	24,750	-	-	-	-	-	-	-
		R2	対面	ビジネスリーダーを目指す女性のための「最新・観光学講座2021」	森下 晶美	2021年10月16日～11月27日	5	450	-	5,500	-	2,750	-	-	-	-	-
		R3	Web	リーダーシップの基礎	加賀見一彰	2021年10月18日～12月13日	8	960	-	8,800	-	4,400	-	-	-	-	-
		R4	ハイブリッド	企業を診る眼を養う～決算書分析事始め～	増子 敦仁	2021年11月20日～12月11日	4	360	6,600	4,400	2,200	2,200	4	11	-	-	15名
		V1	対面	再び仕事をはじめするために～ハードルを乗り越えるためのワークショップ～	榑原 圭子	2021年12月3日	1	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②オープン講座等

期	場所	コード	形式	メインテーマ	講師 コーディネーター	期間	回数	総時間数 /分	受講料				申込者数				合計
									一般		学生		一般		学生		
									対面	Web	対面	Web	対面	Web	対面	Web	
春	白山	0P	ハイブリッド	SDGsと子どもの人権(対面) ー平和・開発・人権と子どもの参加ー	大谷美紀子 森田 明美	2021年4月21日	1	90	-	-	-	-	32	29	34	29	124名
	板倉	0P	対面	日本人なら知っておきたい、『古今和歌集』の真実ー「天皇の歌集」の謎に迫るー	河地 修	2021年6月5日	1	120	-	-	-	-	40	-	-	-	40名
秋	白山	0P	Web	防災の思想～避難情報廃止論と防災プログラムティズム～	及川 康	2021年10月30日	2	180	-	-	-	-	-	17	-	2	19名
	川越	0P	対面	映画で「防災」を考えてみよう	及川 康	2021年12月11日	1	90	-	-	-	-	18	-	-	-	18名
	赤羽台	0P	対面	共生のための住まい～スウェーデンのコレクティブハウス～	水村 容子	2021年10月28日	1	90	-	-	-	-	33	-	-	-	33名
	白山	記1	ハイブリッド	井上円了 ー哲学の展開・妖怪文化の変遷ー	竹村 牧男 湯本 豪一	2021年10月24日	2	120	-	-	-	-	47	-	3	-	50名
		記2	対面	井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー	三浦 節夫	2021年11月6日	1	90	-	-	-	-	29	-	-	-	29名
		0P	対面	災害時の子どもの居場所 意義と作り方	湯野 貴子 加藤 カヨ 森田 明美	2022年2月12日	2	180	-	-	-	-	20	-	8	-	28名

③文京アカデミア(大学キャンパス)

期	場所	コード	メインテーマ	講師 コーディネーター	期間	回数	総時間数 /分	受講料				申込者数				合計
								一般		学生		一般		学生		
								対面	Web	対面	Web	対面	Web	対面	Web	
春	アカデミア 文京	文京	江戸庶民の文化	中山 尚夫	2021年6月23日・30日・7月7日	3	270	-	-	-	-	20	-	-	-	20名
秋		文京	江戸の旅と歩行	谷釜 尋徳	2021年11月10日・17日・24日	3	270	-	-	-	-	20	-	-	-	20名

④文化公演

期	場所	コード	メインテーマ	講師 コーディネーター	期間	回数	総時間数 /分	受講料				申込者数				合計
								一般		学生		一般		学生		
								対面	Web	対面	Web	対面	Web	対面	Web	
秋	白山	文化公演	新型コロナウイルス感染拡大のため中止					-	-	-	-	-	-	-	-	-

公開講座アンケート結果

2021年度 A 講座総合集計結果

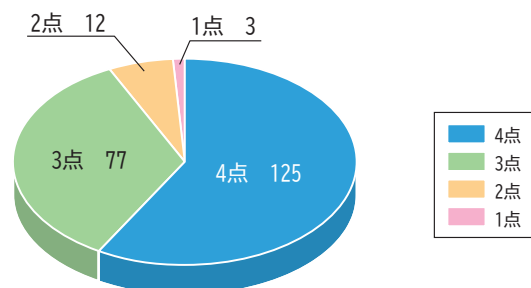
申込総数：596名

回収枚数：217枚

◎受講した講座について(満足度等)

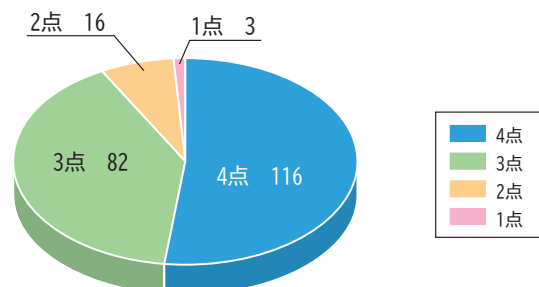
【新たな知見・発見】

4点	3点	2点	1点
125	77	12	3



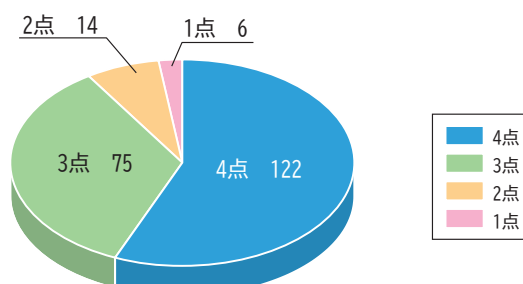
【理解度(分かり易さ)】

4点	3点	2点	1点
116	82	16	3



【満足度】

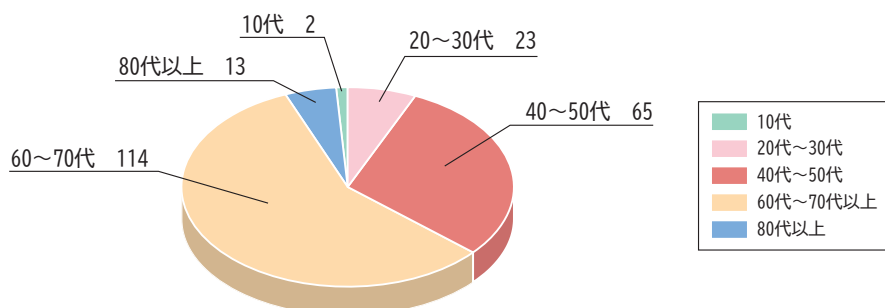
4点	3点	2点	1点
122	75	14	6



◎受講者について

【年齢】

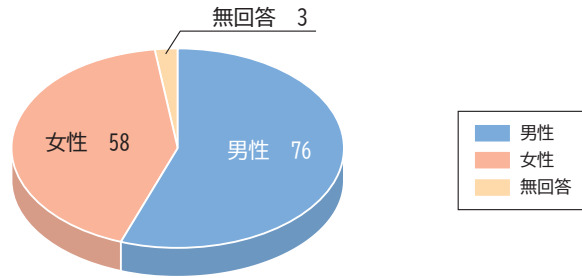
10代	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
2	23	65	114	13



【性別】

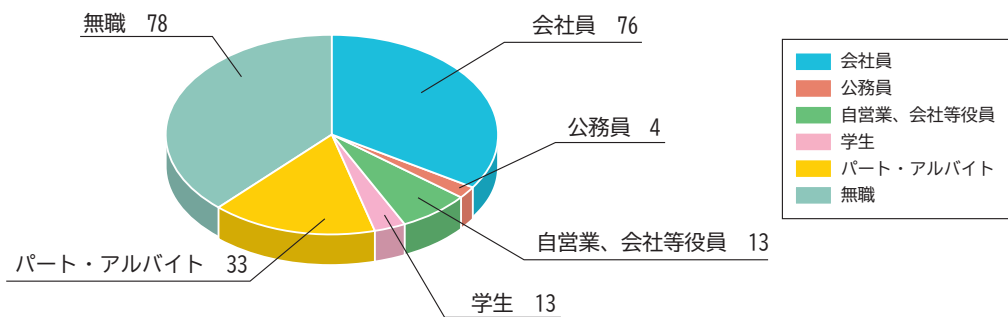
男性	女性	無回答
76	58	3

※「春」のみ集計



【職業】

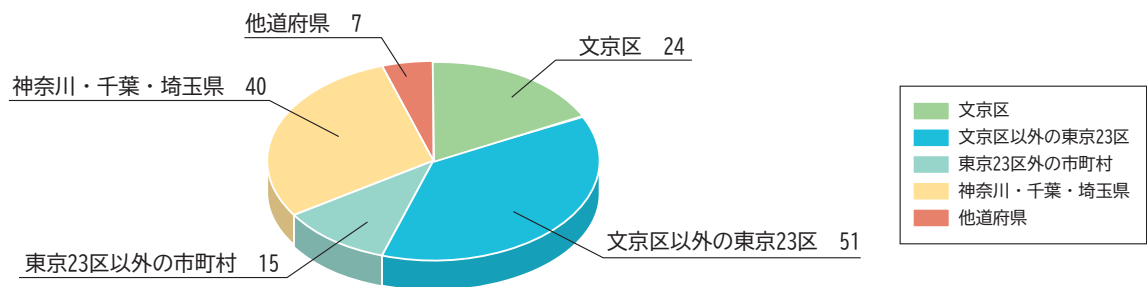
会社員	公務員	自営業、会社等役員	学生	パート・アルバイト	無職
76	4	13	13	33	78



【お住まいの地域】

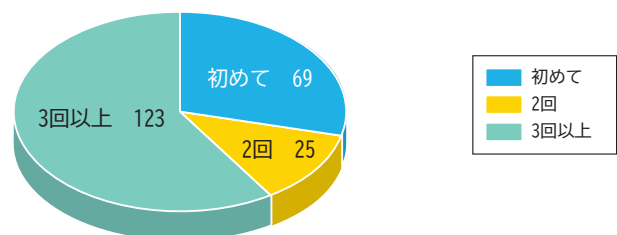
文京区	文京区以外の東京23区	東京23区外の市町村	神奈川・千葉・埼玉県	他道府県
24	51	15	40	7

※「春」のみ集計



【本学公開講座の受講経験】

初めて	2回	3回以上
69	25	123

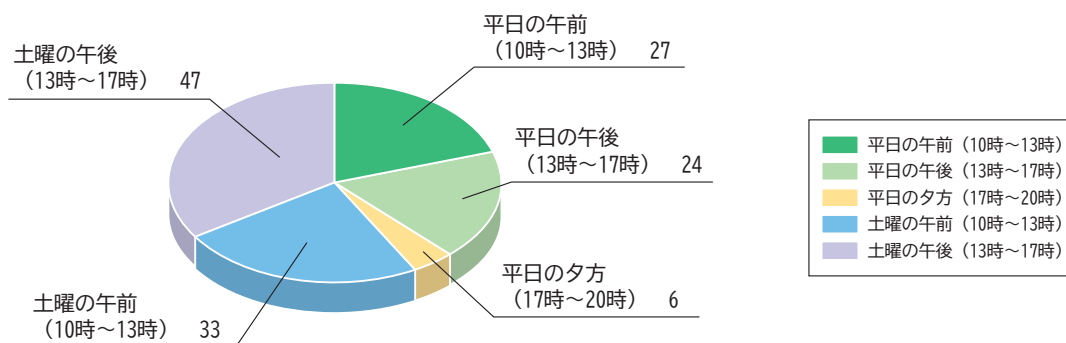


◎今後の講義時間や広報に向けて

【受講しやすい時間帯】

平日の午前 (10時～13時)	平日の午後 (13時～17時)	平日の夕方 (17時～20時)	土曜の午前 (10時～13時)	土曜の午後 (13時～17時)
27	24	6	33	47

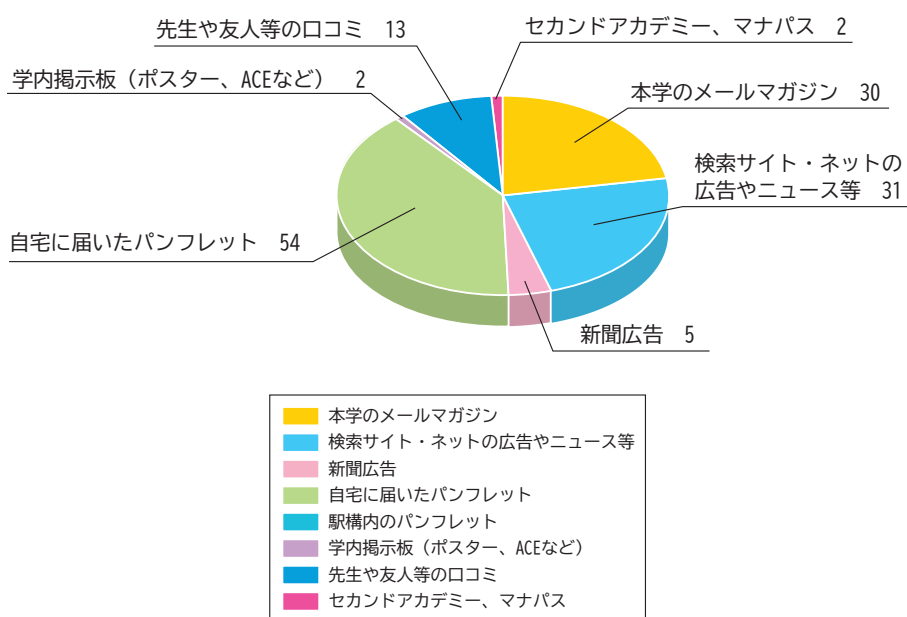
※「春」のみ集計



【この講座を知った方法】

本学のメールマガジン	検索サイト・ネットの広告やニュース等	新聞広告	自宅に届いたパンフレット	駅構内のパンフレット	学内掲示板 (ポスター、ACE など)	先生や友人等の口コミ	セカンドアカデミー、マナパス
30	31	5	54	0	2	13	2

※「春」のみ集計



【講座の感想等】

[春期：A1 江戸幕府の将軍たち]

- ・内容に興味を持って受講したが、少し専門的で難しいように感じた。スライドとハンドアウトの内容が同じであったため、ハンドアウトの方はわかりやすく解説のようなものがあれば話について行けたかもしれません。
- ・メリハリがなく、歴史の新たな面白さや関心をもつことが出来なかった。わざわざ、休みの日に参加した甲斐がなかった。改善を望む。
- ・江戸幕府の将軍たちが行ったことを公開講座を受講したことにより、深まりました。
- ・講義内容が興味深く、時間が短く感じました。
- ・期待した講義内容より低次元な内容だったので、がっかりした。
- ・PCの調子が悪くあまり良くなく残念でした。
- ・スポットの当たらない将軍、出生、政策も知ることができて興味深かったです。初めて聞く言葉で意味がわからないことがありました。漢字がわかればある程度掴めると思うので、適宜、板書していただくと助かります。
- ・聞き取りにくい説明。

[春期：A2 幕末維新の古文書を読み解く]

- ・指定のWebアプリで参加することができず、YouTubeで受講した。がっかりだった。
- ・Webでライブ配信がみれないので現在2回目視聴までです。講師の説明が全て口頭で黒板の文字が小さい画面で見にくく関連資料を用意していただくとありがたいです。
- ・先生の博識にはいつもながら感服です。
- ・コロナ拡大の中で、参加出来ましたこと、感謝申し上げます。不慣れなパソコン操作での参加は、後日聞き直す事も可能であり、大変助かりました。
- ・質問できる時間が少しあったら良かった。
- ・幕末維新时期に関する理解が深まった。慶応期も扱って欲しい。
- ・一般から初めての参加でしたが、只読み下す講座で無く、人物背景も詳しく意外なエピソードや関わる事柄にも触れ楽しく勉強できました。返信メールの情報不足や振込みの不親切さを除けば、受講し易いと思います。

[春期：A3 巴蜀からみる『三国志』]

- ・張飛の首、張飛の人気などから平将門の首塚や神田明神の例を思い出しました。あちこち似た事が起こるのですね。
- ・2回だけでなくもう少し講義数があってもよかった。
- ・Web受講のため致し方ないが、先生が講義の時持ってこられた参考文献が、全く拝見できないのは残念。画面で見せていただくとか出来ないものか。

[春期：A4 万葉集講座－万葉の歌・生活・文化－]

中止。

[春期:A5 『源氏物語』全巻を読む 「東屋」巻－「浮舟物語」の始発～破談、匂宮との出会い、そして、浮舟は薫と結ばれた～]

- ・宇治十帖の作者別人説を明確に否定してくださったのは元より、紫式部の思慮深さ、用意周到さに関する裏付けも知ることができ、満足でした。

- ・今後もインターネット配信による講義をしていただきたい。
- ・先生のお話がとても面白い、特に時代背景や構成の全体像をお示し頂くことで理解が増します。
- ・毎回楽しみにしております。困難な中ご開講頂け感謝です。お授業の間心が救われました。秋も参加できるよう頑張ってお返しします。今回学んだ事しっかり受け止めます。ありがとうございます。
- ・河地先生 今回もありがとうございました。次回も楽しみにしています。
- ・このような時お授業を開講して戴けて感謝いたします。学んだ事しっかり受け止めねばと思います。
- ・毎回先生のお話を楽しく聞かせて頂いております。本文の言葉のそれぞれに、背景とともに分かり易い解説を付けて下さり、紫式部の構築した世界の理解が一層深まりました。感謝申し上げます。
- ・単なる訳ではなく、物語構築の仕方や生活様式、身分による言葉遣いの違いなどの解説があり、深く楽しく購読できました。華やかな世界と思っていた源氏物語の影の部分や没落貴族に注目した購読は本当に興味深いです。
- ・源氏物語講座は2度目です。Web 使用は初めてで自信もないまま始めました。移動時間ゼロで先生のお話を拝聴出来、充実した時間が持てました。感謝申し上げます。

[春期：A6 村上春樹の小説を味わうー初期3部作の世界ー]

- ・小説を読むのも長らく遠ざかっていたので、読み解いていかれる授業についていくのがやっとでした。
- ・わかりやすい石田先生の解説のおかげで今まで以上に春樹作品を味わうことができました。とても面白かったです。ありがとうございます。来年の講座も楽しみにしております。
- ・丁寧なレジュメで研究と個人的読書の間を埋めていただきとても面白い講座でした。
- ・資料も豊富でたいへん分かりやすかったです。村上春樹の続編も秋にやってほしいです。
- ・限られた時間の中でも質疑応答のコーナーも設けていただき考えが深まった。

[春期：A7 心とは何かー井上円了『仏教心理学』に学ぶ]

- ・円了先生の仏教心理学の存在を知り、勉強になり感謝申し上げます。
- ・竹村先生の人間性に触れるのがとても楽しみです。
- ・資料を読んでいるだけの講義で、余り面白いとは思いませんでした。
- ・黒板の不使用が新鮮です。確かに授業に集中出来ます。お話が丁寧で早過ぎず遅過ぎず、丁度良いテンポです。時にはジョークを交えながらとてもお上手です。後期も是非受講したいと思います。
- ・簡潔にして明解な講義、ありがとうございます。竹村先生の授業、いつも楽しみにしております。
- ・1回目と2回目はWeb 講義でしたが、最後は対面講義となったので、満足しました。
- ・第1、第2回は知識がなくてもついていけるくらいでしたが、第3回は私には難しい内容でした。
- ・難しいジックリと読み返したい。
- ・興味があって受講しましたが難しかったです。しかし内容はとても良かったです。
- ・人の「こころ」とは何を基点にして動かされているのか？今回の講義でその一部を知ることができたように感じました。特に過去の仏教の高僧が、「空」「悟り」等の理解のため人

を詳しく分析していることが興味深い。

- ・コロナ禍のために変則的な受講となって、非常に残念でなりません。今般頭となったグローバル化の弊害は、持続可能性の文脈から新自由主義の否定を強く指向しているようです。本学のエコフィロソフィに期待しています。
- ・ありがとうございました。講座を聞いた時には難しくて分らないと思っても、後から分ったりするのがうれしく思います。
- ・人の顔体型などの肉体的部分は、親から子へと DNA で継承していますが、心はどうなのですか。やはり阿頼耶識システムの中に DNA みたいなものが存在し、親の心情を受継いでいるのか？それとも関係ないのですか？
- ・竹村先生の話は分かりやすく、又、新しい発見もあり、ありがとうございました。

[春期：A8 ポストコロナ時代の死生観のために]

- ・考えられるテーマで、今回受講して広い範囲の知識習得、気づきを頂きありがとうございました。対面講座で配布頂いた資料の文字サイズが小さ過ぎて読みにくかった。もう少し大き目をお願いしたかった。
- ・テーマへの視点、その変遷について広範かつ公正な提示がなされた。哲学からの纏めもよかった。
- ・興味ある説明だった。
- ・緊急事態宣言に従い Web 型に変更しました。代金差額の返金がないのは、何故でしょうか？
- ・Webex の使い方に慣れておらず、ご迷惑をお掛けしました。講座内容はとても分かりやすくお話しして頂き、改めて「生きること」を考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・まもなく、75歳になります。一昨年、101歳の父を送りました。思うように、死と対峙できなかったのも、自分は、しっかりむきあいたいとお持っています。そして、残りの人生を有意義に過ごしたいと思っています。

[春期：A9 化石レプリカで学ぶ地球生命史]

- ・レプリカの作成手順が口頭での説明だと分かりにくかったので、写真付きの作成手順を予めプリントにして配布しておくとか、プロジェクターで映す等してあれば良かった。
- ・とても面白い講義でした！実物の化石など自由に見せていただく貴重な機会だったので、欲を言えばもう少しゆっくり見たかったです。対面での講座を開いていただき大変満足です。
- ・お忙しい中、授業頂きありがとうございました。レプリカ作成だけではなく、歴史の授業もあったので親も楽しむことが出来ました。
- ・難しい状況の中、開催いただきありがとうございました。生物史の部分の講義がもう少し丁寧にご説明いただけると子ども達も理解が深まったかなと思います。
- ・鉱物、化石が好きな子どもがとても楽しんでいました。
- ・小学生の子供が参加できるのが良かった。
- ・子供と一緒に参加しましたが、子供が大変喜んでいました。また、機会があれば参加したいです。
- ・間近で化石を見ることができ、貴重な体験ができました。また、工作も楽しく知識も身につけてとても良かったです。

[春期：A10 アートと社会～教養が身につく美術鑑賞入門]

- ・毎回大変面白く受講することができました。絵画の歴史的背景等がわかると、より楽しめるので今後は今までとは違った見方が出来ると思います。発注主の違いで絵画サイズが変わるのは成程と思いました。
- ・受験勉強の影響が強く残っているため、作品以上に作者と作品名を暗記することに注力しがちでした。その作品が描かれた当時の社会情勢や歴史を絡めることができると、これからは鑑賞も楽しくなると思いました。
- ・西洋美術史の変遷が古代から近現代までわかりやすく理解できました。また、同時にアートは社会と文化、その背景にいる人間が作り・見るものだというリテラシー意識も感じました。
- ・惜しみなく知識や情報をご教示頂き感謝します。背景を知ることの大切さを教えて頂きました。是非またアートの講座を開催して頂きたく、お願いいたします。先生のご活躍をお祈りします。
- ・最後の講義は当方のPCの不調により途中退席したが、資料を拝見し多くの知見を得た。
- ・3回目の資料1—2回目同様提供いただければありがたい。
- ・今まで、上辺だけで知っていたことの意味がよく分かりました。改めて、芸術の深さなどを再認識しました。今後も感性を磨くために、芸術に触れたいと思います。
- ・理解しやすい講義説明。

[春期：A11 運動習慣が身体に及ぼす効果について考える]

- ・コロナ禍なので仕方ないかもしれませんが本キャンパスと学食も利用できれば良いなと思いました。講義自体は常に気になっていた健康を詳しく聞けて良かったです。
- ・大変勉強になりました。日常生活などで使える運動方法や食事の実践的なものが知りたかったです。
- ・最近、老化を感じることも多くなったので無理のない運動やダイエットについて考える機会がありよかったです。
- ・サルコペニアは初めて聞く単語で、その内容と適度な運動の目安がわかると良かった。講義を振り返りたいので資料は欲しかった。
- ・糖質を控えた方がいいことが分かりました。糖質の代わりに、小腹が空いたときは、何かおすすめか聞けば良かったなあと後から思いました。
- ・説明資料を電子ファイルか紙で配布して頂き良かった。
- ・今回、90分講義が2回で長時間と感じませんでした。メモを取りながらでしたが、期間限定「講義動画」の配信。ありがとうございます。①太りにくい睡眠時間7時間②ストレスと活性酸素③肥満の原因が心に残りました。

[春期：A12 英語演説を読み解く～スティーブ・ジョブズから受け取る想い～]

- ・ジョブズという人間をよく理解できたし、スピーチについて勉強になった。複数回開講しても良いくらいに感じた。受講後にジョブズの他の演説や他の人物の大学での卒業式のスピーチを視聴するきっかけになった。
- ・とてもよかったです。わかりやすかった。時間があれば英文を紐解いたんだと思う。
- ・Steve JobsのPresentationの特徴について竹谷野先生の説明が良く理解できた。今回はWebinarで会ったが、べつの機会にじっくり先生と意見交換ができる機会があれば幸いです。
- ・対面でなくて残念、しかし先生の授業の工夫でみれました。90分集中できました。ただし、

YouTube の画像音声の再現には工夫が望まれるかもしれません。

[春期：A13 介護する覚悟、介護される覚悟]

- ・ 介護される側の気持ち、感情について今まで思いが至らなかったのが気づきになりました。福祉とは普通に暮らせる幸せを支える仕事、というお話もしっくりきました。学びがあり良かったです。ありがとうございました。
- ・ 親を介護する必要があるかもしれないという状況に突然なり、情報を得たいと思って色々探した結果、当講座を見つけました。ためになる情報が多く、受講して良かったです。
- ・ 講師の母親の介護に際し、ヘルパーを頼まなかったことを後悔していますが、そういうことがあるんだと良くわかりました。体験談は貴重です。有難うございました。
- ・ 講師の体験を交え、介護する側、される側の立場に沿った内容でわかりやすく、共感を覚えることができました。介護制度についても触れて欲しかったと思います。
- ・ 2日間ありがとうございました。とても参考になりました。
- ・ 第一回目はPC不調で受講出来なかったものの、本日の二回目講義は講師の感情あふれる授業で満足度はたかまりました。ただ介護職は感情労働ですが冷静さと科学が必要と感じています。自己覚知と。
- ・ 「介護される覚悟」について知りたかったので今日の講義で、今後準備すべき事と心構えについて参考になった。
- ・ 私は、介護福祉士の訪問介護員です。利用者の気持ちにもっと寄り添いたいと思い、介護される覚悟に期待しましたが、家族側の話が多く、少し残念でしたが、家族の気持ちもわかって、それはそれでよかったです。
- ・ 私も長年介護の仕事をしていますが、今、世間一般的に介護に対する見方がどうなのか、新たな気持ちで受講しました。大変勉強になったと共に先生の体験談も入って心に残る、まさしく覚悟を促される授業でした。
- ・ Webで参加となりましたが、諸々の事情を考慮すれば今後もこのような形で受講したい。自分にとっては身近な課題なので勉強になりました。また配信後も視聴できたので有難かったです。
- ・ 現在、父は特養、母とは同居で、イライラが止まらない時がありました。心の持ち様について参考になれば、と思い受講しました。参考になりました。動画に見られる時間がもう少し欲しかったです。
- ・ ご自身の体験に基づいた講義内容と学術的な統計資料と相まって、分かりやすく納得できるものでした。ありがとうございました。
- ・ 身内での難しさ、他人の介護士でも福祉の心を持たない人の場合、介護の難しさと忍耐と理解力を知ることが理解させられました。

[秋期：A1 空海思想に学ぶ]

- ・ 一応、空海の著作に目を通してはいるが、今回の講義を聴かせていただいても、やはり難しい。
- ・ 深遠な空海思想なので、簡単には分からないと思いつつ、それでももう少し知りたいと感じました。さらに興味を惹かれる先生のお話でした。

[秋期：A2 葬制儀礼と死者祈祷 ー日本の諸宗教とキリスト教ー]

- ・ 現代では、つい軽視されがちではあるけれど、歴史の中でずっと受け継がれてきた我々の心の深奥にある神秘的な気分、を例示を含めて教えていただきありがとうございます。

- ・オンライン形式に慣れていないということかもしれませんが、講演状態と資料表示を両方表示にし画面の切り替えを少なくする、音声は事前に確認いただければもっと集中できたかなと思いました。ありがとうございました。
- ・初日からの音声トラブル等が多すぎると感じております。すべての講義において何らかのトラブルが発生し、対面で受講した方が良かったのではないかと感じております。非常に残念です。次回から期待しております。

[秋期：A4 初期仏教入門 ～ブツダのさとりとその教え～]

- ・対面からWebに2回目から変わりました。①5回は必要な内容と思います。②Webでは音切れが度々発生し理解出来ない部分があり、また自宅での受講で緊張感が切れました。当面Webでの受講は遠慮します。
- ・大変勉強になりました。時間が足りません。

[秋期：A5 江戸幕府の将軍たち]

- ・講義を受けてみて、江戸幕府の将軍のことを深く知ることができました。
- ・知らない話を多く伺え、大変に勉強になりました(特に細かな点)。ありがとうございました。

[秋期：A6 幕末維新の古文書を読み解く]

- ・先生の話術で古文書初心者ですが非常に楽しんで聴けました。来年度岩下先生の講座が開催されないのが残念です。
- ・古文書に忠実に解説していただけるので、くずし字の学習にもなるし、解説も裏話的な内容も含めて楽しく学習出来ました。
- ・皇女和宮さんに対し、今回のような資料が残っていることにビックリしています。人相書きと言えば悪人のものばかり読んでおりました。
- ・江戸幕末の知られざる時代背景がよくわかり、面白かったです。
- ・少々難しい講義でしたが、岩下先生の時折ユーモアを交えた講義は楽しく受講できました。

[秋期：A8 『源氏物語』全巻を読む「浮舟」巻～運命に翻弄される浮舟～]

- ・今回初めて参加しました。河地先生は細かいところまで説明してくださり、別世界と思っていた『源氏物語』の世界が身近に感じられました。次回をとっても楽しみにしております。ありがとうございました。
- ・内容、形式ともに良かった。今後もWebで受講希望です。
- ・講師の古典文学への深い造詣と個性的な語り口がとても魅力的でした。
- ・巻名の話、伊勢物語など紫式部が前提とした文献の解釈や歴史的事実から、何故このような描写か、何故こうした構成かを問いかけることで、紫式部の意図、問題意識、情熱が明らかになる。楽しい講義を堪能しました。

[秋期：A9 ミャンマーのクーデター：社会・経済の現状と展望]

- ・テレビで得られなかったミャンマー情勢を今回の講座でより深く知識を身につけることができました。
- ・良く分かりました。
- ・ミャンマーの人々が早く平穏に暮らせる状況になりますように。
- ・ミャンマーの生活基盤に触れる嬉しい講義でした。宗教を除き、政治経済軍事を国軍に押えられた。先ず宗教を押えたアフガンとそれが違います。どちらも苦しいですね。

- ・最新の状況が聴講出来るだろうと期待して参加したが報道規制で情報が入手出来ないとの事で残念だった。今日の新聞で通貨暴落・経済混乱とあり心配。個人的には寄付による支援をしたいと考えている。
- ・新聞では解らないミャンマーの現状、歴史、今回のクーデターの内容がわかり勉強になった。

[秋期：A10 思いやりを科学するⅢ ～「思いやり」と「思いあやまり」～]

- ・Web参加でしたが時々マイクやスライドが上手く繋がっていませんでした。ピンマイクやヘッドセット等を使用していただけたら良かったかと思います。講座中、事務局の方が音声や画面確認もあると安心かと思いました。
- ・思いやり、幸福感、共感のころころなどについて、改めて考えたいと思う機会になりました。ありがとうございました。
- ・1回だけでは物足りなく、しばらく受け続けていたくらい良い内容だと感じた。
- ・とてもフレンドリーな先生で聞きやすい講座でした。沢山の経験をもとに思いやり、幸福感に関してお話を伺えたためになりました。自然に取得している経験知のもつ重要性を再認識しました。ありがとうございました。
- ・情報社会になって変化を求めて行動している。今後は変化を意識せず、自分のペースで考えて行動するようにしたい。次回、パート4があれば受講したい。
- ・興味惹かれるテーマでした。先生のお姿が画面では小さいので大きく拝見できる場面を多くしていただけると臨場感があり嬉しいです。
- ・他にも思いやりと科学を関連付ける方がおりますが私にはどのような意図を持てば理解できるのかを知りたかったのですが私の能力では理解できませんでした。
- ・対面で講義を受けられて嬉しかったです。歩いていると後ろから爆速してくる自転車ほんとに怖くなって改めて思いました。ノーベル賞の真鍋さんが、表現力を養えと言っていた話を調べました。どんどん磨きます。

[秋期：A11 がんになっても働くことをあきらめない ～就労継続のために知っておきたいこと～]

- ・具体的な事例を含めてお話を伺えて、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・就労・両立支援にも力を入れているので様々なところで浸透していくといいです。主治医意見書が効果的に活用でき両立できたこともあるので浸透させていければと思います。研究し形にしていけるいいなと思います。
- ・職場環境が一番比重があること、そして、上司からの配慮と会社の制度のが続けられる要因であること確認できました。元の職場で継続、以外にがん罹患を機に新たな発見をされること、気づきでした。
- ・本日はありがとうございました。私自身、がん経験者であり、現在は治療と仕事の両立支援に取り組んでいます。がんになっても続く人生を、その人らしく、前向きに歩んでいけるような支援を続けていきたいと思えます。
- ・改めて勉強になりました。ただ、システムがわかりにくく、ZoomのようにミーティングIDを入れると他のパソコンからでも簡単に出来ると思います。
- ・上田さんのデータ、特に体験者の声(書き込み)がとても参考になった。もっと広めたい。
- ・「ふたりに一人が」と言われる時代なので、この病気について正しく理解することが根本

的に必要だと思いました。がんのイメージがよくない、皆が正しく病気を理解してことに起因した課題が多いと感じました。

- ・治療と仕事の両立支援はまだまだ確立されていない分野なのだと認識しました。研修で、知見を知ることができましたので、患者支援に役立てられるとおもいます。
- ・当日は都合が悪くなり動画での受講となりました。後から動画が見られるのはWeb型の良い点だと思います。途中で「リクルート」という言葉が出ましたが、会社名もあるので言い方を変えられたほうが良いと思います。

[秋期：A12 映像と音楽の融合2 ～CM音楽、映画音楽、ゲーム音楽の制作現場～]

- ・安定の楽しさでした。特に座談会が。業界の裏話も聞けて、エンタメ業界＝ブラックと聞いちゃうのはお門違いだなあと感じたりもします。逆にブラックだと感じた瞬間が楽しめなくなる境界線なのだなと。
- ・講座の内容はとても良いものでしたが、配信トラブルが多かったのが残念です。
- ・第一線でご活躍されている方のお話を聞くことができ大変勉強になりました。配信トラブルにより一部講義内容を理解できないところがあったのが残念です。
- ・絵コンテなどの配布2日目2コマ目の講義だけ映像が不鮮明で、配布されない資料がほとんど見えなかったのが残念でした。
- ・講義の内容は十分すぎるほど貴重な内容ばかりでした。次回も参加したいと思います。ただ、Webでも参加しましたが、配信トラブルが大小毎回あるため、改善頂きたいです。
- ・安藤先生の公開講座に毎回出席させていただいております。実際にお仕事されている方のリアルなお話を聞けて、いつもとても勉強になるのですが、その中でも今回は特に有意義でした。次回も楽しみにしています。
- ・法学部の講義と捉えておりましたので、裁判例なども触れていただけると期待しておりましたが、残念でした。
- ・機材トラブルが多く、落ち着きがなかったのが残念。エクステンション課の方の準備不足、対応力不足が気になった。
- ・全体的にグタグタでした。映像を扱う以上、オンラインは難しかったのではないのでしょうか。最初から対面のみであれば大学に行きました。去年のアイドルの講座の方が満足度は遙かに高かったです。
- ・映像が映らない、音声がいくつか聞こえない、その他効率の面で不満が大きく残る形となった。率直に言って何が話され、何が行われたのか、全体的によくわからなかった。
- ・通信環境の事は今後このようなことが無いようにしてください。大変ストレスでした。ゲスト講師の内容が自分の作品披露する時間が長すぎ。結局クリエイターは作品への熱意が第一ということはよくわかった。

[秋期：A13 ゼロからのドイツ語]

- ・広く浅く、語学だけでないのが良かったです。次回は、政治・経済や、人の事、土地の事、生活の事、色々教えてください。旅行気分を少し味わえました。有り難うございます。
- ・分かりやすく大学で苦労した文法が腑に落ちました。2時間の講座であれば、途中5分でもいいから（トイレ）休憩がある方が効率が上がると思います。このフォーム入力しづらいですね。
- ・ドイツ語は触れたことがなかったのですが国の特徴や様式、生活などお話ししてくれてドイツを想像しながら講義を受けることができました。

2021年度 C 講座総合集計結果

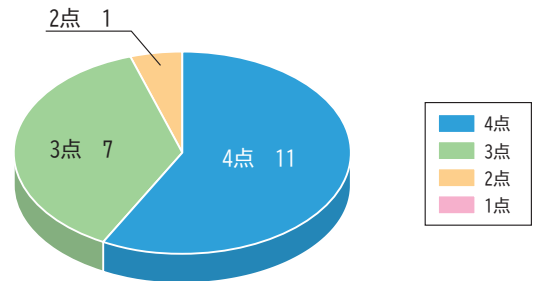
申込総数：29名

回収枚数：19枚

◎受講した講座について(満足度等)

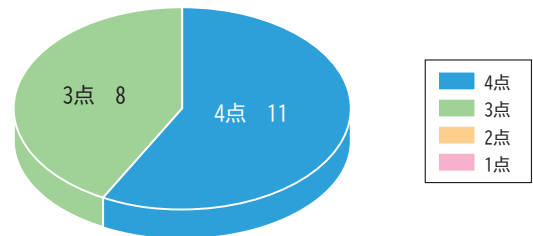
【新たな知見・発見】

4点	3点	2点	1点
11	7	1	0



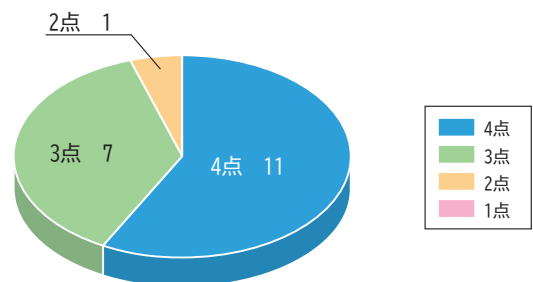
【理解度(分かり易さ)】

4点	3点	2点	1点
11	8	0	0



【満足度】

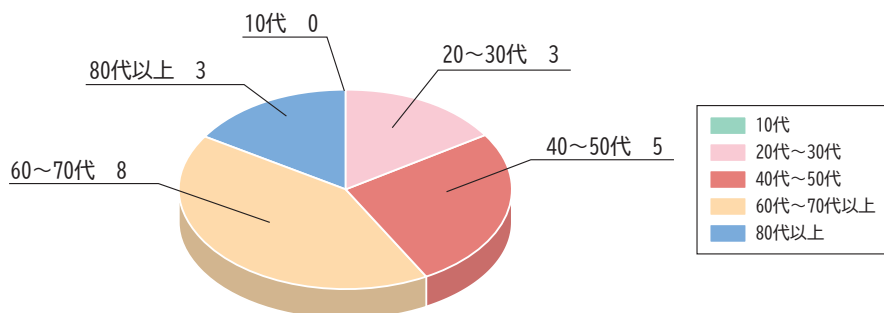
4点	3点	2点	1点
11	7	1	0



◎受講者について

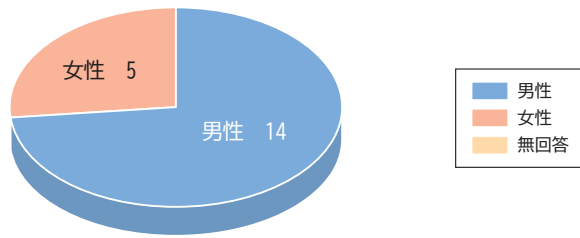
【年齢】

10代	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
0	3	5	8	3



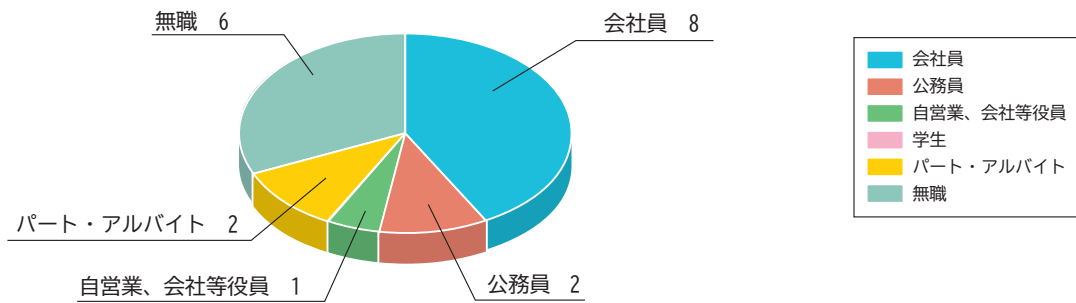
【性別】

男性	女性	無回答
14	5	0



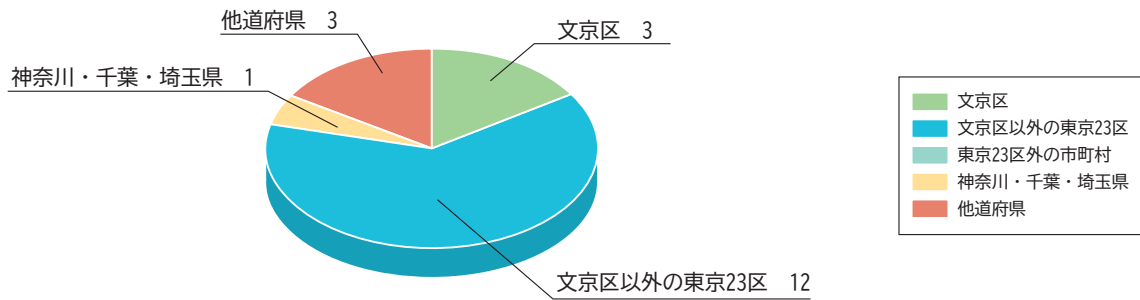
【職業】

会社員	公務員	自営業、会社等役員	学生	パート・アルバイト	無職
8	2	1	0	2	6



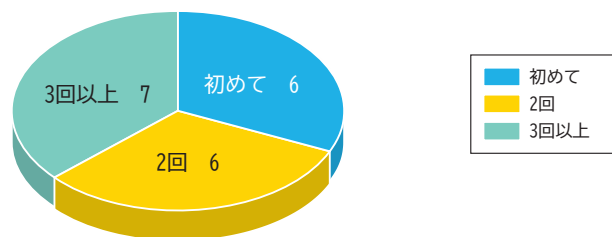
【お住まいの地域】

文京区	文京区以外の東京23区	東京23区外の市町村	神奈川・千葉・埼玉県	他道府県
3	12	0	1	3



【本学公開講座の受講経験】

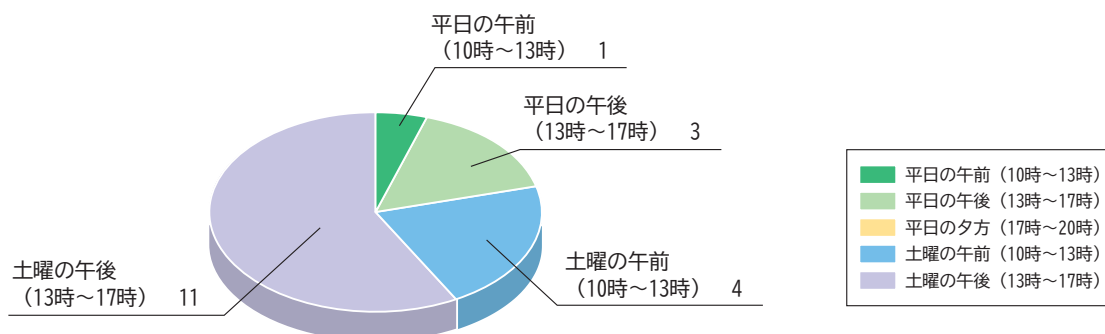
初めて	2回	3回以上
6	6	7



◎今後の講義時間や広報に向けて

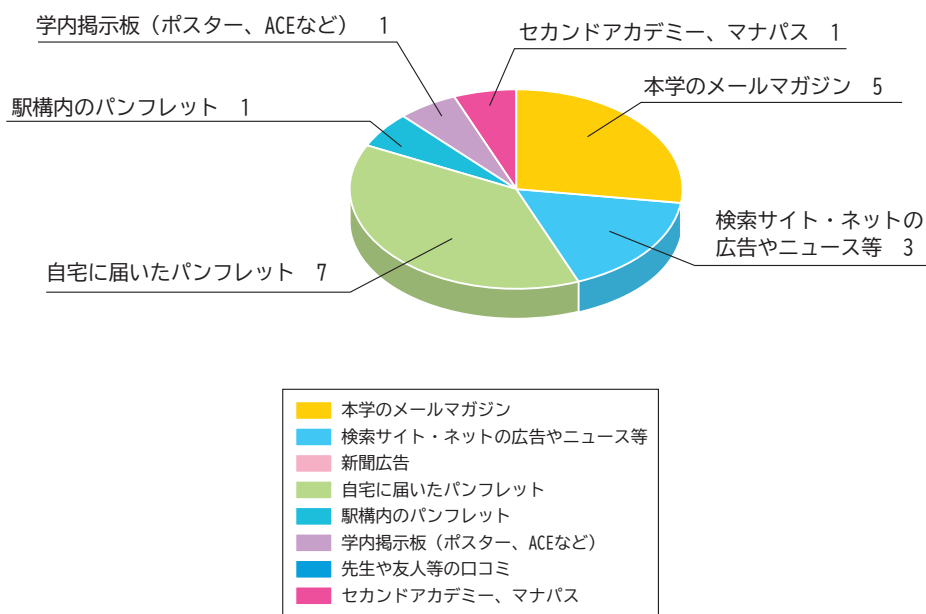
【受講しやすい時間帯】

平日の午前 (10時～13時)	平日の午後 (13時～17時)	平日の夕方 (17時～20時)	土曜の午前 (10時～13時)	土曜の午後 (13時～17時)
1	3	0	4	11



【この講座を知った方法】 無回答：1名

本学のメールマガジン	検索サイト・ネットの広告やニュース等	新聞広告	自宅に届いたパンフレット	駅構内のパンフレット	学内掲示板 (ポスター、ACE など)	先生や友人等の口コミ	セカンドアカデミー、マナパス
5	3	0	7	1	1	0	1



【講座の感想等】

[春期:C1 引き揚げから東京2020へ～京都府舞鶴市とウズベキスタンの「希望」のかけはし～]

- ・新たな発見と歴史からの学び直しが必要だと改めて感じました。会場参加の方々に配付された珈琲が気になりました。
- ・40代だとドラマなどで国内の反戦感は散々聞かされているので海外から観た日本人と反戦についてもっと聞きたかった。
- ・小畑課長の舞鶴市案内で初めて海軍コーヒーなるものがあるのを知りました。山下館長のお話はたくさんの資料とともにわかりやすくご説明頂き、質問にも丁寧にお答えいただけでありがたかったです。
- ・なぜウズベキスタンかが理解できた。引揚者に対する、舞鶴市の暖かい思いやりがあったことが理解できた。お世話になりました。
- ・会場では資料配布があったようであるが、Web版では資料提供がなかった。事後でもよいので提供をお願いしたい。
- ・内容は勿論、話し上手でわかりやすかった。
- ・以前は専門家による学術的な話もあり理解が及ばないところがありましたが、今回の山下館長のお話は分かりやすく集中して聴けて良かったです。
- ・行政が、舞鶴には見るものがない、と行って及び腰だった90年頃から市民が運動し、見事令和の錬金術を成し遂げた当事者の話を聞いてよかった。
- ・あまり知らなかった「引き揚げ」のことを詳しく知ることが出来た。
- ・ウズベキスタンとの関係をもっと深掘りしてほしかった。

2021年度 記念講座1 井上円了一哲学の展開・妖怪文化の変遷―集計結果

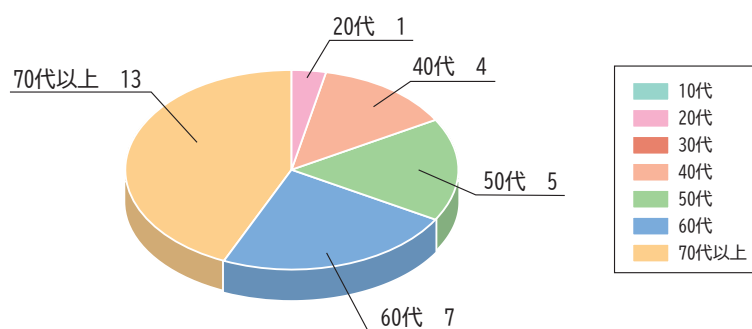
開催日時：2021年10月24日(日)

申込総数：50名

回収枚数：30枚

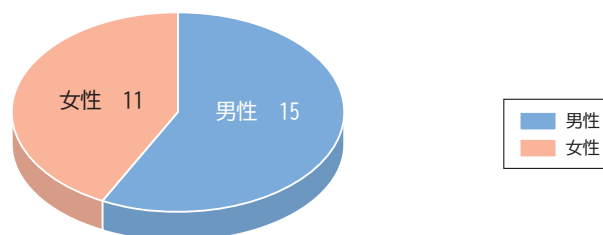
【年齢】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0	1	0	4	5	7	13



【性別】 無回答：4名

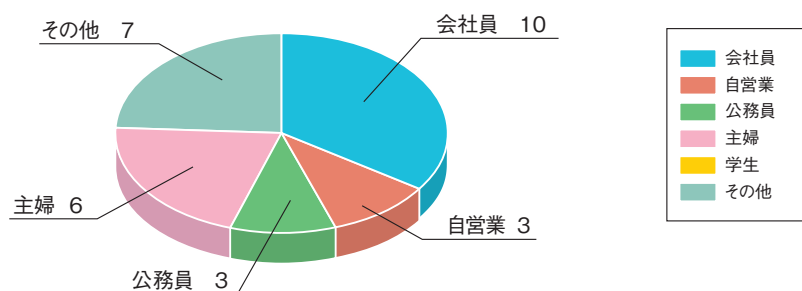
男性	女性
15	11



【職業】 無回答：1名

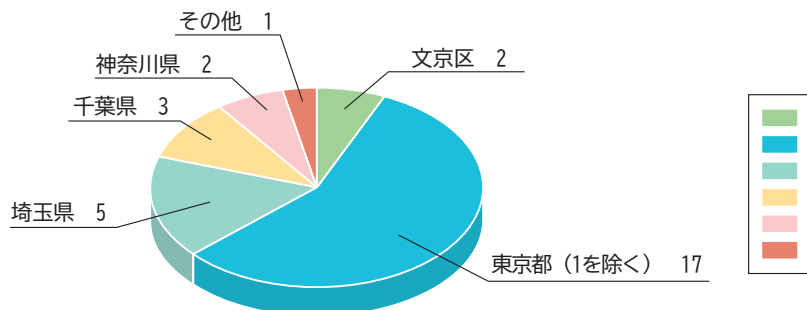
会社員	自営業	公務員	主婦	学生	その他
10	3	3	6	0	7

「その他」内訳…無職：3名、退職：1名



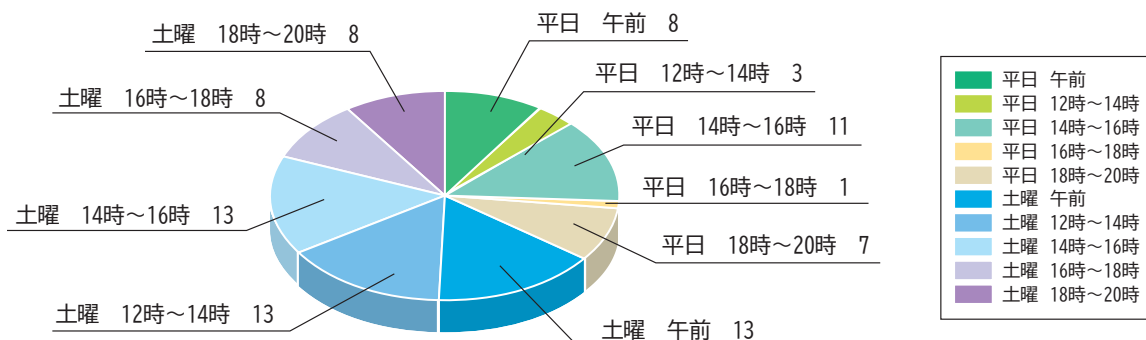
【お住まいの地域】

文京区	東京都 (1を除く)	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他
2	17	5	3	2	1



【公開講座に参加しやすい日時】 ※複数回答あり

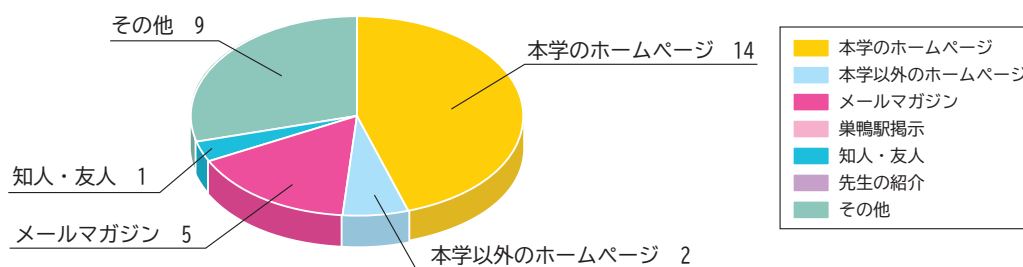
平日					土曜				
午前	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	午前	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時
8	3	11	1	7	13	13	13	8	8



【この講座を知った方法】 ※複数回答あり

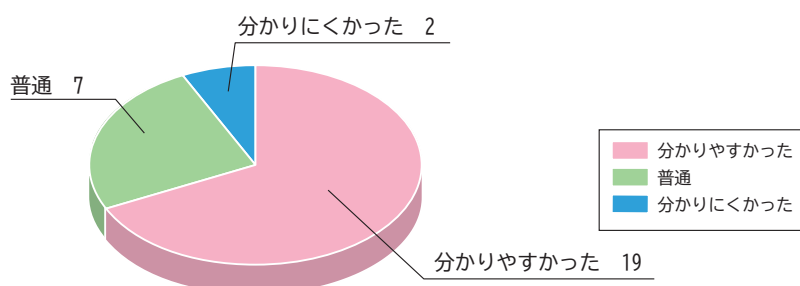
本学のホームページ	本学以外のホームページ	メルマガ	巣鴨駅掲示	知人・友人	先生の紹介	その他
14	2	5	0	1	0	9

「その他」内訳…大学からの案内(パンフレット)：5名、DM：1名、通信講座(ガイドブック)：1名



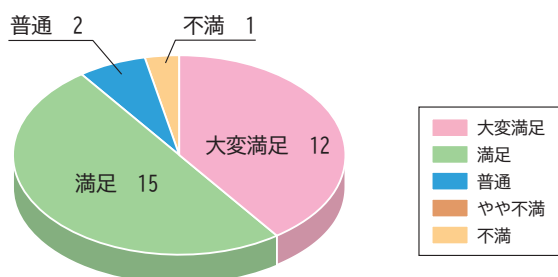
【講義の分かりやすさについて】 無回答：2名 ※複数回答あり

分かりやすかった	普通	分かりにくかった
19	7	2



【講座の満足度について】

大変満足	満足	普通	やや不満	不満
12	15	2	0	1



【講座の感想】

[秋期：記1 井上円了—哲学の展開・妖怪文化の変遷—]

- ・用語が難しく読むだけでは理解できなかった。妖怪というとゲゲゲの鬼太郎を思いうかべるくらいだったが、その歴史は面白かった。
- ・資料が豊富でありがたかったです。このような時期に対面で開催して下さい、ありがとうございます。
- ・お話の内容が高度だった。もっと平易に分かり易くお話して頂けると良い。(特に第1部) 2部のお話は絵巻の説明など分かりやすく良かった。
- ・「哲学」というものについて初めて深く考えてみました。円了先生の志の高さに関心させられました。妖怪の話も面白かったです。
- ・もう少しわかりやすい「井上円了先生哲学」の講座をお願いします。
- ・異なる利点からの講演は興味深いと思いました。
- ・不勉強のため、背景・用語がわからず難しかったです。
- ・井上円了先生のお考えがとてもわかりやすく、お話いただき有りがたかったです。哲学堂はとても行きたくになりました。私的に行こうと思っています。
- ・井上円了先生の考察の基盤及び時代背景が分かって、面白かった。
- ・そもそもの予備知識がない中、今回の講座を受講しましたので少し難しく感じましたが、

学ぶことの喜びを感じました。視野が広がった気が致します。

- ・井上円了哲学センター開設おめでとうございます。毎年貴校の竹村学長(元)の講演を楽しみにしております。井上円了師についての講演は難しかったです、勉強になりました。
- ・良かった。
- ・以前から井上円了先生に興味があり、今回の講演で更に理解を深める事が出来た。
- ・両講演ともとてもわかりやすく理解を深めることができました。
- ・難しい言葉もありましたが、両方の講座ともに、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・社会の改革、社会の為にとということが分かり、大変良かったです。大変面白かったです。ありがとうございました。
- ・哲学者として、また妖怪学者としての円了先生に更に興味をもちました。またこの様な機会がありましたら参加させて頂きたいと思います。
- ・「諸学の基礎は哲学にあり」の意がより深くなったとの心境です。妖怪については解りましたが、妖怪学との関連についても心残りです。
- ・本日は貴重な講演を大変有難うございました。又、2020東京オリンピック・パラリンピックの表彰式を見学させていただき有難うございました。
- ・他社の考え、社会へ役立つことので精神が大切。

【今後希望する講座等】

- ・井上円了について、また別の側面で話を聞きたいです。
- ・人生の転機、キッカケ、歩んできた道など様々な方の歩んできた姿を紹介して頂けると参考になる人が多いと思う。
- ・封建時代の庶民の暮らしぶり等
- ・京極夏彦さんの講演
- ・終活について
- ・今後も哲学についての講座、考え学ぶ場になる様なものがあれば参加したく思います。
- ・竹村先生の空海に関わるお話をお願いできたらと思っております。
- ・オリンピック・パラリンピックの選手のお話が聞きたい。どのような練習方法。スランプをどう乗り越えたか。生き方。人生。今後の進む方向。勝敗にこだわらず、この道を通して何を得たのかなど
- ・現在、世界で起きている事象についての講演を希望する。
- ・今後増々高齢化社会に向かって行く観点において、またコロナ禍において、「身体・健康面」に関しての講座、講演会を聴講したいと思います。(食環境も含めて)〈または、地球環境問題に関する事〉

2021年度 記念講座2 井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー 集計結果

開催日時：2021年11月6日(土)

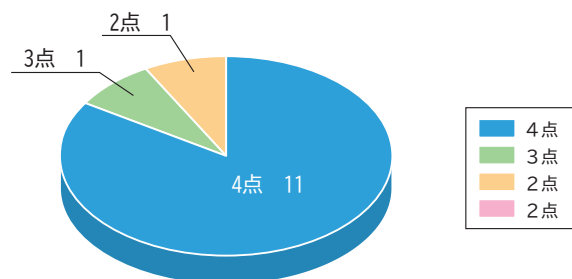
申込総数：29名

回収枚数：13枚

◎受講した講座について(満足度等)

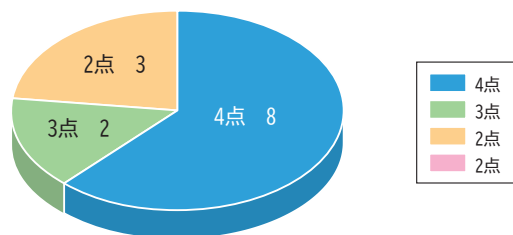
【新たな知見・発見】

4点	3点	2点	1点
11	1	1	0



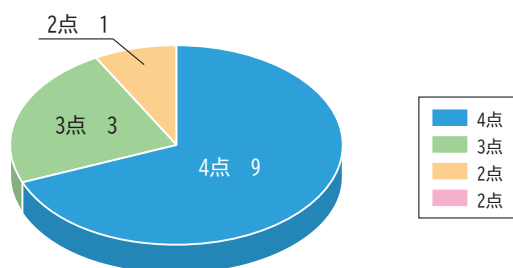
【理解度(分かり易さ)】

4点	3点	2点	1点
8	2	3	0



【満足度】

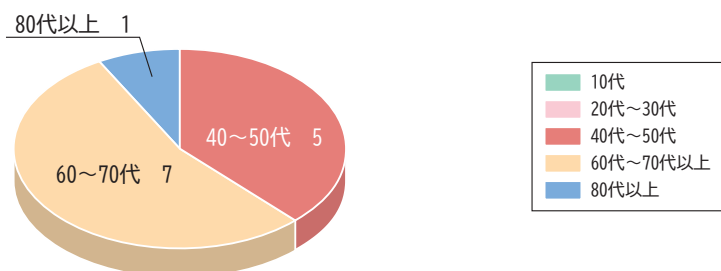
4点	3点	2点	1点
9	3	1	0



◎受講者について

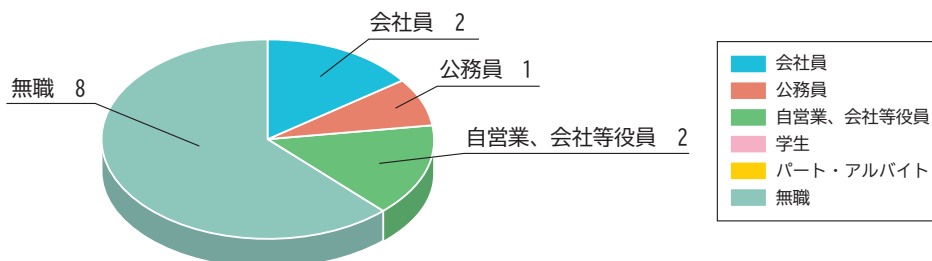
【年齢】

10代	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
0	0	5	7	1



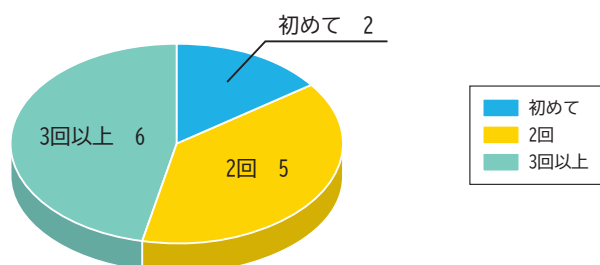
【職業】

会社員	公務員	自営業、会社等役員	学生	パート・アルバイト	無職
2	1	2	0	0	8



【本学公開講座の受講経験】

初めて	2回	3回以上
2	5	6



【講座の感想等】

[秋期：記2 井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー]

- ・説明してくれる人の知識がすごい。井上円了氏の資料を頂けたのもありがたい。
- ・説明文を読み上げて伝える部分は紙資料の配布でも良いかと思います。
- ・若い世代の参加を今後は期待したい。
- ・哲学堂公園の由来がよく分かった。
- ・とても楽しかった。事前講座も聞いてよかった。もっとさらに詳しい哲学の事前講座があると良い。
- ・事務所にあった妖怪クイズをやりながら廻ったので、より楽しめた。
- ・案内は丁寧で分かりやすかった。固有名詞はパンフのどこを見よと案内していただくとわかりやすい。特別な名称が多いので。
- ・テレビで、みていたものを実際に説明と共に見ることができたのでよかったです。
- ・とても良かったが少し疲れた。1回休憩をとり、もっとゆっくり説明を聞きたかった。
- ・1時間半以上もの解説・説明をたっぷり哲学堂を案内して頂いて井上円了氏の魂を感じ取りました。新潟・長岡市にも訪れ達筆な書にも触れてきました。日本人として誇りに思います。

2021年度 OP 講座総合集計結果

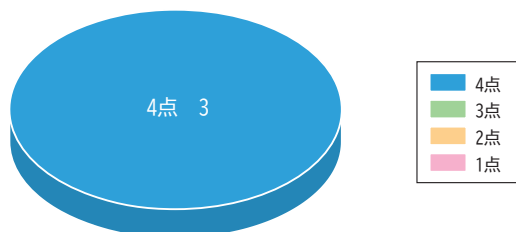
申込総数：19名

回収枚数：3枚

◎受講した講座について(満足度等)

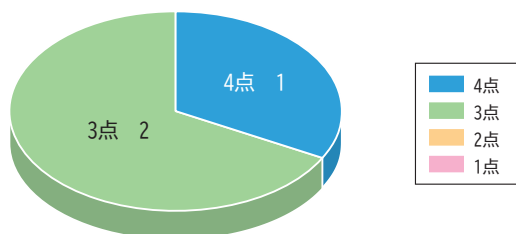
【新たな知見・発見】

4点	3点	2点	1点
3	0	0	0



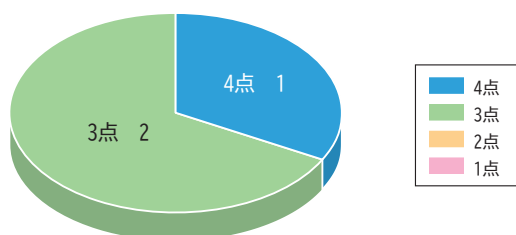
【理解度(分かり易さ)】

4点	3点	2点	1点
1	2	0	0



【満足度】

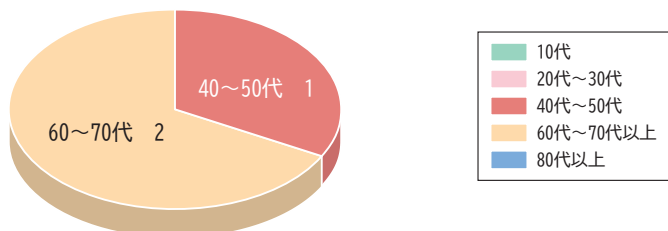
4点	3点	2点	1点
1	2	0	0



◎受講者について

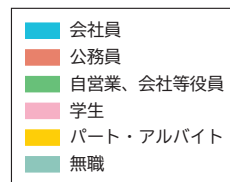
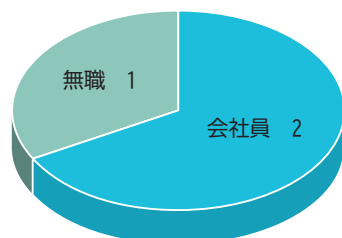
【年齢】

10代	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
0	0	1	2	0



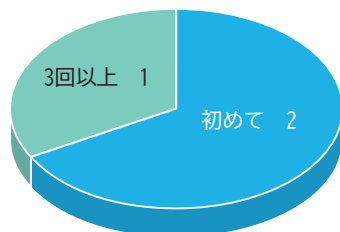
【職業】

会社員	公務員	自営業、会社等役員	学生	パート・アルバイト	無職
2	0	0	0	0	1



【本学公開講座の受講経験】

初めて	2回	3回以上
2	0	1



【講座の感想等】

[秋期：白山 OP 防災の思想～避難情報廃止論と防災プラグマティズム～]

- ・ 災害に備えるためにも、たいへん参考になりました。
- ・ 後半が難しかった。
- ・ 午前の授業は大変有意義であったが、午後は哲学っぽく理解が難しかった。

過去5年間の受講者数

エクステンション講座／2017年～2021年

※中止講座は未掲載

年度	期	形式	テーマ(一部省略有)	主な講師	講師人数	回数	総時間(分)	申込者数						
								一般			学生			申込合計
							対面	Web	計	対面	Web	計		
2017	春	対面	百人一首を味わうー名歌へのいざないー	菊地 義裕	1	6	540分	28		28	3		3	31名
			『源氏物語』全巻を読むー「橋姫」巻、〈宇治十帖〉への招待ー	河地 修	1	8	960分	32		32	4		4	36名
			介護する覚悟、介護される覚悟	八木 裕子	1	2	180分	27		27	-		-	27名
			Google Earthで遺跡をさがすーシルクロード探検隊の報告と現状ー	西村 陽子	1	2	180分	25		25	-		-	25名
			交渉学入門	清水 宏	1	2	180分	24		24	12		12	36名
			日本の食環境を考える	大熊 廣一	1	2	180分	15		15	-		-	15名
			坂口安吾と現代	山崎 甲一 他	5	5	450分	10		10	2		2	12名
			映像と音楽の融合ーCM音楽、映画音楽、ゲーム音楽の制作現場ー	安藤 和宏 他	4	5	450分	49		49	35		35	84名
			旧海軍鎮守府のまちと日本遺産	吉岡 博之 他	4	3	270分	39		39	-		-	39名
	秋	対面	百人一首を味わうー名歌へのいざないー	菊地 義裕	1	6	540分	29		29	5		5	34名
			『源氏物語』全巻を読むー「権本」巻、八の宮の死、姫君たちの運命は？ー	河地 修	1	8	960分	31		31	3		3	34名
			コーチング講座(ベーシック)	室松 慶子	1	4	360分	11		11	3		3	14名
			クラシックバレエ鑑賞入門ー『くるみ割り人形』再考ー	海野 敏	1	3	270分	19		19	-		-	19名
			音楽著作権ビジネス講座ー契約書編ー	安藤 和宏	1	4	360分	54		54	16		16	70名
			「終活」講座ー子の世話にならずに逝きたい！ー	井上 治代	1	2	180分	30		30	1		1	31名
			毎日の健康と長寿の決定要因は？	鈴木 孝弘	1	1	120分	24		24	2		2	26名
			「モード都市」パリができるまで	角田 奈歩	1	1	120分	6		6	3		3	9名
			敦煌文献から見る中国人の死後世界についてー『十王経』写本を見てみようー	川崎ミチコ	1	2	180分	6		6	2		2	8名
2018	春	対面	介護殺人の思想ー現代の知的状況・介護の歴史・介護の諸問題とその行方ー	中里 巧 他	2	5	600分	6		6	2		2	8名
			写本・板本に親しむー王朝の古典から江戸の戯作までー	河地 修 他	2	5	450分	9		9	2		2	11名
			グローバル化する難民問題ーイスラーム教徒の視点から考えるー	子島 進 他	3	3	270分	4		4	4		4	8名
			都市と街道を行くードイツとスイスをめぐるー	山室 信高 他	4	3	360分	13		13	1		1	14名
			森鷗外と慶応3年生まれの人ー文化人ー文京区立森鷗外記念館連携講座ー	石田 仁志 他	5	5	450分	58		58	-		-	58名
			百人一首を味わうー名歌へのいざないー	菊地 義裕	1	6	540分	37		37	5		5	42名
			2020東京オリンピック後の建設経営について	鈴木 信行	1	2	180分	11		11	3		3	14名

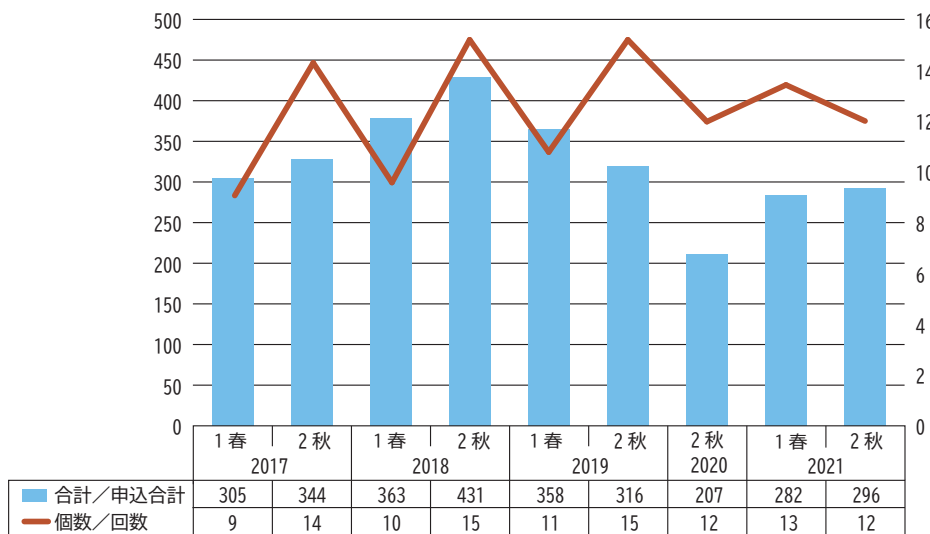
年度	期	形式	テーマ(一部省略有)	主な講師	講師人数	回数	総時間(分)	申込者数						
								一般			学生			申込合計
								対面	Web	計	対面	Web	計	
2018	春	対面	定子後宮と女房たち -『枕草子』の世界を読む-	山中 悠希	1	1	120分	39		39	2		2	41名
			『源氏物語』全巻を読む -「総角」巻(上)、薫と大君-	河地 修	1	8	960分	29		29	1		1	30名
			交渉学入門(実践編)	清水 宏	1	2	180分	11		11	-		-	11名
			健康維持における免疫の大切さ -免疫力を維持するコツ-	加藤 和則	1	1	90分	64		64	3		3	67名
			介護保険制度の賢い使い方 -福祉社会システム専攻シリーズIII-	須田木綿子 他	2	1	90分	54		54	1		1	55名
			坂口安吾と現代	山崎 甲一 他	5	5	450分	11		11	6		6	17名
			ライブビジネスの現状と課題	安藤 和宏 他	4	5	450分	42		42	37		37	79名
			海の京都DMOから見る新たな観光	須賀 忠芳 他	3	1	90分	6		6	1		1	7名
	秋	対面	人生100歳時代をどう生き抜く -まだまだ成れるなりたい自分-	幸田 浩文	1	1	90分	32		32	1		1	33名
			『源氏物語』全巻を読む-「総角」 巻(中)、匂宮と中の君、そして 大君の死-	河地 修	1	8	960分	24		24	2		2	26名
			万葉集講座-万葉の歌・生活・ 文化-	菊地 義裕	1	6	540分	43		43	5		5	48名
			クラシックバレエ鑑賞入門 -バレエとコンテンポラリーダン ス-	海野 敏	1	2	180分	26		26	-		-	26名
			トクホ、機能性表示食品、健康 食品の違いと使い分け	加藤 和則	1	1	90分	27		27	1		1	28名
			江戸無血開城の真実を語る	岩下 哲典	1	3	270分	54		54	-		-	54名
音楽著作権ビジネスの基礎知識			安藤 和宏	1	4	360分	34		34	18		18	52名	
認知症をめぐる最近の話題			白石 弘巳	1	1	120分	41		41	1		1	42名	
激変する朝鮮半島情勢の展望			藤本 典嗣 他	3	3	270分	8		8	3		3	11名	
75歳からの健康術-福祉社会シ ステム専攻シリーズIII-			藤林 慶子 他	2	1	90分	19		19	-		-	19名	
メディアと社会にむしばまれる 子どもや若者-電子メディアの 脅威と学校の再生-			中里 巧 他	2	5	600分	8		8	-		-	8名	
古典文学と旅-奈良・平安朝・ 江戸-			河地 修 他	2	5	450分	20		20	3		3	23名	
人生のセカンドステージと大学 院進学-退職後25年間の計は勉 学にあり-福祉社会システム専 攻シリーズIII-			村尾祐美子 他	2	1	90分	13		13	-		-	13名	
都市と街道を行く-ドイツとそ の周辺をめぐる-			山室 信 他	4	5	360分	11		11	-		-	11名	
森鷗外と歩む近代・東京150年 -文京区立森鷗外記念館連携講 座-	石田 仁志 他	4	6	360分	32		32	5		5	37名			
2019	春	対面	詩を楽しむ	近藤 裕子	1	2	90分	13		13	3		3	16名
			『源氏物語』全巻を読む -「総角」・「早蕨」・「宿木」-	河地 修	1	8	960分	24		24	1		1	25名
			万葉集講座-万葉の歌・生活・ 文化-	菊地 義裕	1	6	540分	53		53	5		5	58名
			般若心経の世界	渡辺 章悟	1	3	270分	38		38	3		3	41名
			「幕末維新の古文書」を読む	岩下 哲典	1	3	270分	32		32	1		1	33名
			思いやりを科学する	浅間 正通	1	1	120分	46		46	2		2	48名
			論語から社会人力を考える	吉田 善一	1	2	180分	14		14	-		-	14名

年度	期	形式	テーマ(一部省略有)	主な講師	講師人数	回数	総時間(分)	申込者数						申込合計
								一般			学生			
								対面	Web	計	対面	Web	計	
2019	春	対面	世界中の中のオリンピック	高島 純夫 他	3	3	270分	6		6	-		-	6名
			(福祉社会システム専攻シリーズIV) 環境問題・エコライフ・持続可能社会	松本 誠一 他	2	3	90分	10		10	-		-	10名
			アーティストをサポートをするプロフェッショナルたち	安藤 和宏 他	4	5	450分	22		22	34		34	56名
			明智光秀の時代と丹後地方～NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」を契機にして～	神村 和輝 他	3	3	270分	49		49	2		2	51名
	秋	対面	一向一揆と民衆	神田 千里	1	1	90分	27		27	1		1	28名
			東南アジア美術の旅ーインドネシア、ジャワ島・バリ島の宗教美術を中心にー	山口しのぶ	1	4	360分	8		8	1		1	9名
			万葉集講座ー万葉の歌・生活・文化ー	菊地 義裕	1	6	540分	41		41	3		3	44名
			高齢社会における医療制度の現状を生活者の視点から理解する	堀田 真理	1	1	90分	18		18	-		-	18名
			『源氏物語』全巻を読むー「宿木」ー～二条院の中の君、匂宮の婚儀と薫の未練に苦悩する～	河地 修	1	8	960分	23		23	2		2	25名
			思いやりを科学するII	浅間 正通	1	1	120分	29		29	2		2	31名
			生と死の哲学ーS. キルケゴールの実存思想の系譜と展望ー	中里 巧 他	2	5	600分	11		11	1		1	12名
			(福祉社会システム専攻シリーズV) これからの時代のキャリア・デザイン	榊原 圭子 他	3	1	90分	4		4	14		14	18名
			ビジネスリーダーを目指す女性のための「最新・観光学講座」	森下 晶美 他	5	5	450分	16		16	3		3	19名
			復興を生きるー東日本大震災から8年、宮城県気仙沼の人びとの挑戦	三浦 友幸 他	6	4	240分	5		5	14		14	19名
			児童文学者・石井桃子の生涯と作品	竹内 美紀 他	2	3	270分	17		17	1		1	18名
			ドイツ語圏の祝祭と文化	山室 信高 他	4	4	360分	8		8	0		0	8名
			日本文学文化における「都鄙」	河地 修 他	2	3	270分	15		15	1		1	16名
			書道実技講座	蓮見 行廣	1	5	600分	14		14	1		1	15名
			荷風と鷗外ー文京区立森鷗外記念館連携講座ー	石田 仁志 他	5	5	450分	36		36	-		-	36名
			2020	春	中止	新型コロナウイルスの影響により中止								
秋	対面	『源氏物語』全巻を読むー「宿木」ー 浮舟の登場～		河地 修	1	8	960分	13	-	13	3	-	3	16名
	Web	明日からできる健康意識改革ー健康寿命を延伸しようー		大瀬良知子	1	1	90分	-	5	5	-	3	3	8名
	対面	これならわかる！最新・介護保険制度～「人生100年時代」を生きるために～		高野 龍昭	1	1	90分	8	-	8	2	-	2	10名
	対面	睡眠中の夢と心の健康		松田 英子	1	2	180分	15	-	15	2	-	2	17名
	Web	「幕末維新の古文書」を読む 日米和親条約～日米修好通商条約		岩下 哲典	1	3	270分	-	8	8	0	1	1	9名
	Web	大乘仏教はどのように起こったのかーその成立と展開ー		渡辺 章悟	1	3	270分	0	19	19	-	-	-	19名
対面	おひとりさまの「終活」	井上 治代	1	1	120分	22	-	22	-	-	-	22名		
対面	仏教思想を考えるーその哲学・宗教・倫理	竹村 牧男	1	3	270分	20	-	20	-	-	-	20名		

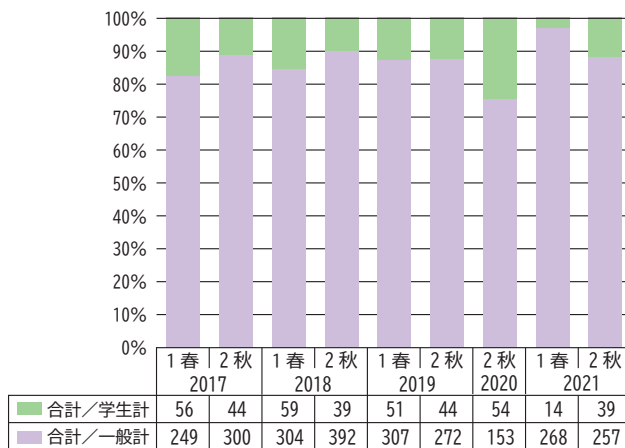
年度	期	形式	テーマ(一部省略有)	主な講師	講師 人数	回数	総時間 (分)	申込者数						申込 合計
								一般			学生			
								対面	Web	計	対面	Web	計	
2020	秋	対面	アイドル・ビジネスの現状と将来像	安藤 和宏 他	4	3	270分	24	-	24	34	-	34	58名
			福祉社会システム専攻シリーズ／大人のひきこもりと老親(8050)問題を考える	綿貫 公平	1	1	90分	2	-	2	9	-	9	11名
			ドイツ語圏の日常	田中 雅敏 他	3	3	270分	7	-	7	-	-	-	7名
			キリスト教芸術の醍醐味－儀礼・聖画・イコン・聖歌－	中里 巧 他	3	3	360分	10	-	10	-	-	-	10名
2021	ハイブリッド	対面	江戸幕府の将軍たち	白川部達夫	1	4	360分	13	10	23	-	-	-	23名
			幕末維新の古文書を読み解く	岩下 哲典	1	3	270分	11	13	24	-	2	2	26名
			巴蜀からみる『三国志』	白井 順	1	2	180分	10	8	18	1	-	1	19名
			『源氏物語』全巻を読む「東屋」巻－「浮舟物語」の始発～破談、匂宮との出会い、そして、浮舟は薫と結ばれた～	河地 修	1	8	960分	17	8	25	2	2	4	29名
	Web	村上春樹の小説を味わう－初期3部作の世界－	石田 仁志	1	3	270分	-	8	8	-	1	1	9名	
		ハイブリッド	心とは何か－井上円了『仏教心理学』に学ぶ	竹村 牧男	1	3	270分	29	24	53	-	1	1	54名
	対面	ポストコロナ時代の死生観のために	朝倉 輝一	1	3	270分	5	6	11	-	2	2	13名	
		化石レプリカで学ぶ地球生命史	寺木 秀一	1	1	90分	20	0	20	-	-	-	20名	
	Web	アートと社会～教養が身につく美術鑑賞入門	増子 美穂	1	3	270分	-	14	14	-	-	-	14名	
		ハイブリッド	運動習慣が身体に及ぼす効果について考える	小河 繁彦	1	2	180分	9	7	16	1	-	1	17名
	ハイブリッド	対面	英語演説を読み解く～スティーブ・ジョブズから受け取る想い～	竹野谷みゆき	1	1	90分	7	7	14	1	-	1	15名
			介護する覚悟、介護される覚悟	八木 裕子	1	2	180分	14	9	23	-	1	1	24名
			引き揚げから東京2020へ～京都府舞鶴市とウズベキスタンの「希望」のかけはし～	須賀 忠芳	1	1	90分	19	10	29	-	-	-	29名
			空海の思想に学ぶ	竹村 牧男	1	3	270分	27	18	45	1	1	2	47名
	ハイブリッド	対面	葬制儀礼と死者祈祷－日本の諸宗教とキリスト教－	中里 巧	1	3	360分	8	7	15	-	-	-	15名
			初期仏教入門～ブッダのさとりとその教え～	渡辺 章悟	1	3	270分	17	9	26	-	2	2	28名
江戸幕府の将軍たち			白川部達夫	1	3	270分	6	4	10	-	2	2	12名	
幕末維新の古文書を読み解く			岩下 哲典	1	3	270分	19	15	34	-	1	1	35名	
秋	対面	『源氏物語』全巻を読む「浮舟」巻～運命に翻弄される浮舟～	河地 修	1	8	960分	9	10	19	1	4	5	24名	
		ミャンマーのクーデター：社会・経済の現状と展望	岡本 郁子	1	1	90分	13	-	13	-	-	-	13名	
		ハイブリッド	思いやりを科学するⅢ ～「思いやり」と「思いあやまり」～	浅間 正通	1	1	90分	8	8	16	1	1	2	18名
		Web	がんになっても働くことをあきらめない～就労継続のために知っておきたいこと～	榊原 圭子	1	1	90分	17	-	17	-	-	-	17名
		ハイブリッド	映像と音楽の融合2～CM音楽、映画音楽、ゲーム音楽の制作現場～	安藤 和宏	1	5	450分	22	20	42	19	4	23	65名

年度	期	形式	テーマ(一部省略有)	主な講師	講師人数	回数	総時間(分)	申込者数						
								一般			学生			申込合計
								対面	Web	計	対面	Web	計	
2021	秋	対面	ゼロからのドイツ語	田中 雅敏	1	3	270分	5	-	5	2	-	2	7名
		ハイブリッド	企業を診る眼を養う ～決算書分析事始め～	増子 敦仁	1	4	360分	4	11	15	-	-	-	15名

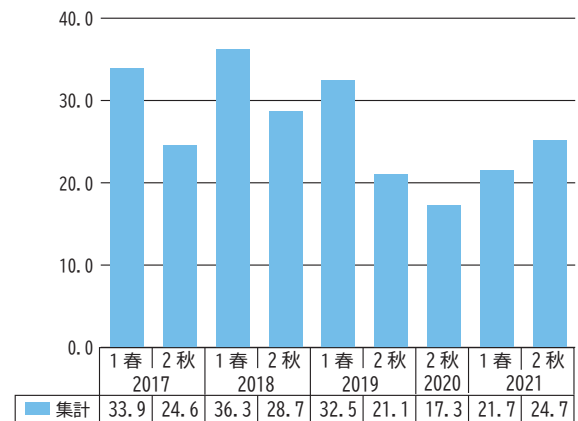
申込者数/開講数(エクステンション講座)



申込者内訳(エクステンション講座)



平均申込者数(各期申込者数/各期講座数)



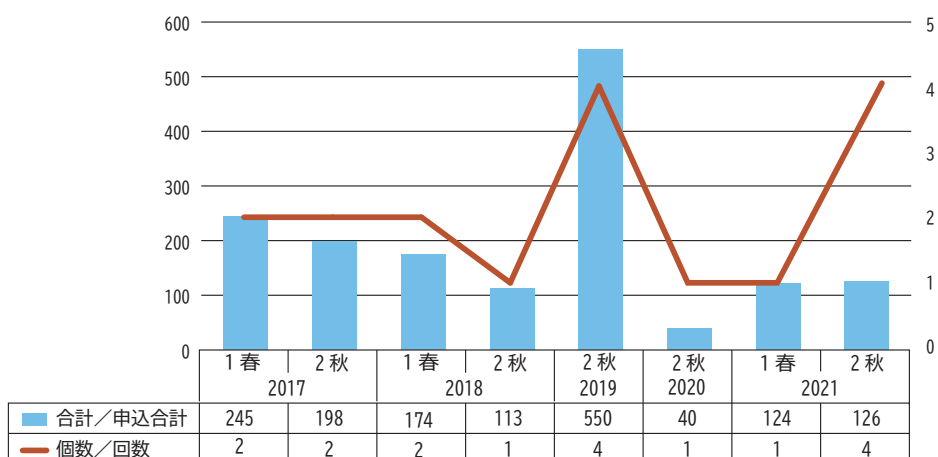
オープン講座／2017年～2021年

※白山は、学生に教員等関係者を含む。学生は授業振替も含む。
 ※白山以外は、一般に学生を含める。

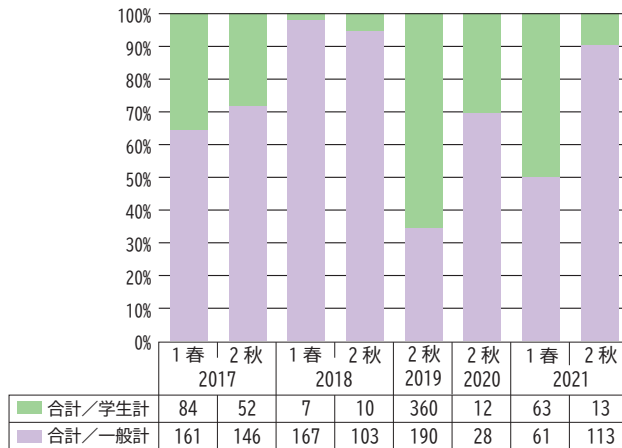
年度	期	形式	会場	テーマ(一部省略有)	主な講師 公演者等	講師等人数 (団体数)	回数	総時間 (分)	申込者数						申込 合計
									一般			学生			
									対面	Web	計	対面	Web	計	
2017	春	対面	白山	「子どもの貧困」はなぜなくなる らないのか —当事者と考える—	猪狩 氷青 他	3	2	180分	124		124	67		67	191名
			白山	「NPO / NGO、CSR」という視点 を通して考える社会貢献のあり方	林 大介	1	3	360分	37		37	17		17	54名
			朝霞	電線・電柱は、何故、埋めたく なるのか —電線派配電作法—	内田 祥士	1	1	90分	80		80			-	80名
			川越	住宅過剰社会の行方—人口減 少・空き家急増でもつくり続 ける日本—	野澤 千絵	1	1	90分	58		58			-	58名
			板倉	『源氏物語』を読む子を思う親 の愛情～人の親の心は闇にあ らねども～	河地 修	1	1	90分	100		100			-	100名
	秋	対面	白山	アクティブな地球人になる	小池アニー タ 他	3	3	270分	65		65	12		12	77名
			白山	子どもの貧困の解決策を支援 者と探る	西野 博之 他	3	1	90分	81		81	40		40	121名
			朝霞	援助場面から学ぶコミュニ ケーション技法	稲沢 公一	1	1	90分	84		84			-	84名
板倉	シニア世代の健康体づくり 講座	佐藤 征夫	1	2	240分	17		17			-	17名			
2018	春	対面	白山	介護する覚悟 —映画「ケアニン～あなたで よかった～」から考える仕事 と親の介護の両立のために—	八木 裕子	1	3	180分	153		153	5		5	158名
			白山	小学校外国語活動指導のため のポイント講座	伊藤 摂子	1	1	120分	14		14	2		2	16名
			朝霞	活性酸素から考える健康のため の運動と栄養	古川 覚	1	1	90分	120		120			-	120名
			川越	雷—安心、安全な生活のため に雷を理解しよう—	加藤 正平	1	1	90分	104		104			-	104名
			板倉	鴨長明と『方丈記』—今、鴨 長明的生き方に学ぶ—	河地 修	1	1	120分	114		114			-	114名
	秋	対面	白山	働き方改革の現状と課題 —なぜ働き方を変えなければ ならないのか—	久米 功一	1	1	90分	103		103	10		10	113名
			朝霞	分かっていますか? 「怒ると」 「叱る」の違い	鈴木 崇之	1	1	90分	100		100			-	100名
			板倉	シニア世代の健康体づくり 講座	佐藤 征夫	1	1	120分	32		32			-	32名
2019	春	対面	川越	アイデア創出の仕組み—アタ マを活性化するテクニック—	柏樹 良	1	1	90分	64		64			-	64名
			朝霞	コミュニティデザインとまち づくり—みんなの思いをカタ チに—	二宮 仁志	1	1	90分	81		81			-	81名
			板倉	読み継ごう、日本の名作古典 『源氏物語』の名場面を原文で 読み、楽しむ—「若紫」巻—	河地 修	1	1	120分	70		70			-	70名
	秋	対面	白山	～国連子どもの権利条約採択 30周年～世界中の子どもたち の人権が守られるために	大谷美紀子	1	1	90分	97		97	342		342	439名
			白山	企業が取り組む社会貢献・ CSR～具体的事例編	宮本 育昌 他	6	3	270分	15		15	5		5	20名
			白山	企業が取り組む社会貢献・ CSR～社会的トレンド編	伊藤 佐和 他	3	3	270分	22		22	8		8	30名

年度	期	形式	会場	テーマ(一部省略有)	主な講師 公演者等	講師等人数 (団体数)	回数	総時間 (分)	申込者数						
									一般			学生			申込 合計
									対面	Web	計	対面	Web	計	
2019	秋	対面	白山	私たちが暮らす町はどう変わる？～グローバル化時代の地域づくりと財政	沼尾 波子	1	1	90分	56		56	5		5	61名
			板倉	シニア世代の健康体づくり講座	佐藤 征夫	1	1	120分	32		32			-	32名
2020	春	中止	全	新型コロナウイルスの影響により中止											
	秋	対面	白山	ウイルス排除に必要な免疫力とは	加藤 和則	1	1	90分	28		28	12		12	40名
2021	春	ハイブリッド	白山	SDGs と子どもの人権(対面) —平和・開発・人権と子どもの参加—	大谷美紀子 森田 明美	2	1	90分	32	29	61	34	29	63	124名
		対面	板倉	日本人なら知っておきたい、『古今和歌集』の真実—「天皇の歌集」の謎に迫る—	河地 修	1	1	120分	40	-	40	-	-	-	40名
	秋	web	白山	防災の思想～避難情報廃止論と防災プラグマティズム～	及川 康	1	2	180分	-	17	17	-	2	2	19名
		対面	川越	映画で「防災」を考えてみよう	及川 康	1	1	90分	18	-	18	-	-	-	18名
			赤羽台	共生のための住まい～スウェーデンのコレクティブハウス～	水村 容子	1	1	90分	33	-	33	-	-	-	33名
		ハイブリッド	白山	井上円了 —哲学の展開・妖怪文化の変遷—	竹村 牧男 湯本 豪一	2	2	120分	47	-	47	3	-	3	50名
		対面	白山	井上円了と哲学堂公園をめぐるスタディ・ツアー	三浦節夫	1	1	90分	29	-	29	-	-	-	29名
			白山	災害時の子どもの居場所意義と作り方	湯野 貴子 加藤 カヨ 森田 明美	3	2	180分	20	-	20	8	-	8	28名

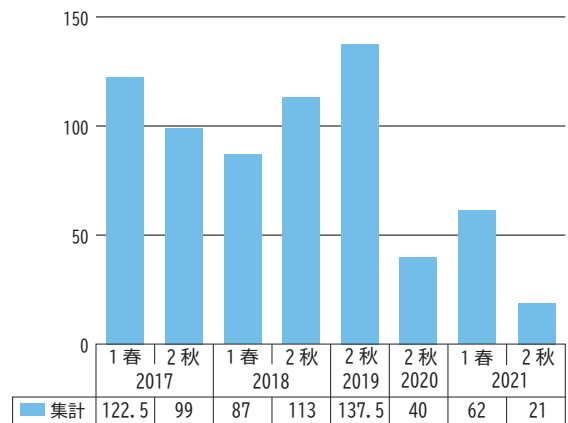
申込者数/開講数(白山オープン講座)



申込者内訳(白山オープン講座)



平均申込者数(白山オープン/授業振替含む)



文化講演 / 2017年～2021年

年度	期	形式	会場	テーマ	主な講師 出演者等	講師等人数 (団体数)	回数	総時間 (分)	申込者数						
									一般			学生			申込 合計
								対面	Web	計	対面	Web	計		
2017	春	対面	白山	絵解きの世界 - 物語と絵と語りの出会い -	小林 玲子 他	4	1	120分	427		427	31		31	458名
2018				津村禮次郎・能の新たな挑戦 - 古典芸能と現代 -	津村禮次郎 他	3	1	120分	469		469	30		30	499名
2019				アンサンブル・トランスアトランティコ・デ・フォークチレーノ演奏会	アンサンブル・トランスアトランティコ・デ・フォークチレーノ	1	1	90分	135		135	135		135	270名
2020	秋			落語 - 日本のお話	林家 時蔵 他	5	1	120分	68		68	12		12	80名
2021	新型コロナウイルス感染拡大のため中止														

文京アカデミア講座 / 2017年～2021年

年度	期	形式	会場	テーマ	講師	回数	総時間(分)	申込者数
2017	前	対面	白山	日本人と妖怪 - 井上円了などにもみる、金・現代の心の変容 -	三浦 節夫	3	270分	38名
	後			外国人おもてなし英会話講座・東洋大学	伊藤 摂子	8	720分	20名
2018	前	対面	白山	暦・干支に見る中国文化 - “孟春” “仲秋” とは何ですか -	川崎 ミチ子	3	270分	73名
	後			外国人おもてなし英会話講座・東洋大学	伊藤 摂子	8	720分	20名
2019	前	対面	白山	江戸、城と町の歴史	大野 瑞男	3	270分	115名
	後			異文化としてのドイツ	田中 雅敏	5	450分	55名
2020	新型コロナウイルスの影響により中止							
2021	前	対面	アカデミア文京	江戸庶民の文化	中山 尚夫	3	270分	20名
	後			江戸の旅と歩行	谷釜 尋徳	3	270分	20名



エクステンション講座 A

化石レプリカで学ぶ地球生命史

日 時：2021年5月22日(土) 14:00～15:30(90分)

※7月17日(土)に延期

講 師：寺木 秀一(元東洋大学教授)

受講者数：20名

【受講者の感想】

- ・ お忙しい中、授業頂きありがとうございました。レプリカ作成だけではなく、歴史の授業もあったので親も楽しむことが出来ました。
- ・ とても面白い講義でした！実物の化石など自由に見せていただく貴重な機会だったので、欲を言えばもう少しゆっくり見たかったです。対面での講座を開いていただき大変満足です。
- ・ 間近で化石を見ることができ、貴重な体験ができました。また、工作も楽しく知識も身につけてとても良かったです。
- ・ 子供と一緒に参加しましたが、子供が大変喜んでいました。また、機会があれば参加したいです。

【講座の様子】





エクステンション講座 A

幕末維新の古文書を読み解く

日 時：2021年11月26日(金)・12月17日(金)・2022年1月28日(金)

10：40～12：10(90分)

講 師：岩下 哲典(東洋大学文学部教授)

受講者数：35名

[受講者の感想]

- ・ 古文書に忠実に解説していただけるので、くずし字の学習にもなるし、解説も裏話的な内容も含めて楽しく学習出来ました。
- ・ 少々難しい講義でしたが、岩下先生のユーモアを交えた講義は楽しく受講できました。
- ・ 講義を受けてみて、江戸幕府の将軍のことを深く知ることができました。
- ・ 江戸幕末の知られざる時代背景がよくわかり、面白かったです。

[講座の様子]





エクステンション講座C

引き揚げから東京 2020 へ

～京都府舞鶴市とウズベキスタンの「希望」のかけはし～

日 時：2021年6月12日(土) 15:00～16:30(90分)

講 師：山下 美晴(舞鶴引揚記念館館長)

コーディネーター：須賀 忠芳(東洋大学国際観光学部教授)

受講者数：29名

【受講者の感想】

- ・なぜウズベキスタンかが理解できた。引揚者に対する、舞鶴市の暖かい思いやりがあったことが理解できた。お世話になりました。
- ・行政が、舞鶴には見るものがない、と行って及び腰だった90年頃から市民が運動し、見事令和の錬金術を成し遂げた当事者の話を聞いてよかった。
- ・小畑課長の舞鶴市案内で初めて海軍コーヒーなるものがあるのを知りました。山下館長のお話はたくさんの資料とともにわかりやすくご説明頂き、質問にも丁寧にお答えいただけありがたいかったです。
- ・以前は専門家による学術的な話もあり理解が及ばないところがありましたが、今回の山下館長のお話は分かりやすく集中して聴けて良かったです。

【講座の様子】



資格講座

2021年度 資格講座

※開講講座のみ記載。

期	講座名	開講地	委託会社	期間	回数	延べ時間数	受講料@		申込者数			
							学生／卒業生	一般	学生	卒業生	一般	計
春	MOS Excel 2019講座	Web	ヒューマンアカデミー	2021年5月18日 ~ 2021年7月20日	10	25H	18,340	22,010	17	-	-	17名
	FP 技能検定3級 対策講座	Web → 対面	TAC	2021年6月1日 ~ 2021年8月3日	9	22.5H	13,770	16,530	18	1	2	21名
秋	MOS Word 2019講座	Web	ヒューマンアカデミー	2021年10月1日 ~ 2021年12月10日	10	25H	18,340	22,010	14	1	-	15名
	MOS Excel 2019講座	Web	ヒューマンアカデミー	2021年9月28日 ~ 2021年12月7日	10	25H	18,340	22,010	31	2	-	33名
	FP 技能検定2級 対策講座	対面	TAC	2021年11月4日 ~ 2022年1月11日	16	40H	24,470	29,370	12	1	-	13名
							合計		92	5	2	99名

講師派遣

2021年度 「東洋大学の講義を全国各地にお届けします」実施報告

1. 講師派遣要項

(1) 名称「東洋大学の講義を全国各地にお届けします—講師派遣」とし、本年度は3つのプログラムを提供した。

①生涯学習支援プログラム(以下『生涯』)
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および学校のPTA等で企画する講演会等へ本学の講師を派遣。 ・高等学校の授業(『総合的な学習の時間』等)・講演に依頼があった場合、講師を派遣。対象は高等学校の生徒
②研修支援プログラム(以下『研修』)
<ul style="list-style-type: none"> ・企業、各種団体等で実施する研修会等へ本学の講師を派遣。
③SDGs(持続可能な開発目標)達成学習支援プログラム(以下『SDGs』)
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の小・中・高等学校、特別支援学校におけるSDGs目標達成のための教育を推進するため、本学教員を派遣。

【派遣期間等】

派遣期間	2021年5月17日(月)～12月17日(金)
申込期間	2021年4月1日(木)～10月18日(月)
申込締切	開催希望日の2ヶ月前迄とし、原則として、①は年間1団体につき1回派遣。但し、9月および10月開催分は、7月9日(金)締切。
派遣予定件数	140件
派遣上限	本学専任教員並びに本学名誉教授で、1教員の派遣数は原則3回まで

2. 実施経過(概略)

- (1) 2020年11月20日：専任教員全員と元教員に対して、当事業への協力要請
- (2) 2021年1月4日：テーマ募集提出締切
- (3) 2021年1月～3月：テーマ集約・分類・HPアップ準備(事務局作業)
- (4) 2021年4月1日：ホームページ等にて受付開始
- (5) パンフレット送付件数

1	教育委員会	1,805
2	前年度派遣実績のない地域	0
3	大学施設関連地域の団体	3
4	過去数年間に派遣した団体(1～3を除く)	439
5	過去2年間の「研修」実施団体	19
6	維持会	98
7	就職懇親会参加企業	164
計		2,528

3. テーマ数、実施件数

テーマ提出教員数：専任職員185名(全専任教員の約25%) 元教員 32名

種別	生涯	研修	SDGs	合計
募集時 テーマ数	221	28	73	609
	287 (共通テーマ)			
実施件数	38	2	9	49

(1) 地域別派遣実施件数

地域	生涯				研修				SDGs				計			
	件数	%	昨年	%	件数	%	昨年	%	件数	%	昨年	%	件数	%	昨年	%
北海道	2	5%	2	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	2	4%	2	6%
東北	2	8%	2	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	3	6%	2	6%
関東	25	66%	11	50%	1	50%	2	100%	9	100%	7	-	35	71%	20	65%
中部/甲信越	3	8%	1	5%	1	50%	0	0%	0	0%	0	-	4	8%	1	3%
北陸	2	5%	3	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	2	4%	3	10%
近畿	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	1	2%	1	3%
中国	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
四国	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	1	2%	1	3%
九州	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	1	2%	1	3%
合計	37	100%	22	100%	2	100%	2	100%	9	100%	7	-	49	100%	31	100%

(2) 実施した個別テーマ 別紙参照

(3) 講師の内訳

実施件数と講師の内訳は次のとおり。()内は派遣実人数。

年度	2021	2020	増減
専任教員	35件 (25名)	20件 (16名)	15件 (9名)
名誉教授	13件 (8名)	8件 (6名)	5件 (2名)
客員教授	0件 (0名)	0件 (0名)	-
元教授	1件 (1名)	3件 (2名)	▲2件 (▲1名)
計	49件 (34名)	31件 (24名)	18件 (10名)

(4) 申込者(団体)のリピーターの割合

昨年度も実施した団体は5団体で、全体の10%に当たる。

4. 次年度に向けて

2021年度の申し込み件数は68件であったが、19件が中止となり、実施は49件となった。

2021年度では若干の増加とはなかったが、例年に比べると半数程度の件数となったのは、感染症流行による影響が大きい。春学期は緊急事態宣言が発令されたこともあり、中止にする講座も多くあった。秋学期においては「Web」型を併用しながら実施を行い、「対面型」「併用型」も37件行うことができた。

オンラインでは、「受講者の反応がわかりにくい」等の非対面特有の課題が引き続きあるが、

主催者側や受講者が「慣れくる」ことで、若干解消したように思える。

また、派遣側としては講師の時間的拘束や大学の経費が不要になることから、多くの講座を実施するにはWebでの実施を増やしていく必要があると思われる。

また、本学のSDGs達成に向けた取り組みの一つとして、2020年度よりSDGs達成学習支援プログラムを開始した。受講者は小・中・高校生、教員と多岐に及んだが、それぞれの受講者のレベルに合わせた講演を行っていただき、満足度の高い講義であったとの声が多数寄せられた。

全国の小・中・高等学校、特別支援学校を対象に募集をしたところ9件の申し込みがあったが、新型コロナウイルスの影響からか今回もすべて関東の学校であった。SDGsに対する理解を深める動きが高まる昨今、Webでの実施にも実績を積んできているので、次年度はより多くの受講者に本事業が届くよう周知徹底に努めたい。

次年度は感染状況が落ち着くことを期待し、まずは派遣回数100件を目標とする。オンラインも駆使しつつ、対面か非対面か選べる形での講座提供をすすめていく。

2021年度 講師派遣事業 派遣先実績一覧

〈生涯学習支援〉

No	開催日時	開催県	団体名	開催する会	講演テーマ	派遣教員	所属学部	受講者数
1	2021年7月2日	千葉県	千葉県市原市立五井公民館	五井楽学塾・春	ウイルス排除に大切な免疫力とは	加藤 和則	理工学部	40
2	2021年7月2日	神奈川県	座間市立東地区文化センター	生涯学習学級「あすなろ大学」	新型コロナ問題にまつわる差別や偏見などについて	北村 英哉	社会学部	36
3	2021年7月3日	長野県	「長野県は宇宙県」連絡協議会	長野県星空継続観察ミーティング	身近な環境問題「光害」を考えよう	越智 信彰	経営学部	90
4	2021年7月17日	東京都	東京都北区立赤羽文化センター	赤羽文化センター区民講座 家庭教育 わかっていますか？「怒る」と「叱る」の違い	分かっていますか？「怒る」と「叱る」の違い	鈴木 崇之	ライフデザイン学部	26
5	2021年8月22日	東京都	羽村市教育委員会	生涯学習センターゆとろぎ市民講座	漢字の魅力を知ろうー漢字の表す姿と形ー	坂詰 力治	名誉教授	33
6	2021年8月24日	埼玉県	鶴ヶ島市立新町小学校	学校保健委員会	ウイルス排除に大切な免疫力とは	加藤 和則	理工学部	22
7	2021年9月11日	埼玉県	さいたまファミリー・サポート・センター	ファミリー・サポート・センター講習会	「聴き上手」になるためにー言葉のボールの受け止め方ー	鈴木 崇之	ライフデザイン学部	39
8	2021年9月16日	埼玉県	春日部市教育委員会社会教育部社会教育課	遊学スキルアップ講座	ネットワーク社会における人間関係ーインターネットとケータイが社会を変えたー	海野 敏	社会学部	34
9	2021年9月18日	埼玉県	日高市高麗公民館	女性のためのリフレッシュ講座	ヨガで学ぶメンタルヘルス	加藤千恵子	総合情報学部	15
10	2021年9月23日	愛知県	Home & nico ホール 江南市民文化会館	歴史講座	江戸庶民の旅と歩行	谷釜 尋徳	法学部	44
11	2021年10月2日	神奈川県	鎌倉市生涯学習推進委員会	鎌倉市生涯学習プログラム	近代中国の歴史	千葉 正史	文学部	18
12	2021年10月4日	栃木県	芳賀郡市中学校教育研究会理科部会	芳賀郡市中教研理科部会講演会	これから求められる資質・能力と学習活動とはー新学習指導要領とこれからの学びー	後藤 顕一	食環境科学部	35
13	2021年10月5日	埼玉県	東北コミュニティーセンター	芸術鑑賞講座	日本文化への扉としてのマンガ・アニメ	紀 葉子	社会学部	17
14	2021年10月6日	北海道	厚沢部町教育委員会	「厚沢部町文化講演会」共済「幸齢者学級」	フローな人生を送るためにー「アフター・コロナ」の生き方	八巻 節夫	名誉教授	30
15	2021年10月7日	埼玉県	桶川市教育委員会	桶川市民大学	生きる事は学ぶこと	吉田 公平	名誉教授	36
16	2021年10月7日	埼玉県	埼玉県入間向陽高等学校	講演会	新型コロナ問題にまつわる差別や偏見などについて	北村 英哉	社会学部	30
17	2021年10月13日	埼玉県	社会福祉法人 行田市社会福祉協議会	地域担い手養成講座	地域はあなたの活躍を期待しています。地域活動に参加するための処方箋	小瀬 博之	総合情報学部	138
18	2021年10月16日	埼玉県	吉川市立図書館(指定管理者 OITグループ)	一般講座	日本の古典を楽しむー日本古典の王道「古今和歌集」の謎に迫る	河地 修	名誉教授	17

No	開催日時	開催県	団体名	開催する会	講演テーマ	派遣教員	所属学部	受講者数
19	2021年10月16日	埼玉県	こしがや市民活動連合会	令和3年度こしがや市民活動連合会学識者講演会	本当の「豊かさ」とは？ －性善説の人間学－	小路口 聡	文学部	33
20	2021年10月17日	福島県	白河市教育委員会	白河市大学出前講座	論語から社会人力を考える	吉田 善一	理工学部	42
21	2021年10月21日	宮崎県	延岡市教育委員会 社会教育課	延岡市民大学講座	脳科学のストレスマネジメントーストレスを知ってうまく付き合うー	堀内 城司	理工学部	43
22	2021年10月21日	徳島県	藍住町教育委員会	藍住町人権講座	女性に優しい社会を考える	伊藤 大将	国際学部	44
23	2021年10月22日	埼玉県	埼玉県教育局 北部教育事務所	令和3年度北部地区社会教育関係委員・職員の資質向上のための講演会	フローな人生を送るために －「アフター・コロナ」の生き方	八巻 節夫	名誉教授	108
24	2021年10月27日	岩手県	公益社団法人岩手県青少年育成県民会議	青少年育成セミナー	子どもの心の成長を支える －がまんする力、めげない強さ－	中原 美恵	名誉教授	30
25	2021年10月28日	茨城県	土浦市一中地区公民館	令和3年度土浦市一中地区公民館後期講座	「聴き上手」になるために －言葉のボールの受け止め方－	鈴木 崇之	ライフデザイン学部	21
26	2021年10月29日	埼玉県	春日部市庄和地区市民大学	庄和地区市民大学講座	食生活および生活リズムと健康との関わり	吉崎 貴大	食環境科学部	43
27	2021年11月2日	兵庫県	波賀生涯学習事務所	波賀高齢者大学かえて学園講座	毎日の健康と長寿の決定要因は？	鈴木 孝弘	経済学部	34
28	2021年11月3日	埼玉県	志木市立柳瀬川図書館	本を読む市民のつどい	日本の古典を楽しむー『源氏物語』はおもしろい！	河地 修	名誉教授	33
29	2021年11月5日	神奈川県	逗子市教育委員会 教育部社会教育課	家庭教育講座または社会教育講座	なぜ今、プラスチックごみ対策？	鈴木 孝弘	経済学部	29
30	2021年11月6日	東京都	公益財団法人 新宿未来創造財団	民間等と連携した機会提供事業	大人の理科教室ー化石のレプリカづくりを通して地球の歴史を探ろうー	寺木 秀一	元東洋大学教授	44
31	2021年11月13日	千葉県	鴨川市教育委員会	鴨川市・東洋大学交流事業 講演会	あまり飲まないほうがいい薬の話	鈴木 孝弘	経済学部	48
32	2021年11月14日	福井県	福井県立若狭図書館学習センター	福井ライフ・アカデミーふるさと未来講座	身近な環境問題「光害」を考えよう	越智 信彰	経営学部	9
33	2021年11月19日	埼玉県	株式会社セイウン	野火止公民館講座	日本列島ー文学文化風土の旅ー	竹内 清己	名誉教授	20
34	2021年11月24日	宮城県	気仙沼市立鹿折公民館	鹿折公民館「成人講座」	胸がドキドキの脳科学入門	堀内 城司	理工学部	45
35	2021年11月26日	北海道	釧路町公民館	釧路町高齢者大学集合学習会	年金について考える	川瀬 晃弘	経済学部	80
36	2021年12月10日	新潟県	新潟市生涯学習センター	生涯学習相談窓口「ひだまり」企画講演会	聴くことと話すこと	吉田 公平	名誉教授	60
37	2021年12月16日	神奈川県	茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課	東洋大学生涯学習支援プログラム	日本列島ー文学文化風土の旅ー	竹内 清己	名誉教授	20
38	2021年12月17日	愛知県	幸田町生活学校	幸田町生活学校学習会	環境社会学ーその魅力と課題ー	青木 辰司	名誉教授	83
受講者計(生涯)								1,569

< 研修支援 >

No	開催日時	開催県	団体名	開催する会	講演テーマ	派遣教員	所属学部	受講者数
1	2021年11月12日	神奈川県	横浜市立高等学校PTA連絡協議会	横浜市立高等学校PTA連絡協議会研修会	環境社会学ーその魅力と課題ー	青木 辰司	名誉教授	60
2	2021年12月12日	岐阜県	岐阜県病院薬剤師会	令和3年度中堅薬剤師研修会	偏見、あるいはアンコンシャスバイアス、女性活躍を考える	北村 英哉	社会学部	46
受講者計(研修)								106

<SDGs 達成学習支援 >

No	開催日時	開催県	団体名	開催する会	講演テーマ	派遣教員	所属学部	受講者数
1	2021年6月17日	千葉県	千葉県立柏中央高等学校	総合的探究の時間	哲学カフェ：ロボットと暮らす世界を考える	松浦 和也	文学部	347
2	2021年6月25日	栃木県	栃木県立宇都宮南高等学校	SDGs 模擬授業	宗教文化を学んで日本と世界の人々についての理解を深めよう	高橋 典史	社会学部	85
3	2021年6月26日	東京都	帝京高等学校	探究学習	多文化共生と教育	芦沢 真五	国際学部	61
4	2021年7月1日	埼玉県	埼玉県立川口青陵高等学校	総合的な探究の時間	運動の面白さって誰のもの？	高橋 珠実	食環境科学部	278
5	2021年8月26日	東京都	目黒区立第十一中学校	サマースクール	SDGs と新たな日本型ものづくりの創成	神田 雄一	名誉教授	63
6	2021年10月8日	東京都	豊島区立駒込小学校	食育学習	食べ物の好き嫌いはなぜ生じるのか？	大瀬良知子	食環境科学部	90
7	2021年10月20日	東京都	田園調布学園中等部・高等部	中3・高1特別講義	数値の正しい理解とコロナ対策	小山 信也	理工学部	9
8	2021年10月30日	神奈川県	相模女子大学高等部	1年特進土曜講座	働きやすい会社はどこ？「女性活躍推進企業データベース」を使おう	村尾祐美子	社会学部	62
9	2021年11月18日	群馬県	東京農業大学第二高等学校	総合学習 出前講座	運動の面白さって誰のもの？	高橋 珠実	食環境科学部	138
受講者計(SDGs)								1,133
受講者合計								2,808

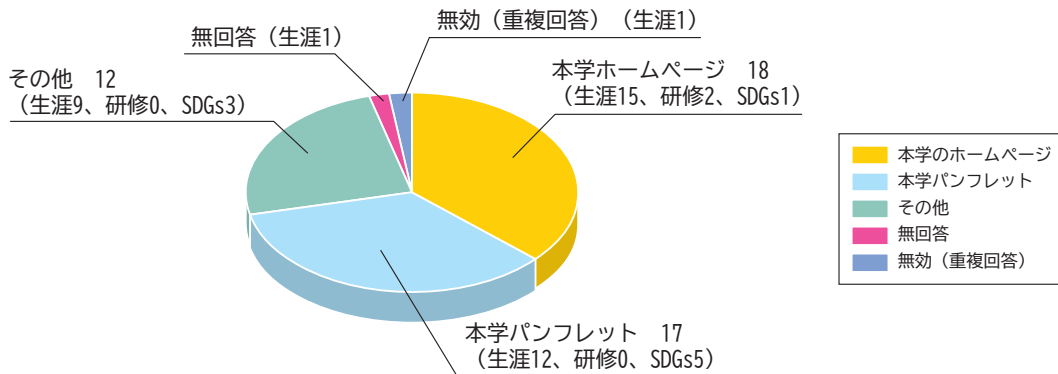
■2021年度 講師派遣事業 アンケート結果

※回答数 49 (うち企業2、SDGs 5)

※ Q2 複数回答あり

【講師派遣事業を知った媒体】

	本学ホームページ	本学パンフレット	その他	無回答	無効(重複回答)
生涯学習支援	15	12	9	1	1
研修支援	2	0	0	0	0
SDGs	1	5	3	0	0
計	18	17	12	1	1

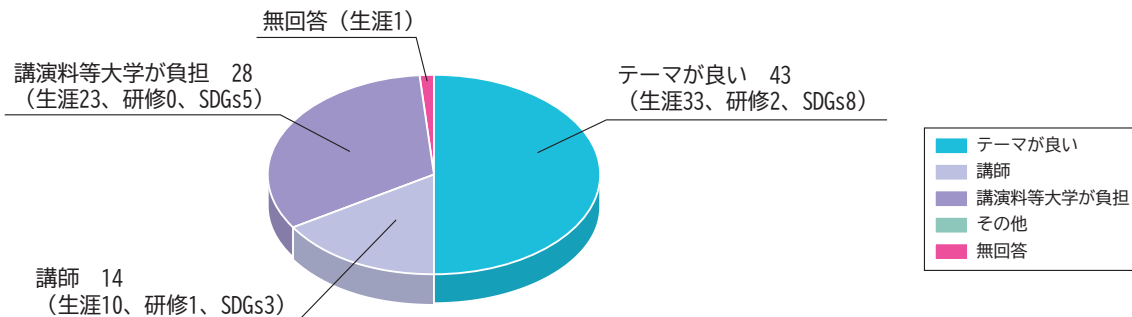


【その他の内容】

- 継続利用 5 前年度からの引継ぎ、過去数回利用 最初は教育委員会への送付パンフレットによる周知平成30年度まで毎年実施してきたので前任者からの引継ぎ
- 情報提供 6 講師からの紹介、本校進路指導部宛の講師派遣事業紹介用紙
講座参加者より近隣の大学の先生を講師にお迎えしたらとのアンケートより貴学のホームページを閲覧

【講師派遣事業への申込の理由】

	テーマが良い	講師	講演料等大学が負担	その他	無回答
生涯学習支援	33	10	23	0	1
研修支援	2	1	0	0	0
SDGs	8	3	5	0	0
計	43	14	28	0	1





①愛知県 歴史講座

主催団体：Home & nico ホール江南市民文化会館

派遣講師：谷釜 尋徳（法学部 教授）

2021年9月23日（木） 13:00～14:30（90分） 参加者44名

◆テーマ 江戸庶民の旅と歩行

◆当日の状況

聴講者数は約50名で、大きなスクリーンにスライドを投影しながら講義を行った。内容は、「1. 旅人はどのくらいの距離を歩いたのか？」「2. 歩き方がいまとは違ったのか？」「3. 知られざる街道の交通マナーとは？」「4. どこで草鞋を買ったのか？」というトピックを設定し、途中、10分間の休憩を挟んだ。

従来の講演では、江戸期の古文書の原本を持参し、聴講者に直接触れてもらう機会を設けていたが、今回は感染対策としてその形式は控えざるをえなかったことが少々残念である。講演後には聴講者と質疑応答をする時間もあり、その中で地域に伝わる旅行史のエピソードなど、新たな知見を得ることもできた。感染対策という制限はあったにせよ、時間外での聴講者との触れ合いは、対面実施ならでの成果である。

◆受講者のご意見・感想等

- ・事前の打ち合わせもしっかりとっていただけて、当日も充実した講義を開講できました。
- ・わかりやすい講義でした。また機会があったら参加したいと思います。
- ・もう少し長い時間受講したかった。
- ・次回もワクワクと楽しく参加したいです。
- ・話が分かりやすく楽しく聞くことができました。次回も楽しみです。
- ・本当に面白いお話でした。もっといろいろ聞きたいです。
- ・オンラインでなくてよかった。

◆当日の様子





②神奈川県

PTA 連絡協議会研修会

主催団体：横浜市立高等学校 PTA 連絡協議会

派遣講師：青木 辰司（名誉教授）

2021年11月12日（金） 15:30～16:30（60分） 参加者60名

◆テーマ 環境社会学—その魅力と課題—

◆当日の状況

参加者：学校等の教職員、保護者

題目は、「環境社会学—その魅力と課題」。内容としては、まずは環境社会学誕生の歴史的背景と環境問題。次に日本の環境問題の時代的推移の特徴、世界の環境問題の事例としてのイギリスの産業革命後の環境問題、さらに戦後日本の環境問題の特質と「水俣病」の環境問題としての特異性について話し、特定企業が原因となった環境問題の課題について、具体的な事例をもとに論究した。

そして現代における環境問題の特徴は、グローバルなレベルで環境問題が発生していることにあり、その起源が、1980年代の「オゾンホール」の発見と、二酸化炭素排出による地球温暖化の関心の科学的発見があった。

ここに環境社会学の現代的課題があり、「善なる」市民が何気なく使用する消費財（エアコン、自動車、ゴミ袋等）が、結果的に地球全体の温暖化や、オゾンホールの拡大につながり、その帰結としての皮膚がんの増加や、異常気象による山火事や、豪雨災害等を引き起こす結果となっていることを説明した。

また、地球全体が都市化・工業化という「現代化」を遂げていて、都市生活者の倫理観が、環境問題の発生抑制と解決について、鍵を握っていることを結論的に論究した。

最後に、新たな都市農村関係の構築が、実は環境問題解決に大きな意義を有し、グリーン・ツーリズムがその一つの糸口であることを伝えたかったが、時間の制約で触れることができなかった。

全体的には、聴衆の反応は良く、質問はなかったものの、会長の講評では、講義の趣旨が伝わっていたことを実感した。

◆受講者のご意見・感想等

- ・環境社会学は、生きている限り考え続けなければならない課題だと、講義を拝聴し痛感いたしました。
- ・子どもたちもライフスタイルを考えるきっかけとして、先生のお話を聞くべきだと感じました。
- ・環境問題は身近な課題ですが、十分な実感が持てずにいるものも少なくありません。早い段階で子どもたちも興味を抱き、現代を生きる物としての自覚を養ってほしいものです。
- ・時間的制限があり、最後までお話を伺えず残念でしたが、推薦していただいた書籍を通じて学び続けてまいりたいと思っています。

◆当日の様子





③埼玉県

総合的な探求の時間

主催団体：埼玉県立川口青陵高等学校

派遣講師：高橋 珠実（食環境科学部 准教授）

2021年7月1日（木） 13:25 ~ 14:15（50分） 参加者278名

◆テーマ 運動の面白さって誰のもの？

◆当日の状況

受講者：川口青陵高校 1年生

◆受講者のご意見・感想等

- ・パンフレットの講演テーマを見るだけで、様々なことがSDGsにつながるということがわかりました。
- ・高校教員が話すのは難しいことを専門家として話していただけて良かったです。
- ・貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。
- ・環境や貧困などの事のイメージが強かったが、スポーツも関係していることが分かった。
- ・身近なことから始められることを知った。
- ・「だれも置き去りにしない」という言葉が心に残っている。
- ・車いすテニスを体験してみたい。
- ・マラソンのチームに、男女、障害のあるなしなどいろいろな人がいるのが良いと思った。

◆当日の様子



社会貢献部門

- 社会貢献情報収集
- 地域活性化活動支援事業
- 社会貢献活動助成・表彰制度

社会貢献部門

社会貢献情報収集の概要

2013（平成25）年4月1日、生涯学習センターに代わって、生涯学習部門と社会貢献部門の2つの部門から構成される「社会貢献センター」が設置された。社会貢献部門では、本センターの目的である「生涯学習に対する社会的要請に基づき、生涯教育に関する諸事業を積極的に推進すること並びに本学で実施する社会貢献活動に関する支援策の策定、情報収集、発信及び提供することを通じて、本学の社会貢献活動の発展に寄与するとともに、社会に開かれた大学としての本学の発展に資すること」を達成するために、学内で実施されている社会貢献事業に関する情報収集活動を行った。本活動は、2013年度から9年目の活動となる。

1. 社会貢献情報収集

(1) 経緯

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 2月中旬～ | 調査開始（学部長会議及び事務局部長会を經由して個別に依頼） |
| 3月中旬～下旬 | 調査票（教員個人分）及び直接入力（事務局経由分）にて回収・集約 |

(2) 情報の収集

2021年度の調査では、新規分を含め全学への協力依頼と併せて、前年度調査に回答のあった事業に対しては、引き続き、前年度の内容に加筆・修正を加えるよう依頼した。

なお、調査結果は、本センターのホームページに掲載しているが、ホームページの充実強化を図るため、①「社会貢献事業実施状況調査」結果一覧で特色あるもの、②学内のホームページに掲載されていた社会貢献に関する活動についても併せて掲載している。

(3) 「社会貢献」の定義

大学の役割としては、第1に高度な専門性に根差した学生の教育があり、第2に教員の研究成果の公表による技術開発や社会的課題解決への寄与がある。また、これらを基盤として、第3に地域社会や国際社会等、より広い意味での社会発展への貢献がある。本センターでは、調査にあたって「社会貢献」の定義を明確にする必要があったことから、例年と同様に『教職員等の持つ専門的な知識や技術を、広く社会の人々に提供する講座・講師派遣等の活動、特定の地域(国内外)や団体・機関と連携した地域づくりや地域課題解決への貢献』を調査対象とした。

なお、多様な水準での政策策定への貢献となる各種審議会や委員会への参加等も社会貢献活動に含まれるが、人事課及び各学部教務課をはじめ研究推進課等の教務関係所管部署がその実態を把握していることと、「東洋大学研究者データベース」の掲載にて一般公開している（もしくは公開可能）と考えられたことから、2021年度調査においても調査対象とはしないこととした。

参考：大学の「社会貢献」についての文部科学省の見解

大学は教育と研究を本来的な使命としているが、同時に、大学に期待される役割も変化しつつあり、現在においては、大学の社会貢献(地域社会・経済社会・国際社会等、広い意味での社会全体の発展への寄与)の重要性が強調されるようになってきている。当然のことながら、教育や研究それ自体が長期的観点からの社会貢献であるが、近年では、国際協力、公開講座や産学官連携等を通じた、より直接的な貢献も求められるようになっており、こうした社会貢献の役割を、言わば大学の「第三の使命」としてとらえていくべき時代となっているものと考えられる。

(出典：平成17年中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」)

(4) 調査結果及び公表(参照：2020年度データ)

教員が実施している社会貢献活動が83事業(従来の地域貢献・振興、社会福祉、環境共生、産官学民連携、高大連携、生涯学習、キャリア教育、哲学教育、国際協力等の区分から代表的なSDGs17目標の区分へ変更する)、事務局や研究所・センターが中心になって実施している社会貢献活動が37事業、合計114事業であった。いずれも、調査回答提出者・調査対象該当者からの延べ件数で、さらにコロナ禍等による計画中止等のものは含まれていない。

なお、結果は、本学の社会貢献活動のより一層の推進に資するため、「社会貢献活動一覧」とともに、各分野の典型的な事例をピックアップし、本センターのホームページにて紹介している。

【学部】

文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	理工	総合情報	生命科	食環境科	ライフデザイン	情報連携
15	0	4	6	8	1	19	6	5	2	2	9	0

【その他】

大学院	研究所・センター	事務局(※)	合計
0	24	13	114

※事務局には学科・キャンパス単位の件数を含む。

注：提出者・調査該当のみ

2021年度調査 社会貢献活動一覧

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
1	リハビリ講習会	NPO 神経現象学 リハビリテーシ ョン開発機構	③すべての人に 健康と福祉を	理学療法士・ 一般市民	障害者治療の事例報告	河本 英夫	哲学科
2	記念館アカデミー	賀茂真淵記念館	④質の高い教育 をみんなに	一般市民	静岡県浜松市の賀茂真淵記念館が行 っている市民講座である記念館アカ デミーで「遠江の偉人の知られざる足 跡―国学者石川依平を中心に―」と 題して全3回の講座を行った。	高松 亮太	日本文学文化 学科
3	文京区秋の文化祭 書道展 審査	文京区アカデ ミー推進課	該当無し	文京区書道展 出品者	文京区書道展に出品される作品のう ち、漢字作品約130点の審査を行い、 受賞作品の選出を行った。 実施日：10月6日 13:00～15:00	川内 佑毅	日本文学文化 学科
4	瑤藍印社研究会	瑤藍印社	④質の高い教育 をみんなに	瑤藍印社会員	篆刻の研究団体である瑤藍印社の研 究会において「側款の文辞」と題した 講義を行った。		
5	Sherpa (Senior High English Reform Project ALC)	株式会社アルク	④質の高い教育 をみんなに	高校または中高 一貫校の英語教 員、英語教員志 望者	2010年(H22)3月に、立ち上げたプロ ジェクトで、高校英語授業改善に貢 献することを目的とした活動。授業 モデルや方法を、セミナー・書籍・ 教材を通じて提案。そこでの経験や 現職教員とのネットワークを、本学 で担当する教職科目を通して履修学 生に還元。		
6	(青森県)進学力を 高める高校支援事 業	青森県立三本木 高等学校	④質の高い教育 をみんなに	三本木高校・附 属中学校英語科 教員、周辺地区 の中高英語教員	生徒の発信力強化のための英語指導 力向上を目的に当該校で取り組んで いる英語授業指導改善研究会(年3回) に助言者として参加。	大田 悦子	英米文学科
7	ジャパンライムオ ンデマンドサービ ス	ジャパンライム 株式会社	④質の高い教育 をみんなに	英語教員、英語 教員志望者	(株)ジャパンライムが提供する有 料会員制動画サイト用の動画として、 新しい高校英語授業モデル(青森県立 三本木高校の「三本木メソッド」)の紹 介ビデオを作成。その中で解説者を 担当。		
8	調布市東部公民館 「歴史講座 史料 で読み解くペリー 来航から幕末ま で」	東京都調布市	該当無し	一般市民	2021年10月23日(土)に「歴史講座 史 料で読み解くペリー来航から幕末ま で」の講座を調布市東部公民館で行っ た。		
9	神奈川県寒川町 町民センター講座 「江戸無血開城と 江戸城大奥、その 時、寒川は？」	神奈川県寒川町	⑩住み続けられ るまちづくりを	一般市民	2021年5月23日(日)と6月13日(日)の2 日、「江戸無血開城と江戸城大奥、そ の時、寒川は？」と題して神奈川県寒 川町町民センターで講演した。	岩下 哲典	史学科
10	岡山県立津山高等 学校「ソーシャル サイエンスⅠ」講 座「ペリー来航と 日本社会の変容― 仙台藩儒大槻磐溪 編『金海奇観』と津 山藩」	岡山県立津山高 等学校	該当無し	高校生・高校教 員	2021年11月27日(土)、岡山県立津山 高等学校「ソーシャルサイエンスⅠ」 講座で「ペリー来航と日本社会の変容 ―仙台藩儒大槻磐溪編『金海奇観』と 津山藩」を講演した。		
11	病弱教育部門授業 研究会	東京都立北特別 支援学校	④質の高い教育 をみんなに	特別支援学校教 員	特別支援学校教員(病弱教育担当)の 授業力向上をめざした校内研修。	谷口 明子	教育学科
12	全国公開授業研究 会	東京都立北特別 支援学校	④質の高い教育 をみんなに	特別支援学校教 員	特別支援学校教員(病弱教育担当)の 授業力向上をめざした全国公開授業 研究会。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
13	小児・AYA がん経験者のための就活講座 ～就学のヒント～	Novaritis ファーマ株式会社	③すべての人に健康と福祉を	小児・AYA がん経験者および保護者	小児・AYA がん経験者の社会的自立のヒントを集積した動画公開。	谷口 明子	教育学科
14	日本教育新聞記事	日本教育新聞	④質の高い教育をみんなに	全国教職員等教育関係者	「オンラインだけでは解決しない長期入院中の高校生の学び」に関する記事。		
15	特別授業『美星町の星空を守ろう、誇ろう！～光害のはなし～』	岡山県井原市	⑪住み続けられるまちづくりを	中学生	井原市立美星中学校の全校生徒約70名を対象とした授業を実施。		
16	勉強会『身近な環境問題「光害」を考えよう』	株式会社かまいし DMC	⑪住み続けられるまちづくりを	社員、一般市民	光害に関する社内勉強会の講師を務めた。環境問題に関心がある一般市民も参加した。		
17	第33回星空の街・あおぞらの街全国大会 in 井原市における講演「星空保護区認定制度と自然環境保護・観光振興への貢献」	環境省、岡山県、「星空の街・あおぞらの街」全国協議会	⑪住み続けられるまちづくりを	協議会加盟の自治体関係者	講演題目「星空保護区認定制度と自然環境保護・観光振興への貢献」。主な出席者は高田宮妃殿下、環境大臣、岡山県副知事、岡山県議会議長、井原市長など。	越智 信彰	会計ファイナンス学科
18	TBS ラジオ「アンタノカレッジ」出演	TBS ラジオ	⑪住み続けられるまちづくりを	一般市民	7月7日生放送「七夕に、光害問題を考える！光害がもたらす影響とは!？」の回に講師として出演し、光害について解説した。		
19	令和3年度新潟市行政文書の管理責任者研修	新潟市	⑯平和と公正をすべての人に	新潟市職員	「行政文書の管理責任者としての心構え～役所の文書？ 住民の文書?～」と題する講演を行った。		
20	安曇野市「適正な公文書管理に関する職員研修会」	安曇野市	⑯平和と公正をすべての人に	安曇野市職員	「公文書管理の考え方 ～『面倒くさい』からの脱却」と題する講演を行った。		
21	令和3年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館	⑯平和と公正をすべての人に	アーカイブズ・カレッジ受講生	「アーカイブズ法制論」と題する講義を行った。	早川 和宏	法律学科
22	川口市情報公開・個人情報保護研修会	川口市	⑯平和と公正をすべての人に	川口市職員	「個人情報保護制度をめぐる最近の動向」と題する講演を行った。		
23	三豊市文書管理研修	三豊市	⑯平和と公正をすべての人に	三豊市職員	「三豊市と公文書等の管理～市民共有の知的財産を生かすために～」と題する講演を行った。		
24	模擬裁判	模擬裁判実行委員会	該当無し	学生および一般市民	学園祭(白山祭)の実施期間において、学生による模擬裁判(法廷劇)を実施している。本模擬裁判では法学部の現役の学生が主体となり実際にあった事件をベースに法廷劇のシナリオなどを作成し、劇当日に来場者に対し披露している。本模擬裁判は裁判員裁判の形式をとり、法学部の刑事法教員がシナリオ作成などにおいて適宜指導している。	武藤 眞朗 松田 正照 小坂 亮	法律学科 企業法学科
25	新型コロナウイルス影響下におけるNPO 支援センター調査	CIS (NPO 支援組織社会連帯)	③すべての人に健康と福祉を	NPO 支援センター	全国461のNPO 支援センター / 市民活動センターを対象とする調査。	須田木綿子	社会学科
26	民間助成プログラムの評価	市民社会創造ファンド	③すべての人に健康と福祉を	市民社会創造ファンドおよび助成金寄付企業	東日本大震災被災地支援に関わる民間助成プログラムの10年間の総括と評価。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
27	子どもが必要とする図書への寄付	特定非営利活動法人 こども福祉研究所(NPO 法人)	①住み続けられるまちづくりを	里親子	家庭的な養育を地域で提供する里親への支援活動を行う。千葉県の上野市、ファミリーホームなどの里親子とのディキャンプの企画実施を行っている。東洋大学学生とは11月3日に千葉県船橋市青少年キャンプ場で実施した。		
28	東日本大震災子ども支援活動	一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター	①住み続けられるまちづくりを	東日本大震災で被災した子ども・若者	東日本大震災で被災した子ども・若者を2031年までの20年間応援し続けようという活動のために、設置された一般社団法人被災地での子ども・若者自身の居場所、交流、活動、子ども支援者の研修会、居場所事業、研究などを仙台レインボーハウスを拠点に展開している。2月28日には、宮城県議会で共同してシンポジウムを開催した。	森田 明美	社会福祉学科
29	子どもの権利条約の国内普及活動	子どもの人権連(市民団体)	③すべての人に健康と福祉を	市民社会	国連子どもの権利条約の日本での批准と、批准後の普及活動をすすめる団体。具体的には、この団体の代表委員として活動する。国連での日本の子どもの権利条約の普及状況に関する審査などに NGO 代表として報告書作成や審査に関わる。		
30	東日本大震災子ども支援活動	東日本大震災子ども支援ネットワーク	③すべての人に健康と福祉を	市民社会	東日本大震災で被災した子どもや子育て家庭、被災地域での子ども施策について、支援者のネットワーク、意見交換などをふまえて、継続的な支援活動と啓発を進める活動。		
31	わたカフェ(女の子のための安全な居場所)	公益財団法人プランインターナショナルジャパン	⑤ジェンダー平等を実現しよう	15歳～24歳の女の子	プランインターナショナルジャパンが運営する女の子のための居場所である「わたカフェ」に関するアドバイズ業務などを提供。	岩田千亜紀	社会福祉学科
32	女性障害者の性被害について	Abema TV	③すべての人に健康と福祉を	Abema TV 視聴者	女性障害者の性被害の要因、被害の潜在化、刑法の厳罰化、対策について解説を行う。		
33	荒川知水資料館を利用した広報展開の提案	国際地域学科荒巻ゼミナール	①住み続けられるまちづくりを	流域の一般市民や関係者	国土交通省荒川下流河川事務所および日本生態系協会との連携のもと、流域市民や関係者に荒川の防災や環境についてより意識をしていただくためのプログラムを検討し、上記事務所に提案した。	荒巻 俊也	国際地域学科
34	オリパラ・ホストタウン自治体における受け入れマニュアル作成	内閣官房オリンピックパラリンピック推進本部	③すべての人に健康と福祉を	自治体(事前合宿受入自治体)	2月9日に選手を安全に輸送するためのガイドライン作成のオンライン説明会を実施、5月10日から9月30日までアドバイザー活動を行う。		
35	新型コロナウイルス感染症対策部会	(一社)日本旅行業協会	⑧働きがいも経済成長も	旅行業界	2021年3月から毎月定例会議を行い感染対策ガイドライン、ワクチン・検査パッケージ等の策定と実施を行う。アドバイザーを務め、成果を論文として発表。		
36	八東ふるさとの森応援プロジェクト第3回ワーキング	八東ふるさとの森応援プロジェクト	①住み続けられるまちづくりを	一般市民(鳥取県民)自治体、観光関係者、教育関係者	6月27日ブナの原生林に囲まれた鳥取県八頭町のキャンプ場「八東ふるさとの森」で自然と共生し地域と連携した観光について考えるシンポジウムで講演。	越智 良典	国際観光学科
37	第25回日本渡航医学会学術集会共催セミナー	日本渡航医学会	⑧働きがいも経済成長も	日本渡航医学会会員(医師、看護師、役人)	8月21日サノフィ社講演の共催セミナー講演。テーマは新型コロナウイルス感染症対策にワクチンやPCR検査を活用して、国際交流を再開させるための戦略。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
38	JATA/TQJ(ツアオペレータ品質認証制度)インバウンドセミナー	(一社)日本旅行業協会	⑧働きがいも経済成長も	観光事業者	9月13日日本旅行業協会とツアオペレータ品質認証制度共催のインバウンドセミナーで「With コロナの課題とリスクマネージメント」を講演。	越智 良典	国際観光学科
39	旅営塾	東京海上日動火災保険株式会社	③すべての人に健康と福祉を	社員	11月16日旅行傷害保険の役割と課題について、特に新型コロナウイルス感染症のリスクをどう克服するかをテーマに講演。		
40	日本旅行業協会研修試験委員会セミナー	(一社)日本旅行業協会	④質の高い教育をみんなに	日本旅行業協会会員	11月2日日本旅行業協会研修試験委員会主催の講演会。テーマは出口戦略と旅行業の未来。		
41	観光経営人材育成講座	東京都・跡見学園女子大学	④質の高い教育をみんなに	観光事業者・行政	東京都と跡見学園女子大による観光経営人材育成事業で10日間の観光経営人材育成講座。第一講座の講演とパネリストを務める。		
42	TOKYO MX TV トウキョウもっと ² 元気計画研究所 第65回	東京都議会	①住み続けられるまちづくりを	一般市民	都議会提供の1時間TV番組。毎回異なる東京の課題を取り上げ、都議会議員5名とゲスト研究員が解決策を探る。第65回は観光の魅力の再発見。		
43	第2回 ツーリズム振興委員会	大阪商工会議所	⑧働きがいも経済成長も	大阪商工会議所ツーリズム振興委員会会員	委員会において「ツーリズム産業の未来～コロナ禍からの出口戦略」について講演。		
44	福岡地区観光協議会向けスキルアップセミナー	福岡市経済観光文化局クルーズ課	①住み続けられるまちづくりを	福岡市及び町村観光協会	福岡地区における「食」の魅力を活かした観光推進業務の一環として福岡地区観光協議会に所属する部局の職員向けにオンライン講座の講演。		
45	JATA 経営フォーラム	(一社)日本旅行業協会	⑧働きがいも経済成長も	日本旅行業協会会員	分科会G「ワクチンによる国内外の交流の復活」川崎医科大学小児科学中野真司教授(厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会会長代理)と対談。		
46	年次総会講演会	(一社)日本添乗サービス協会	⑧働きがいも経済成長も	会員企業経営幹部と添乗員	総会において、旅行業の現状と今後について会員向けに講演する。		
47	オープンユニバーシティ	東京都立大学	④質の高い教育をみんなに	一般市民	東京地理入門の講座の一部として、東京都の観光の特性について地理的な視点から解説する講義を行った。		
48	東洋大学観光短編映画祭	大学院国際観光学専攻科	⑫つくる責任つかう責任	学生、国内外一般市民	「持続可能な観光」をテーマに映像作品を国内外から公募し、新しい持続可能な観光を提案する映画、新しい映像スタイルによって観光の新規開拓を実現しうる映画に賞を与え、これらを含む入選作品を上映。映画祭の運営は院生スタッフ中心に行った。	増子 美穂	国際観光学科
49	講義セミナー	京都大学経営大学院	①住み続けられるまちづくりを	京都大学経営大学院学生	90年代後半から各国政府観光局(DMO)においてデスティネーションをブランド化する動きが高まっている。英米DMOの実務経験者として講義を行った。	宮崎 裕二	国際観光学科
50	京都大学・DMO推進機構共済のデスティネーションエッセンスセミナー	京都大学経営大学院	①住み続けられるまちづくりを	京都大学経営大学院学生及び日本全国DMOの社員	90年代後半から海外の政府観光局(DMO)においてデスティネーションをブランド化する動きが高まっている。英米DMOの実務経験者として講義を行った。		
51	政府観光局(DMO)で働くということ	京都大学経営大学院	⑩人や国の不平等をなくそう	京都大学経営大学院学生及び日本全国DMOの社員	日本と異なり、海外の政府観光局(DMO)の多くは、専門職人材を積極的に採用しているといわれる。英米DMOの実務経験者として講義を行った。		
52	株式会社リクルート社員向け研修	株式会社リクルート	①住み続けられるまちづくりを	株式会社リクルートの社員、研究員	90年代後半から海外の政府観光局(DMO)においてデスティネーションをブランド化する動きが高まっている。英米DMOの実務経験者として講義を行った。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
53	川越まつり山車ロボットコンテスト	機械工学科 (共催：日本機械学会関東支部埼玉ブロック)	④質の高い教育をみんなに	高校生	2021年11月13日に第16回目となる「山車ロボットコンテスト」を開催しました。今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、東洋大学と参加高校をWebex Meetingsで接続し、オンラインでの開催となりました。各参加高校に同じコートを作成してもらい、参加高校生は自分の所属高校の会場で競技にいどみました。コンテスト当日は、5つの高校から合計26名の高校生と11台のロボットが出場し、技術性と芸術性を競いました。	松元 明弘 (代表) 山川 聡子 横田 祥 山田 和明	機械工学科
54	小学生向け授業の企画運営	NPO「子ども大学かわごえ」	④質の高い教育をみんなに	川越市・鶴ヶ島市・坂戸市の小学生高学年	大学の教授や研究者、専門家を講師として、子ども達のなぜと言う疑問に答えて大きな知的刺激を与え知的成長を促す。2021年度は9月と11月にそれぞれ2テーマのオンライン授業を開催。	佐野 勇司	電気電子情報工学科
55	アトピーフリーコム	アトピーフリーコム	③すべての人に健康と福祉を	アトピー患者と医師	アトピー患者の相互支援を行っている。季刊誌発行、講演会、フォーラムなどを通じ、患者がより社会で過ごしやすい状況を作れるよう、サポートを行っている。	安藤 直子	応用化学科
56	高木仁三郎市民科学基金	高木仁三郎市民科学基金	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	一般市民	「市民科学」を助成する市民ファンドとして活動している。		
57	土祭ワークショップ	益子町	⑩住み続けられるまちづくりを	一般市民	益子町で開催される「土祭」のプログラムの一環として、町の風景の魅力を発見するワークショップを実施した。(2021年10月23日)	伊藤 暁	建築学科
58	講演会	名城大学	④質の高い教育をみんなに	名城大学大学生	名城大学建築学科の学生に対して、設計手法をテーマにした講演を行った。(2021年10月31日)		
59	東村山市いのち支える自殺対策推進協議会 ゲートキーパー	東村山市健康増進課	③すべての人に健康と福祉を	東村山市の市民	地域ケア会議の開催を通じて、関係者同士の連携を深めることにより、地域包括ケアと自殺対策を連動させていく上での基盤を構築する。地域包括支援センターにおける種々の活動を通じて、地域の問題を察知し支援先へつなげ、地域包括ケアと自殺対策との連動を進める。こころの健康に関する公開講座を開催等。	加藤 千恵子	総合情報学科
60	生きものを育む田んぼプロジェクト	NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ、高梨農園	⑮陸の豊かさを守ろう	市民、地元農家	2014年度から任意団体、2017年度からNPO 法人として活動しているかわごえ里山イニシアチブの運営に協力している。2020年度に引き続き、2021年度もコロナ禍で活動の制約もあったが、現場での調査・農作業への協力、オンラインでの会議や懇談会などの協力などを行った。	小瀬 博之	総合情報学科
61	川越キャンパス「こもれびの森」における里山林保全活動	川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊	⑮陸の豊かさを守ろう	市民、大学教職員、学生	2021年度も前年度に続きコロナ禍により活動をほぼ休止したが、12月に1回里山林保全活動を行った。また、オンラインミーティングを新たに実施して、活動者とのコミュニケーションを図った。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
62	アースデイ川越 in 昭和の街2021のオンライン開催	かわごえ環境ネット、アースデイ・イン・川越実行委員会	①住み続けられるまちづくりを	市民	SDGsの周知啓発を目的とした、23回目の「アースデイ川越」は、2020年度に続きコロナ禍によりオンライン主体のイベントとなった。今回は実行委員長として企画運営を行い、オンラインライブ配信を中心としたイベントを実施した。オンラインワークショップを開催したり、各団体が作成したオンデマンド動画を紹介したりして視聴者にアピールするとともに、収録した動画により長期間にわたり周知啓発ができるようにした。	小瀬 博之	総合情報学科
63	TOEFL スキルアップセミナー	ETS Japan 合同会社	④質の高い教育をみんなに	日本女子大学の学部・大学院生	TOEFL テストを対象に、4技能を3日間に分けてセミナーを行った。初回セミナーではリスニングにおいて理解に影響を与える要因やメカニズムを紹介。第2回ではリーディング、第3回ではスピーキング・ライティングのメカニズムについて取り上げた。TOEFL テスト開発機関であるアメリカETSでの研修を通じて修得した専門知識、また、応用言語学の近年の研究について紹介することで参加者に還元した。	金子 雅也	総合情報学科
64	NHK Eテレ	クリエイティブネクサス	④質の高い教育をみんなに	NHK 視聴者	番組制作協力 中高生が楽しく英語を学習するためのヒントを提供する番組で、英単語などの効果的暗記法について、なぜ語呂合わせや連想などが効果的であるのかについて専門である神経科学の知識から解説した。解説内容の抜粋は番組内でも紹介された。	児島 伸彦	生命科学科
65	Maoris 発達促進サークル	一般社団法人 Maoris	④質の高い教育をみんなに	Maoris 発達促進サークルメンバー	発達障害児の保護者のサークル会報誌に脳神経科学に関するコラム執筆(会員限定の Web ページに連載)。		
66	認知症介護実践リーダー研修	社会福祉法人群馬県社会福祉事業団	③すべての人に健康と福祉を	介護福祉士ほか	主に老人保健施設ではたらく介護福祉士を対象に、認知症の病態の講義及び、それに基づく適切なケアの方法について指導した。	高鶴 裕介	健康栄養学科
67	認知症対応型サービス事業開設者研修	社会福祉法人群馬県社会福祉事業団	③すべての人に健康と福祉を	介護福祉施設管理者ほか	介護福祉施設を運営するスタッフに対し、認知症の病態を講義し、それに基づく適切なケアを提供するための施設としてのあり方について指導した。		
68	児童福祉司任用前講習会・指定講習会	特別区職員研修所	③すべての人に健康と福祉を	特別区児童相談所児童福祉司他	東京都特別区職員研修所が主催する「児童福祉司任用前講習会・指定講習会」において「ソーシャルワークの基本」「子ども虐待対応の基本～事例検討 II」の講義を担当した。		
69	児童相談所児童福祉司任用後研修	埼玉県福祉部子ども安全課	③すべての人に健康と福祉を	埼玉県児童相談所児童福祉司他	埼玉県福祉部子ども安全課が主催する「児童相談所児童福祉司任用後研修」において「社会的養護における自立支援」の講義を担当した。	鈴木 崇之	生活支援学科
70	川口市保育所等職員研修	川口市役所保育入所課	③すべての人に健康と福祉を	川口市下の保育所保育士他	川口市役所保育入所課が主催する「川口市保育所等職員研修」において、「保育所での児童虐待の防止について」という演題の講演を行った。		
71	所沢市要保護児童対策地域協議会事例検討会	所沢市役所子ども支援課	③すべての人に健康と福祉を	所沢市要保護児童対策地域協議会構成メンバー	所沢市役所子ども支援課が主催する「所沢市要保護児童対策地域協議会事例検討会」において、事例検討会のコーディネーター、司会進行、助言者を担当した。		

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	担当者氏名	所属学科等
72	日本保育協会神奈川県支部青年部主催講演会	日本保育協会神奈川県支部	③すべての人に健康と福祉を	日本保育協会神奈川県支部青年部メンバーおよび加盟保育所の保育士等	日本保育協会神奈川県支部青年部が主催する講演会において、「保育所での児童虐待の防止について」という演題の講演を行った。	鈴木 崇之	生活支援学科
73	2021年度韓日共同高等教育留学生交流事業	韓国カトリックサンジ大学	③すべての人に健康と福祉を	カトリックサンジ大学の学生および東洋大学の学生	サンジ大学から13名、東洋大学から20名の学生が参加した。事後アンケートでは日韓双方とも約100%の満足度であった。	古川 和稔	生活支援学科
74	日韓の相互理解に向けた講演会	韓国カトリックサンジ大学	③すべての人に健康と福祉を	カトリックサンジ大学の学生	①6月4日に、Zoomを用いて、90分間の講義を行った。タイトルは「About me and About Toyo University」。 ②12月4日に、Zoomを用いて、90分間の講義を行った。タイトルは「日本文化について」。 ③2022年1月12日に、Zoomを用いて、日韓双方の学生によるブレイクアウトセッションを行った。		
75	要介護高齢者の自立支援に関する研修会	株式会社愛誠会	③すべての人に健康と福祉を	福祉施設経営者と職員	4月～3月まで、Zoomを用いて、首都圏エリア対象に12回、静岡県エリアを対象に12回、合計24回実施。		
76	第790回浅草寺仏教文化講座	浅草寺・明治安田生命	④質の高い教育をみんなに	一般市民	講演「アマピエの大出世 - あやかしは神々につながっている」	菊地 章太	健康スポーツ学科

〈事務局等〉

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
1	東洋大学白山地域振興懇話会「白山哲理塾」の事務	白山地域振興懇話会（本学及び地域団体等との協働）	④質の高い教育	社会人、経営者、商店主、学生、児童等	総務課は、東洋大学白山地域振興懇話会事務局となっており、白山地域振興懇話会と協働し、大学と地域社会との連携及び地域社会への貢献の一環として実施。企画立案者(近隣住民等)は、事務局に企画書の提出を行い、学内外で活動を実施。実施場所が本学「地域交流サロン」であれば、無料。	総務課
2	東洋大学現代学生百人一首	広報課	該当無し	国内外の小中高生、大学生、大学院生など	短歌文学の教育研究活動を通じて日本の教育・文化の発展に寄与することを目的に、毎年国内外の学生から「現代学生のもの見方・生活感覚」を詠んだ短歌を募集。応募作品から100首、小学生の部10首を審査・発表。	広報課
3	Toyo Achieve English 出張英会話講師派遣（文京区施設）	TUGS / (1) 文京区福祉施設、 (2) 生涯学習センター、 (3) リアン文京障がい者支援施設	④質の高い教育	文京区民	(1) 文京福祉センター江戸川橋 初級、中級の2レベルにて60歳以上の文京区民を対象に3ヶ月ごとに全14回の英会話講座を提供。全日程対面で開講。 (2) 文京アカデミア講座 社会人を主な対象とした中級者向けの英会話。毎週1つのトピックスに関する語彙やフレーズを英語で学び、表現の幅を広げる。2021年度は全てオンラインにて開講。 (3) リアン文京障がい者支援施設 障がい者を対象に初級英会話を提供。1回90分の1回完結型講座。2021年度は全てオンラインにて開講。	国際課

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
4	Toyo Achieve English 各種英会話講座	東洋グローバルサービス株式会社 (TUGS)	④質の高い教育	近隣住民	※ SGU で掲げる「全世代グローバル教育」の一環として実施。 (1) 大人向け英会話講座 海外の生きた英語を学ぶ全10回の英会話講座。春、夏、秋、冬の4期開講。 (2) ジュニア向け英会話講座 主に近隣の小・中・高校生向けに開講する、海外の生きた英語を学ぶ全10回の英会話講座。春、夏、秋、冬の4期開講。 (3) 夏休み英会話講座 全世代向けに夏休みに開講する英会話講座。 (4) 春休み英会話講座 全世代向けに春休みに開講する英会話講座。 (5) 季節に関連した子供向け英語イベント ハロウィンやクリスマスの時期に近隣の子供向けの英語イベントを実施。	
5	Toyo Achieve English 出張英会話講師派遣 (文京区施設)	TUGS / GLOBALVIEWPOINT 講座	④質の高い教育	文京区民	GLOBALVIEWPOINT 講座 社会人を主な対象とした上級者向けの英会話講座。受講生が選択したトピックを基に、それに関連する語彙やフレーズを学び、表現の幅を広げる。2021年度は全てオンラインにて開講。	国際課
6	「留学生応援特別ボックス」へのコンテンツ無償提供	国際課	④質の高い教育	来日できない留学生	文部科学省(幹事校：筑波大学) が所管する Japan Virtual Campus 内に設置された「留学生応援特別ボックス」(※) に、留学生向けの国際交流コンテンツ(ECZ【ライブ型】、国際学生ミーティング【ライブ型】)、日本語学習コンテンツ(STEP UP 講座【ライブ型】等) 大学を知るコンテンツを無償で提供。 (※) 「留学生応援特別ボックス」：コロナ禍によって入国できない留学生が海外で待機する間の学習機会を確保するためのオンライン教育コンテンツをまとめたプラットフォーム。	
7	省インフラ研究会	PPP 研究センター	⑪住み続けられるまち	民間企業	迫り来るインフラの老朽化、高齢化・少子化社会、国・地方の財政難の問題に正面から取り組み、持続可能なインフラ、公共サービスのあり方を追求するために、2013年9月に「省インフラ研究会」を立ち上げた。本研究会では、長期的な日本の都市構造、財政、人々の住まい方を見通し、「物理的なインフラに頼らず、質の高い生活を維持」できる新しい社会のあり方を検討。	
8	「安全保障研究会」(Seeds 支援研究)	現代社会総合研究所	⑯平和と公正	本学教職員・学外有識者、団体	国内外でインド太平洋地域におけるグローバルな講義の安全保障問題が重要視されてきている中で、当該地域の安定と持続的発展のための分析枠組みが必要であるという認識の下、当該「分析枠組みの構築」を目指す事を目的としている。	研究推進課
9	IR チーム・濫澤健太郎教授(経済学部)	現代社会総合研究所	⑧働きがい、経済成長	本学教職員、学生、横浜支庁、和歌山県庁	近年、日本では特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律(IR 推進法) が国会を通過し、複数の地方自治体が、カジノ運営などについて手をあげている。過疎化や高齢化、財政的に厳しい多くの地方自治体は、IR 推進による経済効果や地域創生の役割を期待している。本研究は立候補している自治体を訪問し、意見交換や現地視察を実施。	
10	スポーツの現代的課題(アスリートのセカンドキャリア)	現代社会総合研究所	⑧働きがい、経済成長	本学教職員、学外有識者、関連団体、競技者および関係者	榊原圭子准教授(社会学部) を中心とし、2019年に行った元アスリートのセカンドキャリアに関するインタビュー調査と2020年度に行ったアンケート調査・分析の結果、2021年度1月に行われた講演会や意見交換会の内容を刊行物として発行。	

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
11	ICT 教育研究プロジェクト	現代社会総合研究所	④質の高い教育	本学教職員、 学外有識者、 本学の学生、 富山県魚津市	代表：松原聡教授(経済学部)、メンバー：研究員5名、客員研究員8名、研究協力者3名。本研究では ICT 教育推進の必要性とその効果を検証する研究を進めた。ICT/AI の活用について総合的に明らかにした。今年度はオンラインを活用した海外の大学との交換授業、富山県魚津市や苫小牧市の地方活性化の研究を行い、現地調査なども含め実証研究を進めた。	研究推進課
12	公開の研究発表会、 公開講演会、シンポジウム	東洋学研究所	④質の高い教育	研究所所属の研究者、 学生、 教員、 学外一般の方々、 研究機関の所属は問わない	広く内外の研究者の意見を仰ぎ研究を深化させると同時に、研究成果の公開と社会への還元のため、研究所定例の研究発表例会、共同研究のプロジェクトにおける研究発表会やパネルディスカッション、講演会、シンポジウム等を公開。また、学外の研究者を講演者に招いて、研究所の目的にふさわしいテーマで公開講演会を開催し、東洋学の研究の公開に努める。	
13	発達臨床相談室	人間科学総合研究所	③健康と福祉	近隣住民、 一般相談者	「人間の生涯発達に関する諸問題(カウンセリングを含む)について総合的な研究を行う」ことを目的としている。	
14	公開の研究発表会、 公開講演会、シンポジウム	現代社会総合研究所	④質の高い教育	研究所所属の研究者、 学生、 教員、 学外一般の方々	広く内外の研究者の意見を仰ぎ研究を深化させると同時に、研究成果の公開と社会への還元のため、研究所の研究報告会、講演会、シンポジウム等を公開。また、学外の起業家や研究者を講演者に招いて、研究所の目的にふさわしいテーマで公開講演会を開催。また、これらの成果は HP におけるワーキングペーパー、ショートエッセイなどでも公開。	
15	東洋大学重点研究推進プログラム「開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現に関する研究」	国際共生社会研究センター	①貧困をなくそう	ベトナム中部 Thanh Hoa 省、北部 Ha Giang 省の無電化地域の学校(5学校)生徒73名	柏崎梢・助教(国際学部)。ランドポート株式会社との共同研究。無電化地域へのソーラーランタン支援事業がもたらす住環境改善の実態と、受益者と支援者における循環型インパクトを分析する実践的研究。	
16	地域での支援力を生かす子ども相談支援の開発支援	人間科学総合研究所	③健康と福祉	国内外の発達相談を担う相談員	心身の障害や疾病をもつ子どもや成人、被災地の子どもの相談機関に出向くことが難しい地域での相談支援、また発達相談に携わる教育・福祉施設職員に対する研修を実施。	
17	井上円了記念博物館共催 企画展・動画公開「日本万国博覧会までの軌跡 II ―日本の諸博覧会にいかにか東アジアがどう表象されてきたか―」	アジア文化研究所	④質の高い教育	関係者、 学生、 一般市民	昨年から引き続き、2021年度も井上円了記念博物館共催、東洋大学附属図書館の協力のもと、図書館とアジア文化研究所が所蔵する貴重資料など約40点を展示した企画展を開催。残念ながら今年度もコロナ禍のため、限定しての公開となったため、展示内容の動画を解説交えて作成し東洋大学 YouTube にて公開。更に展示品とその解説を掲載した図録『日本万国博覧会までの軌跡 II ―日本の諸博覧会にいかにか東アジアがどう表象されてきたか―』を2022年3月10日に発行し、広く内外の研究所・図書館へ配布。	

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
18	近現代の東アジアにおける相互の文化表象—日本の中国文化表象と中国の日本文化表象— The Mutual Cultural Understanding in Modern & Contemporary East Asia: The Japanese Images of the Chinese Culture & the Chinese Images of the Japanese Culture	アジア文化研究所	⑩不平等をなくす	関係者、 学生、 一般市民	野間信幸・アジア文化研究所長(文学部教授)の挨拶から始まり、三沢伸生・アジア文化研究所研究員(社会学部教授)の司会でオンラインにて開催。今年度は昨年と違い、万博や博覧会にみられる表象をテーマに展示を行ったことから、シンポジウムのテーマも東アジアの文化表象を大きく取り上げ、国内外6名の先生の発表、更に2名の先生がコメンテーターとして参加。	
19	アジア文化研究所 第1回研究例会 Online Workshop on International Islamic school in Japan 日本におけるイスラーム系インターナショナル・スクール	アジア文化研究所	④質の高い教育	関係者、 学生、 一般市民	アジア文化研究所三沢研究班「近代日本・イスラーム世界関係史」に所属する、子島進 アジア文化研究所研究員(国際学部教授)を中心に、日本のイスラーム系インターナショナル・スクール関係者3名による、日本における主な3校を主体に、どのような教育を行っているか、学生達はどのような生活を行っているか、また問題点等についても報告が行われた。言語は全て英語で行われたが、学生からの参加申し込みも比較的多く、Discussionではかなり活発なやり取りも行われた。	
20	若手研究チーム「子どもの権利条約の具体化に関する研究」	人間科学総合研究所	③健康と福祉	本学教員、 院生、 一般参加者	子どもの権利条約の具体化とその課題を検討する公開研究会を実施し、社会啓発につとめます。子ども虐待対応における保護者との協働関係の構築現場の関心を研究につなげていく。	研究推進課
21	世田谷区との協働研究	福祉社会開発研究センター	③健康と福祉	世田谷区住民 および関係職員	森田明美：社会学部社会福祉学科・福祉社会開発研究センター員。地域で孤立しがちな子どもや家庭支援を社会福祉などの制度を使って支援するため、システムやプログラムの開発を行う共同研究を実施。母子生活支援施設、生活保護受給家庭、保育所利用家庭の親と子の困り感を理解するためのツールの開発、その活用場を広げ、実践を積み重ねて当事者主体の実践を進める。当事者が課題解決に向けて意欲をもって暮らしを進める支援を展開し、自分らしい人生を送ることができる親子支援を実現。	
22	スペシャルオリンピックス日本との協働研究	福祉社会開発研究センター	③健康と福祉	スペシャルオリンピックス日本に参加している障がい当事者及び関係職員	スペシャルオリンピックス日本では、知的障害のある人たちの成長にスポーツが大きなプラスになり、またスポーツを通じて知的障害のある人たちと共に活動することが地域社会にとっても大きなプラスになると考え、性別、年齢、スポーツのレベルを問わず、様々なスポーツの機会をつくりだしている。本センターでは、スペシャルオリンピックス日本のアンバサダー活動に iPad を貸出す等の協力を行っている。アンバサダー活動は、知的障がいのある方の意思表示の機会、また知的障がいのある方々のスポーツを通じたソーシャルインクルージョンを促進するための取り組みとなっており、そうした活動を ICT が支えている。	

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
23	世田谷区との分身ロボット OriHime を介した学校教育支援	福祉社会開発研究センター	③健康と福祉	世田谷区の住民および関係職員	2020年には新型コロナウイルスの感染拡大によって、重症化リスクの高い医療的ケア児が登校できない状況が発生し、遠隔授業の実施という新たな課題と直面することになった。そこで、この度本センターとの共同研究が開始された。医療的ケアが必要な児童に対する分身ロボット OriHime を用いた授業への参加支援を世田谷区と実施。	研究推進課
24	技術相談	工業技術研究所	⑨産業と技術革新	企業、自治体、関係団体	企業からの技術相談に対して、研究所として対応可能な研究者の選定と日程調整を行い、相談に応じている（無料、今年度は主に Web 会議ツールを利用し Web 技術相談として実施）。	
25	工業技術研究所 シンポジウム(講演会)	工業技術研究所	⑨産業と技術革新	企業、自治体、関係団体 一般市民	「第2回水のシンポジウム サステナブルな社会の実現を水環境から考える。-SDGs と水-」を Web 上でのオンデマンド型オンライン方式にて実施。	
26	工業技術研究所 研究発表会・特別講演	工業技術研究所	⑨産業と技術革新	企業、自治体、関係団体、一般市民	企業等との産学連携活動の推進を目的とする研究発表会と特別講演「食と健康・スポーツ～コロナ禍での自粛生活を豊かで楽しいものにするために～」を Web 上でのオンデマンド型オンライン方式にて実施。	
27	デジタルエンジニアリングアカデミー	工業技術研究所、武蔵野銀行	⑨産業と技術革新	企業	工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による、新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。 2021年度から2022年度にかけて「現場データの可視化・定量化」のテーマで、企業を対象とする講演や実習を実施。	
28	中核人材育成 WEB セミナー	産学協同教育センター	⑨産業と技術革新	企業、自治体、関係団体	自治体や企業の人材の将来を担う若手人材の教育・技術向上を目指した、最新の学問・技術の講義を WEB 上で実施。	
29	若手産業人材の育成に係る活動	産学協同教育センター	④質の高い教育	県庁、関係団体	埼玉県との連携により、県内企業が必要とする産業人材を育成するため、高等技術専門校の訓練生に対して高度な知識の獲得と技能を習得を目的とした WEB 講義を実施。	
30	大学等と連携した観光経営人材育成事業	国際観光学部	該当無し	東京都在住・在勤で観光事業に従事している社会人	古屋秀樹・教授(国際観光学部 国際観光学科) 2021年度より3年間、東京都と連携して事業を行う。持続可能な観光のための指標をはじめとして、観光地計画・ウィズコロナの観光街づくり、DMO におけるプライス・ブランディング、温泉による地域活性化、歴史文化資源の活用、経済・観光消費分析、データ活用による観光動態の解析などを考察。	産官学連携推進課
31	大学等と連携した観光振興への理解促進事業	国際観光学部	該当無し	東京都都民(特に、次世代を担う中高大生)	森下晶美：教授(国際観光学部 国際観光学科) 本事業は東京都と東洋大学が連携し、シンポジウムや講座の動画配信などによって、東京都民(特に、次世代を担う中高大生)に東京都が観光振興を行う意義やメリットを周知、理解してもらうことを目的として行うものである。これにより観光振興による地域と産業の健全な発展の一助となる。	
32	東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊	川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊(総合情報学科小瀬教授、川越事務部総務課職員が主体)	⑮陸の豊かさ	一般市民、本学学生・教職員	一般市民、本学学生・教職員が協働で川越キャンパス内の森林保全活動を実施。 また、学外者を対象とした木工教室、学外での環境イベント出展等の活動を実施。	川越事務部 総務課
33	第28回鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会開催のお知らせ	鶴ヶ島市	③健康と福祉	川越市および近隣の住民	小河教授(理工学部)のコーディネートのもと『「バランスボールを使ったエクササイズ」～ストレッチングから筋力トレーニングまで～』をテーマに、第28回鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会を開催。	川越事務部 教学課

No.	事業名称	事業実施主体	代表的 SDGs	主な対象者	事業概略	事務局名
34	群馬県若い世代食育推進協議会実践活動	食環境科学部健康栄養学科	該当無し	地域住民、 板倉東小学校児童	群馬県若い世代食育推進協議会の活動の一環として、食環境科学部健康栄養学科井上広子教授・齋藤美佳助手を中心に、群馬県の食文化や食育について若い世代(学童期～青年期)へ普及する活動に協力。2020年度に引き続き2021年度においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での実施ができなかったため、本協議会メンバーである健康栄養学科の学生8名が児童の郷土料理への興味・関心を持たせるために、群馬の郷土料理や自身の出身地の郷土料理について児童向けの冊子を作成したものを井上教授と齋藤助手が監修し、群馬県内の小学校に配布。	板倉事務課
35	特別講座 アフガニスタンの女性・子どもの痛み：難民としてノルウェーに移住した女性と子どもの実情から	ライフデザイン学 研究科生活支援学 専攻子ども支援学 コース	⑩不平等をなくす	生活支援学専攻 子ども支援学 コース院生(本学 の大学院生・学 部生、外部一般 の方へチラシで 告知)	40年以上戦火の下で生きることを余儀なくされているアフガニスタンの子どもや女性は、祖国で厳しい状況におかれる一方、異国に逃れても苦しい生活を強いられている。自身も投獄や拷問の経験を経て子どもと共にノルウェーに逃れた社会活動家 Farida Ahmadia 氏より、紛争や移住が女性や子どもにもたらす課題について講演を実施。	赤羽台事務課
36	新潟県長岡市立越路小学校 円了学習	井上円了哲学センター	④質の高い教育	小学6年生児童	三浦節夫教授(ライフデザイン学部)、北田建二学芸員(井上円了記念博物館) 新潟県長岡市立越路小学校の「総合的な学習」の一環で、地元の偉人である井上円了について、児童から事前にいただいたご質問に答えていくという形式で講義を実施。	井上円了哲学センター
37	「なかの生涯学習大学」への講師派遣	中野区	④質の高い教育	なかの生涯学習 大学受講生第1 学年	北田建二学芸員(井上円了記念博物館) 中野区内の高齢者を対象とした事業「なかの生涯学習大学」への講師派遣。	



社会貢献活動Pick up-①「広報課」

第35回 東洋大学「現代学生百人一首」

「現代学生百人一首」は、本学が1987年に創立100周年を迎えた際、「百」にちなんだ記念行事のひとつとして始めた取り組みで、2020年で34回目を迎えます。毎年、全国から多くの短歌が寄せられ、応募作品からは、その年の話題・出来事や日常生活に対する、若者たちの感性をうかがい知ることができます。応募作品は、現代学生百人一首選考委員会が「現代学生のものの見方・生活感覚」を基準に厳正に審査し、入選100首、小学生の部入選10首として発表しています。

第35回 応募作品を振り返って

応募総数78,444首の中から入選作品100首および小学生の部入選作品10首を発表しました。

コロナ禍での生活も2年目に突入した第35回は、過去最多の応募数となりました。自粛が続く、思うようにいかない生活の中で、自分を見つめ直す時間が増え、周囲への想いを再認識したと感じられます。未来への不安を歌にした作品がある一方で、自身のおかれた状況を、時にユーモラスに、時に俯瞰して詠んだ歌も多く寄せられ、学生たちの柔らかな心を垣間見ることができました。オンライン授業や分散登校が、非日常で特別なこととして詠まれていた前回と違い、マスク着用でクラスメートの素顔もわからないまま始まった学校生活の中で、マスクをしていないことに違和感を覚える歌や、かえって自分を「盛れる」と楽しむ様子などが軽やかに詠まれています。さらに今回の応募作品群の特長として、オンラインでのコミュニケーションが定着し、授業だけでなく私生活の中でもオンライン上で仲間とつながり、好きなアイドルを応援する「推し活」など、若者たちの柔軟な適応力に感服する一面もありました。

【学校生活】

オンライン授業や部活動、大会の中止など、活動の制限が続く学校生活を、ある学生はユーモラスに、ある学生は淡々と歌にしました。また例年に比べ未来への希望や決意を宣言する歌が少なかったのは、コロナ禍で世の中の先行きが不透明であると感じていることも影響しているかもしれません。

【時事・社会問題】

コロナ関連の話題だけでなく、ダイバーシティ、SDGs などについて若者ならではの視点で詠んだ作品が寄せられました。社会と自分を比較しながら、作品として昇華させている歌が印象的でした。

【家族】

テレワークやオンライン授業が継続する状況下で、家族との何気ないやりとりを丁寧に表現

したり、日常の一場面を鮮やかに切り取った歌が寄せられました。また遠くに住む祖父母に対しては、画面越しのお見舞いを歌にした作品が今年も多くあり、会いたくても会えない期間が長くなっていることが伺えました。

「現代学生百人一首」へのご感想等は、東洋大学広報課(mlkoho@toyo.jp)までお寄せください。過去の「現代学生百人一首」入選作品については過去の入選作品をご覧ください。

第35回(2021年度) 作品募集

東洋大学 現代学生 百人一首

毎日の中に「私のうた」はかくれている

「現代学生のもの見方・生活感覚」を飲みこんだ短歌を募集します

主催/東洋大学 後援/文部科学省

【応募受付期間】2021年9月17日(金)～10月13日(水)

東洋大学 <https://www.toyo.ac.jp/s/issyu>

第35回(2021年度)

東洋大学「現代学生百人一首」募集要項

応募受付期間▶2021年9月17日(金)～10月13日(水)郵送必着

テーマ 「現代学生のもの見方・生活感覚」を飲みこんだ短歌

応募資格 ①小学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生・大学院生・専門学校生・専門学校(夜間・予備校)生
②社会人
※入選100名に限り、「作者名(姓・名・姓)」の順で発表されます。
※無条件で「現代学生百人一首」に選ばれることはありません。

応募方法 応募作品は、各作品の作者名(姓・名・姓)を記入し、A5サイズに縦書きで印刷し、封筒に入れてください。
〒112-8515 日本郵便株式会社 小石川支店私書箱79号
【東洋大学現代学生百人一首】応募係 宛
郵便での発送をお願いします(ゆうパック可)。郵外集外に限りません。写真等の貼付けはできませんのでご注意ください。

選考委員 東洋大学「現代学生百人一首」選考委員会が選考します。
委員長 藤田 弘子(東洋大学文学部教授)
委員 藤田 隆雄(東洋大学文学部教授)
中川 佳和子(個人・教員)・木尾(編集委員・委員)
藤田 新一郎(個人・教員)・川口(個人・編集委員・委員)

入選発表 2022年1月15日(土)、東洋大学公式Webサイトで発表します。また、入選者には郵送いたします。

賞 ①入選者100名に賞状と賞金(総額¥10,000円)を贈呈します。
また、多数の票が寄せられた作品には「学校地誌」を発行します。
②小学生・入選者10名に賞状と賞金(総額¥10,000円)を贈呈します。

その他 ①応募作品の著作権はすべて作者に帰属します。
②すべての入選者は、東洋大学公式Webサイトで作者名、学校名、学年とともに掲載されます。
③すべての入選者は、必ずしも「現代学生百人一首」に選ばれるとは限りません。入選作品、作者名、学校名、学年、学年が掲載されます。
④このたびは、選考委員から入選通知(作者名・学校名・学年)を発送することとなります。
⑤応募作品は、整理した個人情報は上記の日付及び目的に限り、事務連絡以外に利用することはありません。

東洋大学 〒112-8506 東京都文京区山手5-28-20 TEL.03-3945-7571(広報課)



社会貢献活動Pick up-②「国際観光学部」 東洋大学観光短編映画祭授賞式

東洋大学ではベネチア・カフオスカリ大学と観光イノベーションプロジェクトを共同で行っています。

カフオスカリ大学で毎年開催されている歴史ある国際短編映画祭にインスピレーションを受け、国際観光学部・国際観光学研究科が主体となり、SDGs と観光をテーマとした短編作品を募る国際コンペティション「東洋大学観光短編映画祭」を企画。独創的なアプローチの映像作品を国内外から募り、最高の映画、新しい持続可能な観光を提案する映画、新しい映像スタイルによって観光の新規開拓を実現しうる映画を選考し、賞を与えることになりました。

映画を創る人、見る人ともに SDGs を考え、「人にも地球にもやさしい観光」を実現するきっかけをつくるのが本映画祭の目的です。

昨年度から開催し、2回目の開催となる今年度は、2021年4月上旬～9月12日の募集期間に108の国と地域から計1,881作品のエントリーがありました。審査員による厳正な審査の結果10作品をノミネート（2021年10月10日発表）し、5作品に賞を贈ることを決定。2021年11月18日に白山キャンパス井上円了ホールでノミネート作品の上映会と授賞式を開催しました。

なお、本映画祭は、観光庁と国連世界観光機関（UNWTO）の後援、株式会社旅工房とベネチア・カフオスカリ大学の協力によって開催されました。



▲2021年11月18日 白山キャンパス井上円了ホールで行われた上映会と授賞式の運営スタッフ



社会貢献活動Pick up-③「産官学連携推進センター」

2021年度 東京都と東洋大学国際観光学部 観光経営人材育成事業

本事業は、東京都と東洋大学が連携し、新たな教育プログラムの開発を行うことで、将来にわたって持続可能な観光振興のビジョンや戦略の企画立案・実行・評価・改善について、自治体・観光協会・DMOなどを中心とした組織の中でリーダーとして担うことができる人材を育成することを目的に開催されました。

2022年1月29日から土曜3日間(講義回数8回)に渡り、約50名の皆様に受講していただきました。すべてオンラインで、座学のほか討議・意見交換を行いました。持続可能な観光地マネジメントに関する基礎から実践的な知識・ノウハウや人脈を得ることを目指し、第一線で活躍する本学教員が毎回の講義・演習を担当しました。

産官学連携の下での人材育成講座でありましたが、人的ネットワークも形成され、同じ問題意識を有する当事者にご参集いただくことができました。これがきっかけとなって、次なるステージへの移行・発展や新たな動き、シーズづくりにつながるものと考えております。

東京都の産学連携による観光経営人材育成講座
持続可能な観光地 マネジメントにおいて

講座内容
SDGs(持続可能な開発目標)が着目されており、観光でも現在と未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した地域づくりを考えなければなりません。東京都でも「持続可能な観光の推進」が重要事項として挙げられています。本講座では、持続可能な観光のための指標をはじめとして、観光地計画・ウィズコロナの観光まちづくり、DMOにおけるブライズ・ブランディング、温泉による地域活性化、歴史文化資源の活用、経済・観光消費分析、データ活用による観光動向の解析などを考察していきます。各講義後にグループディスカッションを通じて、持続可能な観光地マネジメントへのアプローチ・視座を提示します。

開催日時 **2022年 オンライン講座** **土曜日 3日間**
2022年1月29日(土)、2月5日(土)、2月12日(土)

受講対象者：都内に在住あるいは在勤している方で、地域の観光振興・観光産業・環境を考慮した地域資源の利活用に関わる方
募集定員：30名程度(応募者多数の場合は抽選等を行い受講者を決定します)
受講料：無料

お申し込み方法 **応募締め切り:2022年1月11日(火)**

STEP1 Webサイトから応募シートをダウンロードする
<https://www.toyo.ac.jp/news/research/cooperation/cil/tokyo-toyokankie2021/>

STEP2 応募シートの項目を入力しメールに添付する。
mi-tokyo-toyokankie@toyo.jp 宛にメールをお送りください

STEP3 受講者選考結果を受け取る
2022年1月17日(月) 宛に選考結果をメールにてご連絡致します

東洋大学
事業実施 東洋大学 産学連携による観光経営人材育成事業事務局
東京都 東京都東区東船場四丁目1番1号
連絡先 東洋大学 研究推進部 産官学連携推進課 観光経営人材育成事務局
〒130-8585 東京都東区東船場4-1-1 ☎03-3942-7161 ✉mi-tokyo-toyokankie@toyo.jp



社会貢献活動Pick up-④「工業技術研究所」

第2回 水のシンポジウム

「サステナブルな社会の実現を水環境から考える。 — SDGs と水—」

東洋大学 工業技術研究所では第2回 水のシンポジウム「サステナブルな社会の実現を水環境から考える。-SDGs と水-」を開催しました。

大海の水は水蒸気となって空に昇り、やがて雲を作り雨や雪となって水源に降り注ぎます。水のしずくは伏流水や川に形を変え大地を潤しながら再び海に帰ります。この地球規模の水の循環によって自然環境が保たれ人類の文化と文明が支えられてきました。このシンポジウムでは、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために重要な「水の循環」と「水環境」について様々な視点から考えることを目的として開催されました。

「1. 基調講演」では、第1回目のシンポジウムから10年の間に起きた水環境と水問題の変化を解説していただきました。

「2. 水質浄化技術と水利用の現状と将来」では、水の循環を持続するために、使った水をきれいにして戻すための水処理技術の現状と将来について解説していただきました。

「3. 水と生活」では、水源地域の持続的な発展を視野に入れた生産・物流など生活に密接に関係した水利用について様々な視点から紹介していただきました。

「4. パネルディスカッション」では、この10年間の世界の水問題の変化を踏まえて、水環境を保全し水の循環を適切に保つための課題について討論を行いました。

1. 基調講演

「サステナブルな社会実現のための水の重要性」

-第1回シンポジウム以降の10年の世界の水問題の変化-

2. 水質浄化技術と水利用の現状と将来

3. 水と生活

4. パネルディスカッション>

「世界の水環境の課題と対応～10年間の歩み～」

約130名の方が参加し、最大視聴回数は118回となり大変盛況のうちに終了しました。

ご参加いただきありがとうございました。

第2回 水のシンポジウム
サステナブルな社会の実現を水環境から考える。-SDGsと水-

2021年9月9日(木)～9月16日(木) Web配信
主催：東洋大学 工業技術研究所

「ごあいさつ」
川口英夫 (東洋大学 副学長/生命科学部 教授)

<基調講演>
「サステナブルな社会実現のための水の重要性」
第1回シンポジウム以降の10年の世界の水問題の変化-
北脇秀敏 (東洋大学 工学部 教授)

<水質浄化技術と水利用の現状と将来>
「下水処理場向け省エネ型生物処理技術の開発状況」
丸野立夫 (東洋大学 生命科学部 教授)
「生物資源を活用した産業排水処理技術の開発」
井坂祐一 (東洋大学 理工学部 准教授)
「浄化槽分野における脱炭素化に向けたシミュレーション解析」
山崎正史 (東洋大学 理工学部 教授)
「排水処理システムの電機設備を考える」
見島伊織 氏 (埼玉産業科学センター)

<水と生活>
「水環境意識形成のプロジェクトとその発展に向けて」
大塚社隆 (東洋大学 総合情報学部 教授)
「水と食生活」
菅野宏明 (東洋大学 理工学部 准教授)
「水城における水生物の生態的移動の手段」
青木昭之 (東洋大学 理工学部 准教授)
「宝川水質の本利用」
野田武樹 氏 (埼玉県立 川口博物館)

「課題の本選」
岡田健治 氏 (川崎市立博物館)
「小川町の産業と水の関わり～小川湖紙と酒造～」
新田文子 氏 (小川町生涯学習課 課長)

<パネルディスカッション>
「世界の水環境の課題と対応 ～10年間の歩み～」
北脇秀敏、川口英夫、丸野立夫、井坂祐一

小川湖紙で作った折り紙

小川湖紙で作った折り紙

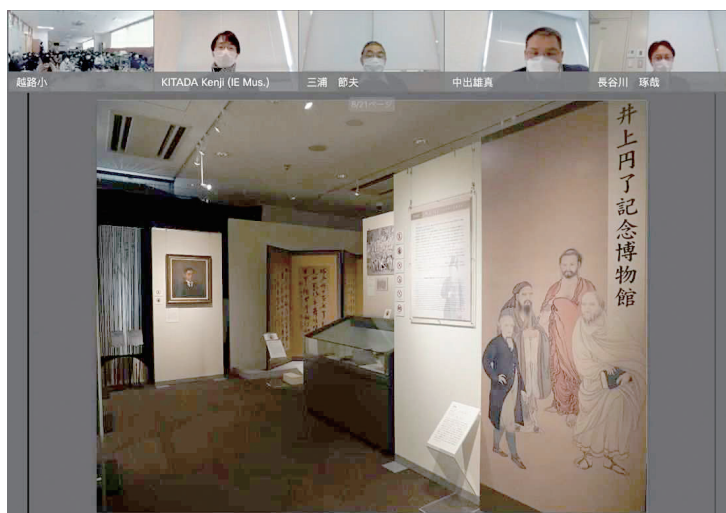
会参加申込みは以下URLもしくはQRコードよりお願いします。
<https://www.tus.ac.jp/izumi/izumi/izumi/>
参加申込み期間：2021年9月15日(水)まで
お問い合わせ：東洋大学工業技術研究所 (kasuzken@at.tus.ac.jp)
TEL 047-478-1111 2分機211



社会貢献活動Pick up-⑤ 「井上円了哲学センター」 「井上円了特別講義」東洋大学ー越路小学校

2021年12月22日(水) 9:40 ~ 10:25の時間帯で長岡市立越路小学校の「総合的な学習」の一環で地元の偉人である井上円了をテーマにした講義を実施しました。東洋大学では毎年、越路小学校の修学旅行の受け入れや円了学習のお手伝いをしています。

今年度はWeb 講義形式で越路小学校の児童から事前にいただいたご質問に答えていくというかたちで三浦教授による講義が行われました。また、井上円了記念博物館の北田学芸員からも東洋大学と井上円了記念博物館の紹介がされました。



地域活性化活動支援事業の概要

2016年度、社会貢献部門の活動における特徴として、地域活性化活動支援事業を新たにスタートさせた。2021年度は10企画（含追加1）応募され、社会貢献センターにて選考を行った結果、全企画が採択となった。感染症の影響で現地へ向かうことができず、5企画実施を中止したため、2021年度は5企画が活動を行った。概要は以下のとおりである。

1. 事業の目的

地域活性化活動支援事業は、過疎化や高齢化をはじめとして様々な課題を抱えている地域に若い人材が入り、住民とともに地域の課題解決や地域おこし活動を実施することで、都会の若者に地域への理解を促し、地域で活躍する人材として育成することに繋がるとともに、地域住民をはじめとする人材育成を目的とする。学生と教員が共同して進める地域活性化活動を経済的に支援し、今後自立した活動へと発展させていくためのサポートをする。

2. 支援金額及び採択件数の目安

- (1) 地方創生コース：キャンパスから100km以上の地方において、地域活性化活動をするものを対象。1件当たり総活動経費の最大50%以内で、かつ、30万円を上限とする。
- (2) 地域貢献コース：キャンパスから100km以内の地域において、社会貢献・地域貢献をするものを対象。1件当たり総活動費の最大50%以内で、かつ、5万円を上限とする。

3. 対象となる活動

国内の過疎地域、限界集落、農山村だけでなく、都市課題の解決や災害支援なども含め、国内外の多様な地域における教員と学生が共同して行う地域活性化活動

4. 選考

社会貢献センター運営委員会による書類選考

5. 年間スケジュール

2020年12月1日～2021年1月29日	募集期間
2021年2月中	社会貢献センター運営委員会にて書類選考(申請数：9企画)
2021年3月8日	地域活性化活動支援事業について 採択決定通知(採択数：9企画)
2021年4月7日～2021年5月10日	追加募集期間
2021年5月中	社会貢献センター運営委員会にて書類選考(申請数：1企画)
2021年6月11日	地域活性化活動支援事業について 採択決定通知(採択数：1企画)
2022年2月末まで	各採択企画の報告書および決算書提出締切
2022年3月16日	報告会の実施(中止5企画を除く、5企画分報告予定)
2022年3月末まで	支援金額の支払い

6. 2021年度実績

応募企画数	採択企画数
10	10 (内5企画中止)

2021年度 地域活性化活動支援事業一覧

No.	教員名	学部	活動名	コース名	主な市区町村	支援額 (採択時)	支援額 (結果)
						2,638,000	451,000
1	田中 雅敏	法学部	香川県さぬき市の姉妹都市交流支援	①地方創生 (遠距離)	香川県 さぬき市	215,000	オンライン 変更(支援 金無し)
2	箕輪 允智	法学部	矢祭町内川地区と箕輪ゼミの連携による地域復興・活性化の取組	①地方創生 (遠距離)	福島県 矢祭町	300,000	中止
3	長津 一史	社会学部	在住外国人と協働する宮城県気仙沼の復興活動の支援	①地方創生 (遠距離)	宮城県 気仙沼市	300,000	中止
4	山田 香織	社会学部	アートサイト創造による地域振興の効果検証	①地方創生 (遠距離)	香川県 小豆島町	300,000	中止
5	岡本 郁子	国際学部	佐賀中山間地域における住民主導型地域活性化活動支援	①地方創生 (遠距離)	佐賀県 佐賀市	300,000	中止
6	佐々木 茂	国際観光学部	南会津町観光まちづくりデザイン研究Ⅲ	①地方創生 (遠距離)	福島県 南会津町	300,000	60,000
7	佐野 浩祥	国際観光学部	富士宮市における食文化振興プロジェクト	①地方創生 (遠距離)	静岡県 富士宮市	300,000	87,000
8	須賀 忠芳	国際観光学部	広島県呉市御手洗地区における地域活性化支援事業	①地方創生 (遠距離)	広島県 呉市	300,000	300,000
9	森下 晶美	国際観光学部	沖縄の地域観光活性化のための観光人材育成と商品開発	①地方創生 (遠距離)	沖縄県 北部	300,000	中止
10	神野 宏司	ライフデザイン学部	非対面健康体操教室による地域高齢者交流促進活動	②地域活性 (近距離)	埼玉県 朝霞市	23,000	4,000

香川県さぬき市の姉妹都市交流支援

代表教員：田中 雅敏

法学部 法律学科

■活動内容

現地入りして、これからの国際社会を担う現地の小・中学生親子と交流する予定であったが、コロナ禍につき、現地入りが叶わなかった。代わりに、2020年度に引き続き、姉妹都市交流や国際交流に関心を持ってもらうための30分番組を制作し、さぬき市で放送してもらった。

■活動の成果概要

- ①ゼミでオーストリア研究をするゼミ生が、日頃の研究で身につけた知識をさぬき市民に還元することで、さぬき市民の国際交流への関心を喚起できる。大学の知の社会還元と言える。
- ②オーストリア詳しい、かつ、海外渡航経験を持つゼミ生が主体的に活動することに意味がある。
- ③さぬき市には徳島文理大学のキャンパス(香川キャンパス)があるが、当該大学は全学生数が4千人程度であり、うち香川キャンパスで就学しているのは390人程度であることから、さぬき市民と大学の接点は大きいとは言えない。東洋大学生が地方自治達(さぬき市役所)と直に連携をとりつつ、現地入りしてイベントを実施できることは、さぬき市と高等教育機関との接点という意味でも意義が大きい。香川県から東洋大学への志願者を増やせる期待もできる。
- ④昨年度も番組を制作したが、昨年度は15分番組、今年度は30分番組とし、貴重な機会を存分に(昨年度比200%)活用し、メッセージを伝えることができた。

- 6月 現地入りの中止を決定
 7月 さぬき市役所と番組制作の打ち合わせ(オンライン)
 7～8月 番組制作
 9月 本放送



南会津町観光まちづくりデザイン研究Ⅲ

代表教員：佐々木 茂

国際観光学部 国際観光学科

■活動内容

南会津町における冬季期間の観光事業の調査並びに体験、宿泊先ホテルと協議を行っている地域ブランド用の地元産のそば粉を活用したガレットの取り組みの現状の確認と今後に向けての打ち合わせ、フレイル予防ツーリズム調査の昨年の振り返りに加えて2022年度調査に向けた打ち合わせを実施した。

■活動の成果概要

昨年度に引き続きコロナ禍での対応を行った。本来は、参加予定者20名を見込んでいたが、オミクロン株という新型コロナウイルス第6波の影響を受けて、4名のみ参加となった。

しかしながら、南会津町の人々の協力もあり、当初予定していた調査と実体験のプログラムすべてを実施することができた(下記、主なスケジュールに記載)。特に、冬季期間における同地の観光客は、年間入り込み客総数の1/3に当たる30万人以上に上っており、重要な収入源である。しかしながら、ゲレンデにおけるアルペンスキーやスノーボード客の減少もさることながら、同地ならではの歩くスキーであるクロスカントリースキーに至っては、地域外にはほとんど周知されていない。過去の夏季期間中の調査時に、学生がこういうところを歩いてみたいという声きっかけになって、今回の冬季の調査がようやく実現した。そして、体験した学生たちは口々に新しい体験に強く惹かれたとのことである。今後は、ゲレンデにおけるガレットの提供と併せて、新しいライフスタイルを検討して、提案していくことになった。

南会津町のような、高齢化と過疎化が顕著に表れている地域の人々との交流を通じて、地方と都会を結ぶ役割を学生自らが担うことは、さらなる関係人口を拡大させる取り組みになる。例えば、今回参加の学生は、12月下旬に同地で開催された小中学生向けの「山村留学」のボランティアにも参加しており、地域貢献が具体化し始めている。

この取り組みは、単なる活動に留まるのではなく、大学外部の観光論文などへの投稿を通じて、実践と理論を融合させ、他の地域においても実現可能な考え方を導き出すことにもつながっている。

地域の活性化には、地域外からの視点が不可欠である。その地域外の視点を地域の問題に強い関心を有する国際観光学部の学生が担うことで、地域により貢献しながら、実践的且つ理論的に学べる格好の機会となる。

ただし、今回の訪問においても、新たな課題が提示された。同じ南会津町でも超高齢化の進む過疎地域の木賊集落では、過去の提案を地域としてはなかなか実践できなかった。外からのかわり方だけの解決が困難を極めていることを如実に物語っている。今後は、現地での活動機会を増やす方法を検討するなど、新しい取り組み方も検討しなければいけないことを痛感した訪問となったことも付記しておきたい。

2月1日(一日目)

- ・南会津町の冬季期間の観光事業調査：まちの駅「南会津ふるさと物産館」、道の駅「たじま」への訪問
- ・南会津役場の方との意見交換：①南会津町の冬の暮らし ②現在の南会津の課題 ③南会津町広瀬の湯再開に向けたクラウドファンディングに関して

2月2日(二日目)

- ・クロスカントリー・スキーの体験：現段階では地域住民のアクティビティになっているので地域外向けに活用方法を考える
- ・アストリアホテル館長との意見交換：①宿泊先ホテルと協議を行っている地域ブランド用の地元産のそば粉を活用したガレットの取り組みの現状の確認と今後に向けての打ち合わせ ②人事、オペレーションの課題

2月3日(三日目)

- ・5月に行うフレイル予防調査の打ち合わせ：①フレイルツアーの場所の検討 ②アクティビティの検討 ③地元のサポーターの人材育成 ④健康チェックの方法 ⑤フレイル予防の将来性 ⑥企業との連携 ⑦今後の取り組み方、特に地域による自走のあり方



富士宮市における食文化振興プロジェクト

代表教員：佐野 浩祥

国際観光学部 国際観光学科

■活動内容

富士宮市の観光まちづくりに向けた課題解決に取り組むべく、文献調査と現地調査を行った。因果ループ図による課題の構造化、オンラインでの関係者インタビューなどとともに、日帰りの現地調査も数回実施、それらを取りまとめオンラインでの成果報告会を実施し、学生と地域の双方にとって有意義な機会となった。

4月より文献調査を開始し、因果ループ図の作成による中心市街地の課題の構造化。

7月10日に第1回現地調査(日帰り)、中心市街地の現状を把握し、観光協会へのインタビューを実施。

11月14日に第2回現地調査(日帰り)、4チームに分かれて、絞り込んだ課題の明確化と解決策の方向性を定めるための現地調査を実施。

1月12日に一部の学生と第3回現地調査(日帰り)を実施。

2月1日に活動報告会をオンラインで実施。市民は約20名参加。

■活動の成果概要

昨年度に引き続き、コロナ禍の中での活動を余儀なくされたものの、オンラインツールを有効活用することで、現地調査とあわせて、有意義な活動が可能となった。4月からは富士宮市の現状を把握するための文献調査を開始し、因果ループ図の作成を通して、富士宮市の中心市街地が抱える問題の構造化を試み、好循環につながるような解決策の方向性を模索した。

7月10日には、学生17名と現地調査を実施し、中心市街地を4エリアに分けてチームごとに分担し、現地調査でしか得られない情報を入手するためにひたすら歩き回った。第1回現地調査を踏まえ、課題を明確化し、解決策の精度を高めていった。

11月14日には、18名の学生が第2回現地調査を実施し、各チームが解決策の精度をさらに高めるための調査を企画・実施した。観光協会をはじめ、宿泊施設や商店街組合、飲食店の方に精力的にインタビューし、地域の多くの方にご協力いただくことができた。その後も、オンラインでのインタビューによって現地調査を補足しながら、提案を導出していった。

2022年1月12日にも3名の学生が第3回現地調査を実施し、提案の実現性を高めるためのインタビュー調査を実施した。その後、学生による食文化振興と中心市街地活性化に関する提案をとりまとめ、2022年2月1日、地元関係者に広く声をかけ、オンラインでの報告会を実施した。報告会の1週間まで、富士宮駅前の公共施設の会議室をおさえ、多くの市民の前で直接報告することを予定していたが、オミクロン株のまん延にともなう対応を余儀なくされ、オンラインでの報告会となった。ただし、報告内容については好意的な反応が多く、また、今後の活動についての意見も複数いただき、来年度の活動に向けた素地をつくることができた。

以上の一連の調査にもとづく調査報告を通して、今後の取り組みに向けて富士宮市のカウ

ターパートとの信頼関係を醸成できたこと、そして学生によるビジョンや社会実験の提案に対して、ある程度の地元側の理解を得ることができたことが、昨年度に引き続き、今年度の活動の主な成果と言えよう。学生が主体となることによって、様々な関係者と接触することができた他、学生ならではの斬新なアイデアによって地元住民の関心をひくことができた。そして、東洋大学の学生が出したアイデアに刺激され、報告会では「次は私たちが立ち上がる番だ」といった意見が地元住民から相次いで出され、地元住民との協働が動き出す機運が醸成された。



広島県呉市御手洗地区における地域活性化支援事業

代表教員：須賀 忠芳

国際観光学部 国際観光学科

■活動内容

ゼミ学生3年次14名で、広島県呉市御手洗地区について、当地区の活性化のために何が必要かを考察するとともに実現可能な観光施策を提言する取り組みを行った。事前学習、オンラインによる聞き取りを経て、10月29日から11月1日にかけて現地調査を実施し、その後、調査事業報告会の実施、報告書の作成に取り組んだ。

■活動の成果概要

現地調査では、地区内を、地元の「重伝建を考える会」会長に直々にご案内いただき、地域の様子を概観するとともに、「重伝建を考える会」会長、役員の皆様から聞き取り調査を行い、豊富な歴史文化資源を持ちながらも、地域住民の都市部への流出と少子高齢化のために地域の過疎化が進む当地の概況について認識を深めることができた。また、グループ別の活動も実施し、地域住民や、地区内の観光事業者への聞き取りも実施し、地域の実状について理解を深めた。同地区における現地調査は、昨年度に引き続いて実施したことから、地域の方にもさらにご助力いただき円滑に調査を実施することができた。

現地調査をふまえて、より現実的な、地域活性化のための観光施策の提言に取り組み、12月10日(金)には、調査に関する成果と観光施策提言につながる内容を発表する調査発表報告会をオンライン形式で実施した。報告内容は、昨年度の報告をふまえて、より地域の実態に即した、実現可能な施策提言となるように留意した。当該発表報告会には、呉市産業部副部長、呉市観光振興課課長、同課課長補佐、呉市文化振興課課長ら、当地の地域振興、観光施策に直接関わっていらっしゃる呉市役所の皆様、また、呉市東京事務所所長、及び、呉市地域住民の方などにもご参加いただいた。その際、学生発表について、皆様からご講評をいただき、学生の提示した観光施策について、昨年度の内容をさらにブラッシュアップさせた内容で、学生目線からの興味深い内容であるとともに、実効性のある施策の提案であるとして、高く評価していただくことができた。今後は、当該発表会において頂戴したご意見をふまえて、さらに観光施策提言内容を精査し、年度末に刊行するゼミ論集において、論評し、活動全体についてまとめることとする。

こうした取り組みは、過疎地域における観光施策支援としての本学の社会貢献活動の一つとして、地元からも高い評価を受け、大きな成果を得るものともなったと思われる。また、首都圏出身の者が多い参加学生にとって、地域振興にかけける強い思いを有する地域の方々と直に接することは大いに刺激となるもので、地域貢献活動の意義について、強く実感する契機となっている。同時に、学生が提示した観光施策について、当地の皆様からも大いに関心を持っていただくことができた。当ゼミによる、同地区における地域活性化事業は、今年度で終えることとするが、次年度以降も、呉市役所担当者や地域住民の方と連携しながら、当地の観光施策実現に向けて留意し、貢献していきたいと考える。

当事業については、交通費・宿泊費等は自己負担で、学生の経済的負担は大きなものがあった。こうした中で、今回、交通費・宿泊費について、補助、支援いただくことで学生の経費負担分も大きく軽減され、学生にとって、より参加しやすく、教育的効果は各段に高まったものと思料される。

- ・ 6月～7月(学内)
呉市御手洗地区に関する文献、地域データ等の検討。
- ・ 8月4日(水)
オンラインによる事前聞き取り調査：オンラインを通じて、呉市役所担当者や、御手洗地区地域住民の方から聞き取り調査を実施して、当地に関する理解を深めた。
- ・ 9月～10月中旬
調査事前レポートの作成：グループ別に調査事前レポートを作成し、調査の目的、計画などを明確に位置づけた。
- ・ 10月29日(金)～11月1日(月)
呉市御手洗地区の現地調査事業実施(学生14名、教員1名)：呉市御手洗地を実際に訪れるとともに、地域住民や観光事業者からの聞き取りを実施して、当地区の活性化に必要な観光施策について検討を深めた。
- ・ 12月10日(金)
調査事業報告会：呉市役所の担当者や、地域住民の皆様等に向けて、オンラインで、呉市御手洗地区の地域活性化に関わる調査事業報告会を実施した。
- ・ 1月下旬
調査事業報告書の作成：グループ別に調査事業報告書を作成した。報告書は年度末に刊行し、調査地に送付した。



非対面健康体操教室による地域高齢者交流促進活動

代表教員：神野 宏司

ライフデザイン学部 健康スポーツ学科

■活動内容

2021年10月から2021年12月に計7回、地域在宅高齢者のグループと連携し13名の高齢者に対して非対面オンラインでの健康体操教室を開催した。実施時には学生がオンライン上で説明および見本を行い、同時に説明する学生以外の学生は参加者の実施の様子を分担して確認し、個別にサポートした。

- ・参加者は学生15名、地域高齢者13名、教員1名
- ・各自、自身のパソコン、タブレットからZoomを利用して参加。第1回目の前に接続方法の資料をメールで送信し、接続テストを実施した。

第1回：10月12日

顔合わせとソフトの操作方法の確認、アンケートへの回答依頼・集約、学生との小集団グループワーク交流

第2回から第6回：10月19日、26日、11月16日、23日、30日

運動プログラムの指導と小集団による実施方法の振り返り、確認、質問等の時間を設け、最後に指導方法などの採点、感想を書き込むように依頼するアンケートをGoogleフォームで送信し、依頼した。

第7回：12月14日

赤羽台キャンパスで交流(参加者は学生は15名、地域住民5名) 運動プログラムの振り返りと直接の交流(初めての対面実施)

■活動の成果概要

地域の健康を考える上で近年ソーシャルサポート、ソーシャルネットワークの影響、重要性を指摘する研究が多くみられる。大都市圏に居住する高齢者は地方在住者と比較してソーシャルサポート、ソーシャルネットワーク機能が弱い傾向にあることから孤立化・閉じこもりの危険性が高く、対策の必要性が強く言われている。

この都市部における高齢者の孤立化、閉じこもり対策という課題は地域貢献を重要な課題と位置づける本学、本学部の教員ならびに学生にとって貢献できるテーマと考えられる。そのような背景を踏まえ、本活動は健康の維持に関心が集まりやすい体操を高齢者と孫世代に当たる学生とともに実践することを通じてセルフケアの技術の習得を促し、さらに参加者が自身の近隣住民に対して啓発を行うことを通じて地域でのソーシャルサポート、ネットワークの構築を計る意図を有しており、本学のこれまでの実績に新たな貢献が出来るものとする。

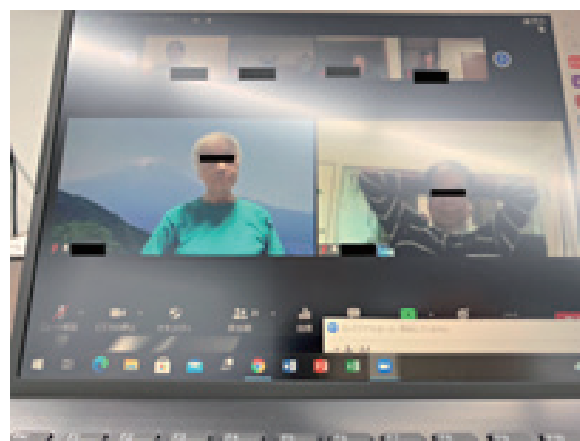
特に新型コロナの流行下、対人交流の制限が求められるなかでフレイルの防止にも貢献できると考えられる。

本活動において教員と学生が各回、レジスタンストレーニング、ストレッチングおよび音楽に合わせながら左右非対称に手足を動かす体操プログラムを指導および習得を補助するプログ

ラムを行った。参加者は平均年齢70歳という高齢者であることを理解し、習得過程での失敗を明るい雰囲気と和ませる学生との交流でこそ行える講座の形式であったといえよう。

本年度の活動は新型コロナウイルス感染症の流行拡大への対応策としてオンラインを通じた指導を試みた。ただ、一方向での指導では体操の要点が伝わったかを確認できないこと、またソーシャルネットワークを促ために双方向性オンライン形式をとり、一回90分の教室時間中に学生と参加者が小グループに分かれて要点の理解や質問への回答、雑談をするための時間を3-5回設定した。小グループのメンバーは当日冒頭の顔合わせを設定し、その日のグループメンバーを固定することにより一貫性をもたせるように配慮した。

また、毎回参加者に対して指導する学生、フォローした学生に対する評価コメントをアンケートフォームに書き込むよう依頼した。その書込みを学生と振り返りに活用した。参加者からは「体を動かしたいものの何をどうして良いかわからないという中で良い機会となった」、「学生と会話すると元気が出る」と好評を得た。今回の試みは本学科が赤羽キャンパスから朝霞市在住の高齢者と交流を持てる機会となり、将来的に距離に関係なく実施できる可能性を実感できる機会となった。



社会貢献活動助成・表彰制度

■東洋大学学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクトに対する助成及び社会貢献活動に対する表彰

2019年度より社会貢献部門の活動における新たな取り組みとして、学生の社会貢献に対する活動助成と個人の活動を含む学生の社会貢献活動に対する表彰を行う制度を設立した。これは、2018年度まで本学学生支援課で行っていた表彰制度を一部引き継ぐ形で作られたもので、学生の社会貢献活動のサポートをするボランティア支援室が社会貢献センター内にできたことによる。社会貢献センターにおいては3年目となる2021年度の概要は以下のとおりである。

なお、2020年度より続く新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、学生の「課外活動」はほぼ2年間実施することができなかった。

対面への活動ができるか期待を込めての申請も多く、昨年度同様に「中止」を選択する団体が発生した。

「Web」での可能性を求めて工夫をしながら実施を行う団体もあるが、「現地での体験」を主たる目的とする企画が多く、2022年度においても引き継ぎの課題となっている。

I 学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成事業の目的

本事業は、東洋大学の学生ボランティア活動等社会貢献活動の充実に寄与するために、学生団体へのプロジェクトに対して助成を行うとともに、本学学生の社会貢献活動に対して表彰を行うことにより、その努力に報いその活動成果を今後の学習活動に活かすことを奨励し、社会に貢献する人材の育成を支援するものである。

II 学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成

1. 助成対象となるプロジェクト活動

社会貢献センター運営委員会が設定する社会貢献活動等に参加する学生への支援及び直接的な実施経費に充当するため、主として国内で行われる学生による社会貢献プロジェクト(ボランティア活動を含む。)で、次の2区分による活動を対象とする。

また、本学の学生(大学院生を含む。以下同じ)が活動する団体で、1団体あたり本学学生が最低3名以上在籍しており、かつ、メンバーの大半が本学学生であること。ただし、ゼミ活動は対象外とする。

(1) 新規活動助成

ア 初めの一步を踏み出そうとする、又は踏み出しつつある学生団体であること。

イ 応募年度が初めての活動になること。

(2) 継続的活動助成

ア 自らの団体の持ち合わせている技術力や特技を最大限に生かしたボランティア活動を行っている学生団体であること。

イ 団体として最低1年以上の活動実績があること。

2. 助成内容

(1) 新規活動助成

ア 助成金額は、年間1件当たり、1万円～10万円以内(1万円単位)とする。

イ 採択件数は、年間5件程度を目安とする。

(2) 継続的活動助成

ア 助成金額は、年間1件当たり、1万円～20万円以内(1万円単位)とする。

イ 採択件数は、年間5件程度を目安とする。

3. 選考

社会貢献センター運営委員会による第1次審査(書類審査結果発表)、第2次審査(プレゼン審査)

Ⅲ 社会貢献活動による表彰

1. 表彰の対象

(1) 本助成金を受けて活動した団体(以下「助成団体」という。)

(2) 本助成金を受けないで活動した団体(選考漏れの団体を含む。)及び個人又は学外の団体に所属して活動した個人(以下「助成を受けない団体及び個人」という。)

(3) 前号の団体及び個人については、別に定める活動実施結果報告書を提出のうえ本助成による「活動報告会」に参加し、その活動が表彰に値すると評価された場合に限る。また、同一内容の活動の表彰に対しては在学期間中1回限りとし、継続しての表彰はしない。

2. 表彰内容

表彰の内容は次のとおりとし、年度等によって、社会貢献センター運営委員会が定める。

(1) 助成団体 表彰状と記念の楯を授与する。

(2) 助成を受けない団体及び個人 表彰状と表彰金(1件3万円を上限)を授与する。

3. 選考

社会貢献センター運営委員会による書類選考

Ⅳ 年間スケジュール

● 学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成

2021年1月4日～2月26日 募集期間(第1次)

2021年3月中 社会貢献センター運営委員会にて第1次書類選考(申請数:6団体)

2021年3月 第2次プレゼン審査(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2021年3月29日 決定通知(採択数:6団体)

2021年4月7日～5月10日 追加募集期間(第2次)

2021年5月 第2次プレゼン審査(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2021年6月11日 追加決定通知(採択数:3団体)

2022年2月末まで 各採択企画の報告書および決算書提出締切
2022年3月16日 報告会の実施(活動できなかった7団体除く2団体が報告予定)
2022年3月末まで 支援金額の支払い

● 社会貢献活動による表彰

2021年12月1日～2022年1月23日 募集期間
2022年2月 社会貢献センター運営委員会にて書類選考
(申請数：[個人] 1名 [団体] 1団体)
2022年2月 結果通知(受賞：[個人] 0名 [団体] 0団体)

V 2021年度実績

● プロジェクト助成

応募数 9団体
採択数 9団体 (内9団体中止)

● 表彰

応募数 1名、1団体
受賞数 0名、0団体

2021年度 社会貢献活動助成 表彰式・報告会

東洋大学学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクトに対する助成 及び社会貢献活動に対する表彰の概要 (抜粋)

●目的

本事業は、東洋大学の学生ボランティア活動等社会貢献活動の充実に寄与するために、学生団体へのプロジェクトに対して助成を行うとともに、本学学生の社会貢献活動に対して表彰を行うことにより、その努力に報いその活動成果を今後の学習活動に活かすことを奨励し、社会に貢献する人材の育成を支援するものである。

学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成

●助成対象となるプロジェクト活動

(1) 新規活動助成

- ア 初めの一步を踏み出そうとする、又は踏み出しつつある学生団体であること。
- イ 応募年度が初めての活動になること。

(2) 継続的活動助成

- ア 自らの団体の持ち合わせている技術力や特技を最大限に生かしたボランティア活動を行っている学生団体であること。
- イ 団体として最低1年以上の活動実績があること。

●助成内容

(1) 新規活動助成

- ア 助成金額は、年間1件当たり、1万円～10万円以内(1万円単位)とする。
- イ 採択件数は、年間5件程度を目安とする。

(2) 継続的活動助成

- ア 助成金額は、年間1件当たり、1万円～20万円以内(1万円単位)とする。
- イ 採択件数は、年間5件程度を目安とする。

2021年度実績 応募 9団体 採択 9団体
(内7団体は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)

社会貢献活動による表彰

●表彰の対象

- (1) 本助成金を受けて活動した団体(以下「助成団体」という。)
- (2) 本助成金を受けないで活動した団体(選考漏れの団体を含む。)及び個人又は学外の団体に所属して活動した個人(以下「助成を受けない団体及び個人」という。)
- (3) 前号の団体及び個人については、別に定める活動実施結果報告書を提出のうえ、本助成による「活動報告会」に参加し、その活動が表彰に値すると評価された場合に限る。また、同一内容の活動の表彰に対しては在学期間中1回限りとし、継続しての表彰はしない。

●表彰内容

- (1) 助成団体 表彰状と記念の楯を授与する。
- (2) 助成を受けない団体及び個人 表彰状と表彰金(1件3万円を上限)を授与する。

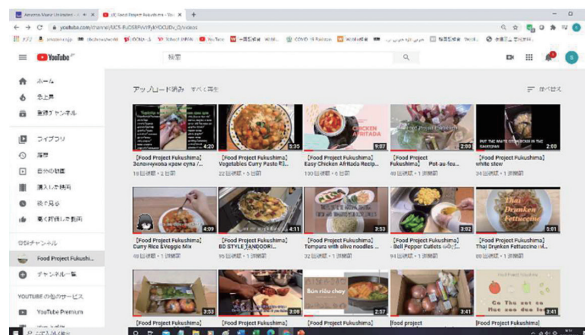
2021年度実績 応募件数 2件(個人1名/1団体) 受賞数 0件(個人0名/0団体)

学生団体による社会貢献活動等奨励プロジェクト助成 採択団体活動紹介

団体名：フードプロジェクト フクシマ（金子 遥果さん）

【活動概要】

このプロジェクトは、福島県いわき市の有機栽培農家、オリーブプロジェクト、そしてはま水（魚屋）と共同で実施している。参加者は、自宅に直送される食材を調理して、その様子を動画として作成する。今年度は、在日外国人や一般市民にも参加してもらうことができた。もともと国際地域学科の学生が中心である強みを生かして、これまでに 20 超の言語で 165 本の動画を作成し、YouTube にアップ。いわきの現状紹介と食の安全をアピールしている。



団体名：国際ボランティアサークル Salamat（渡邊 友輝さん）

【活動概要】

以前からチャイルドスポンサーシップで Salamat が支援している、ネルソン君の誕生日に手紙とスポーツサンダルをプレゼントした。そして、お礼のお手紙をネルソン君からもらった。

コロナウイルスの影響により、現地に行けない中でも、Salamatにとって家族のような存在であることは変わりなく、このように誕生日を祝うことができ、喜んでもらえて良かった。これからも金銭的支援だけでなく、ネルソン君の成長を見守っていきたい。



社会貢献センター 外部評価

社会貢献センター 外部評価

2019年度より、外部評価者を招き、社会貢献センター長、運営委員他とともに評価をいただくことになっていましたが、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、書面での評価となりました。

日 時	2022年3月
場 所	新型コロナウイルスの影響により事前面談の上、書面での回答
外部評価	市川 享子氏（東海大学 健康学部 講師）

I 判定：A

S	社会貢献センターの理念、目的、全学的な方針に基づいた活動が行われ、目的・目標の達成が極めて高いことが、根拠資料で証明されている。
A	おおむね、社会貢献センターの理念、目的、全学的な方針に基づいた活動が行われ、目的・目標がほぼ達成されている。
B	社会貢献センターの理念、目的、全学的な方針に基づいた活動や目的・目標の達成がやや不十分であり、改善すべき点がある。
C	社会貢献センターの理念、目的、全学的な方針に基づいた活動や目的・目標の達成が不十分であり、改善すべき点が多く、抜本的な改善が求められる。

II 総 評

貴学は井上円了を創設者とし、「余資なく、優暇なき者」のために「社会教育」と「開かれた大学」を目指して生涯活動の支援を伝統としている。創設者の志「大学の教育を広く民衆に届ける」という理念が時代を越えて受け継がれている。特に「大学の持つ知的な資源を提供する社会貢献事業」は建学の精神の体現として高く評価できる。コロナ禍という制約もありつつも、「活動を止めない」ために、オンラインや対面など活動内容や社会的情勢を考慮しながら工夫されていた。教員の社会貢献活動状況の集約や事業の受益者からの丁寧な声の聞き取りに基づいた振り返りなど、大学の社会貢献活動としての中核的な役割を名実ともに発揮している。

Ⅲ 概評及び提言

1. 理念・目的

〈概評〉

① 社会貢献センターの理念・目的を適切に設定しているか。
建学の精神と社会貢献センターの目的と理念のつながりが明確であり「大学の教育を広く民衆に届ける」という建学の精神が社会貢献センターの位置づけとして明示されている。東洋大学の生涯学習の歴史を基盤にして、時代の変化に合わせた社会的ニーズに即した社会貢献センターの使命と機能が示されている。
② 社会貢献センターの目的を明示し、社会と共有しているか。
毎年「社会貢献センター報告書」を作成しホームページで公開することにより誰もが活動内容について理解を深められるようになってきている。また教員による社会貢献活動の集約にも取り組み、大学による社会貢献活動の現状と課題の把握も組織的に取り組み発信しようとしていることも高く評価できる。また SDGs の普及・浸透を含めた現代的ニーズに即して、多世代にアプローチしている。
③ 社会貢献センターの目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。
大学による社会貢献活動に関する中期計画が作成され、ホームページに掲載するなど社会と共有しようとしている。「人生100年時代の学びのサポート」や「全世代型グローバル教育の提供」は東洋大学らしさを生かしたセンター活動として今後の発展が期待できる。アジアのハブとしての開かれた大学、福祉社会デザインの展開などの明確な計画が示され、新学部の開設も含めてますますの発展が期待できる。

〈提言〉

長所
<ul style="list-style-type: none">・創設者井上円了の思想・理念「余資なく、優暇なき者」をもとに受け継がれている社会貢献センターの伝統のもと、現代的課題やニーズに即した活動が展開されていること。・社会貢献活動に関する明確な中期計画の作成とそれに伴う大学としての組織的対応が明示されるとともに教育や研究支援・改革が継続的に行われていること。
改善課題
<ul style="list-style-type: none">・教員による社会貢献活動状況の集約に関する取り組みは大変高く評価できる。今後はそれをもとにした社会貢献活動に関する自己評価とそれをもとにした支援の拡充などが期待される。



2021 年度
東洋大学 社会貢献センター年報

発行 2022 年 7 月 20 日



Toyo University supports the Sustainable Development Goals



東洋大学

社会貢献センター（エクステンション課）

〒113-0021 東京都文京区駒込 1-10-2 浦水会館 1 階

TEL : 03-3945-7635